

## 第2章 アンケート調査の結果

---

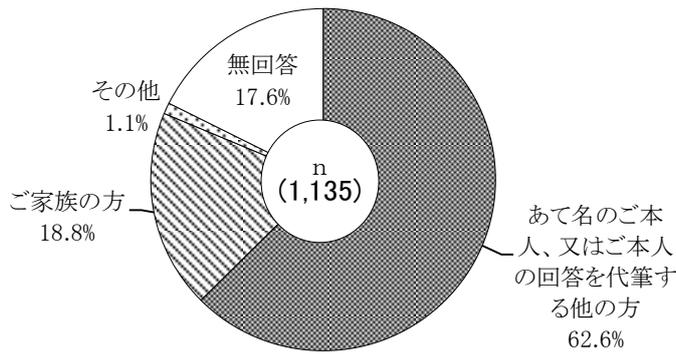
### I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査



問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」が 62.6%、「ご家族の方」が 18.8% となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	その他	無回答
全 体	1135	710	213	12	200
	100.0	62.6	18.8	1.1	17.6
身体障害	772	515	112	5	140
	100.0	66.7	14.5	0.6	18.1
知的障害	226	65	116	5	40
	100.0	28.8	51.3	2.2	17.7
精神障害	231	164	27	2	38
	100.0	71.0	11.7	0.9	16.5
難病	224	139	43	1	41
	100.0	62.1	19.2	0.4	18.3
無回答	7	2	2	-	3
	100.0	28.6	28.6	-	42.9

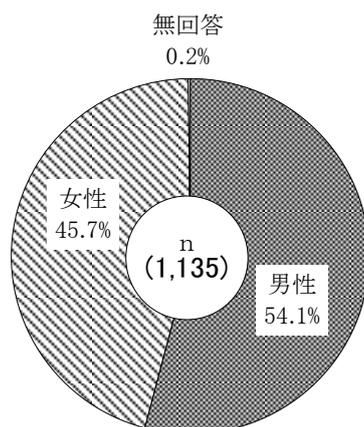
## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が54.1%、「女性」が45.7%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	男性	女性	無回答
全体	1135	614	519	2
	100.0	54.1	45.7	0.2
身体障害	772	415	357	-
	100.0	53.8	46.2	-
知的障害	226	137	89	-
	100.0	60.6	39.4	-
精神障害	231	110	120	1
	100.0	47.6	51.9	0.4
難病	224	115	109	-
	100.0	51.3	48.7	-
無回答	7	3	3	1
	100.0	42.9	42.9	14.3

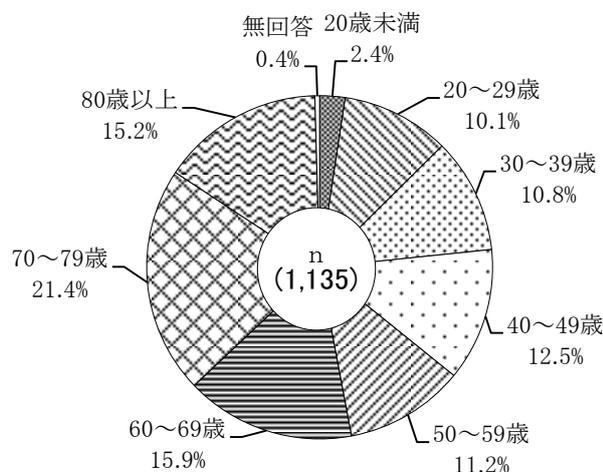
## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「70～79歳」が21.4%で最も多く、以下「60～69歳」が15.9%、「80歳以上」が15.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では高齢の方が多く、平均年齢は66.6歳となっています。知的障害の方では40歳未満の方が多く、平均年齢は35.1歳となっています。精神障害の方の平均は44.2歳、難病の方の平均は59.7歳となっています。

### ●全体



### ●障害種別

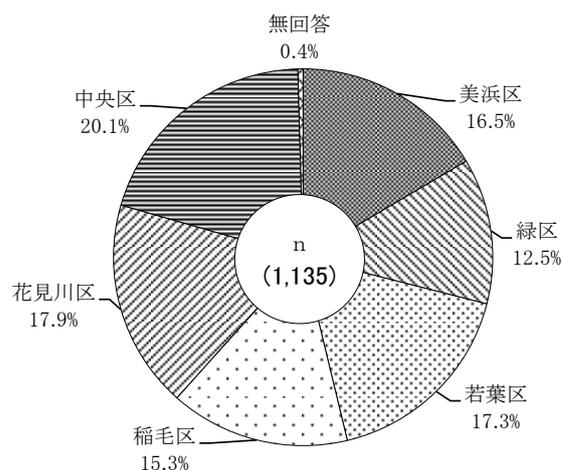
	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均(歳)
全体	1135	27	115	123	142	127	180	243	173	5	57.7
	100.0	2.4	10.1	10.8	12.5	11.2	15.9	21.4	15.2	0.4	
身体障害	772	5	28	36	57	76	159	237	171	3	66.6
	100.0	0.6	3.6	4.7	7.4	9.8	20.6	30.7	22.2	0.4	
知的障害	226	22	71	52	52	17	6	3	2	1	35.1
	100.0	9.7	31.4	23.0	23.0	7.5	2.7	1.3	0.9	0.4	
精神障害	231	3	34	54	62	45	21	9	3	-	44.2
	100.0	1.3	14.7	23.4	26.8	19.5	9.1	3.9	1.3	-	
難病	224	2	17	24	21	30	41	60	28	1	59.7
	100.0	0.9	7.6	10.7	9.4	13.4	18.3	26.8	12.5	0.4	
無回答	7	-	1	1	1	-	1	2	-	1	54.7
	100.0	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	28.6	-	14.3	

### (3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「中央区」が20.1%で最も多く、以下「花見川区」が17.9%、「若葉区」が17.3%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

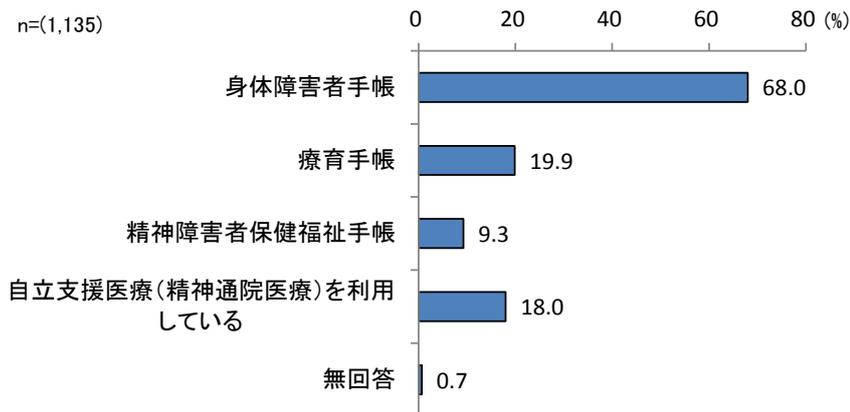
	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	1135	228	203	174	196	142	187	5
	100.0	20.1	17.9	15.3	17.3	12.5	16.5	0.4
身体障害	772	163	125	118	143	93	126	4
	100.0	21.1	16.2	15.3	18.5	12.0	16.3	0.5
知的障害	226	39	51	33	47	25	31	-
	100.0	17.3	22.6	14.6	20.8	11.1	13.7	-
精神障害	231	46	39	44	28	31	43	-
	100.0	19.9	16.9	19.0	12.1	13.4	18.6	-
難病	224	41	37	44	36	29	36	1
	100.0	18.3	16.5	19.6	16.1	12.9	16.1	0.4
無回答	7	3	1	-	-	-	2	1
	100.0	42.9	14.3	-	-	-	28.6	14.3

#### (4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

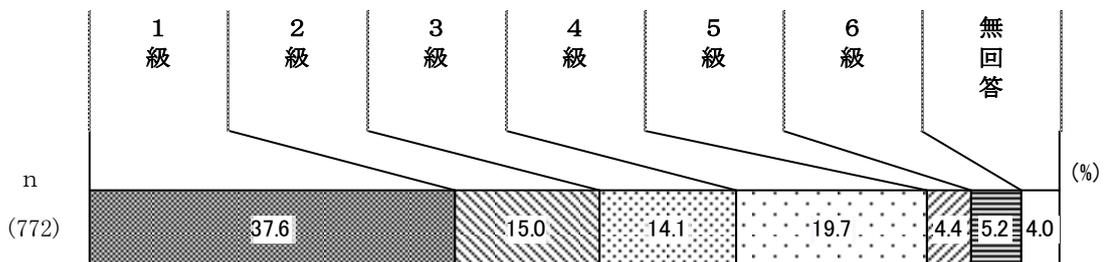
「身体障害者手帳」が68.0%で最も多く、以下「療育手帳」が19.9%、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が18.0%、「精神障害者保健福祉手帳」が9.3%となっています。

#### ●全体



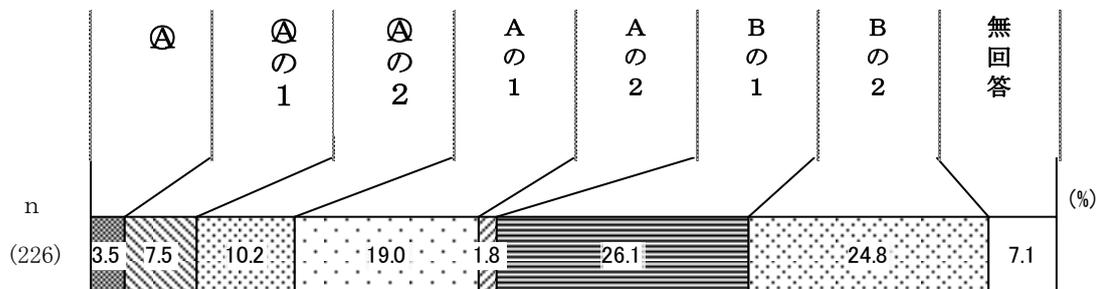
#### ① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1級」が37.6%で最も多く、次いで「4級」が19.7%となっています。



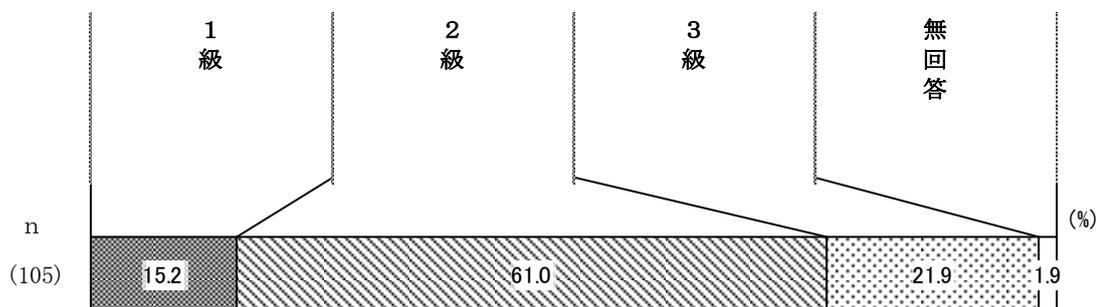
## ② 療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの1」が26.1%で最も多く、次いで「Bの2」が24.8%となっています。



## ③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2級」が61.0%で最も多くなっています。

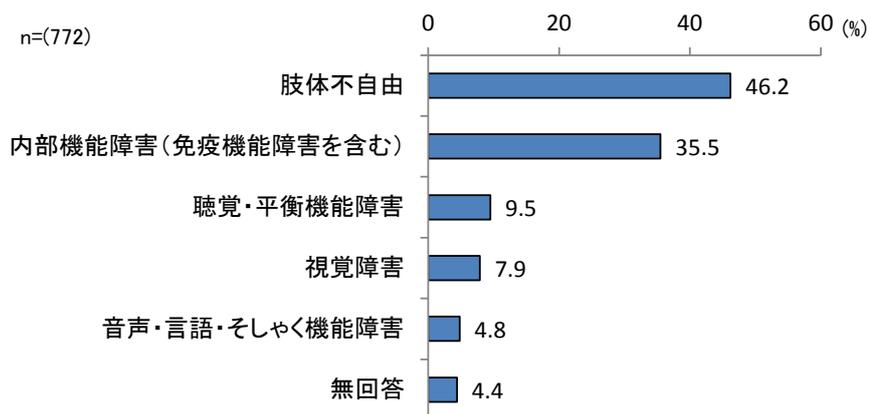


## (5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が46.2%で最も多く、次いで「内部機能障害(免疫機能障害を含む)」が35.5%となっています。

### ●全体



(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数
関節リウマチ	16	黄色靭帯骨化症	1
パーキンソン病	12	下垂体前葉機能低下症	1
網膜色素変性症	11	急性壊死性脳症	1
後縦靭帯骨化症	7	結節性硬化症	1
IgA腎症	5	原発性胆汁性肝硬変	1
ダウン症候群	5	顕微鏡的多発血管炎	1
多系統萎縮症	5	再生不良性貧血	1
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	4	再発性多発軟骨炎	1
加齢黄斑変性	3	自己免疫性肝炎	1
筋ジストロフィー	3	正常圧水頭症	1
クローン病	3	全身性エリテマトーデス	1
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	先天性大脳白質形成不全症	1
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	3	高安動脈炎	1
特発性拡張型心筋症	3	多発性硬化症／視神経脊髄炎	1
肥大型心筋症	3	単心室症	1
潰瘍性大腸炎	2	遅発性内リンパ水腫	1
強皮症	2	特発性血小板減少性紫斑病	1
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	特発性両側性感音難聴	1
脊髄空洞症	2	ヌーナン症候群	1
多発性嚢胞腎	2	膿疱性乾癬	1
特発性大腿骨頭壊死症	2	肺動脈性肺高血圧症	1
突発性難聴	2	マルファン症候群	1
肺胞低換気症候群	2	慢性膵炎	1
ファロー四徴症	2	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1
副甲状腺機能低下症	2	もやもや病	1
ベーチェット病	2	両大血管右室起始症	1
アトピー性脊髄炎	1	リンパ脈管筋腫症	1
ウィルソン病	1	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
円錐角膜	1	レノックス・ガストー症候群	1
		合計	140

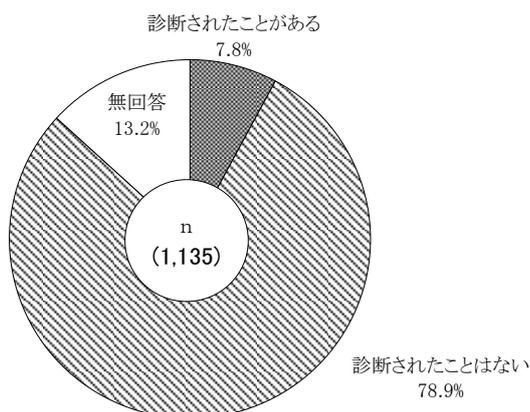
### (7) 高次脳機能障害の診断有無

問7 あなたは医師から高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(○は1つ)

※高次脳機能障害とは、病気や事故など、様々な原因で脳が部分的に損傷を受けたことにより生じる言語や記憶などの障害です

「診断されたことがある」が7.8%、「診断されたことはない」が78.9%となっています。

#### ●全体



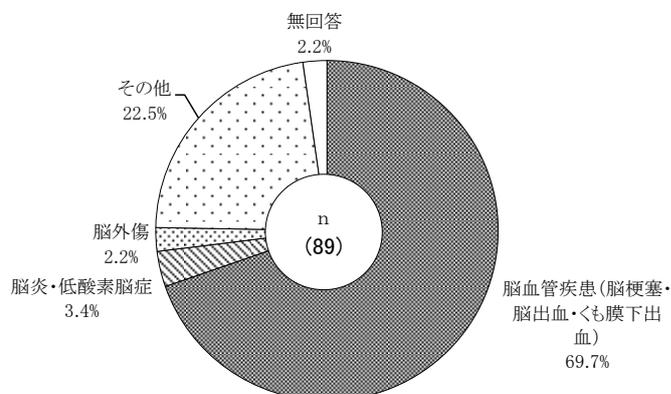
### (8) 障害を負った原因

問8 【問7で診断されたことがある(1番)に○をつけた方におたずねします。】

あなた(ご本人)が障害を負った原因は何ですか。(○は1つ)

「脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)」が69.7%を占めています。

#### ●全体



## 2. 医療機関への受診状況について

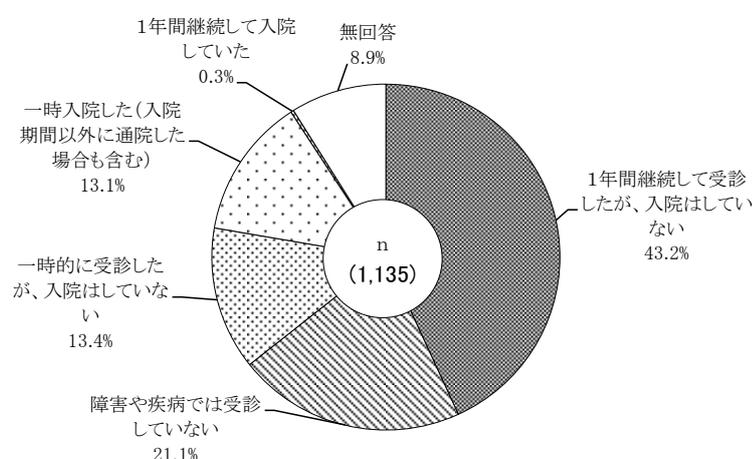
### (1) 医療機関の受診状況

問9 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が43.2%で最も多く、次いで「障害や疾病では受診していない」が21.1%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方や難病の方では「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が、身体障害の方や知的障害の方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

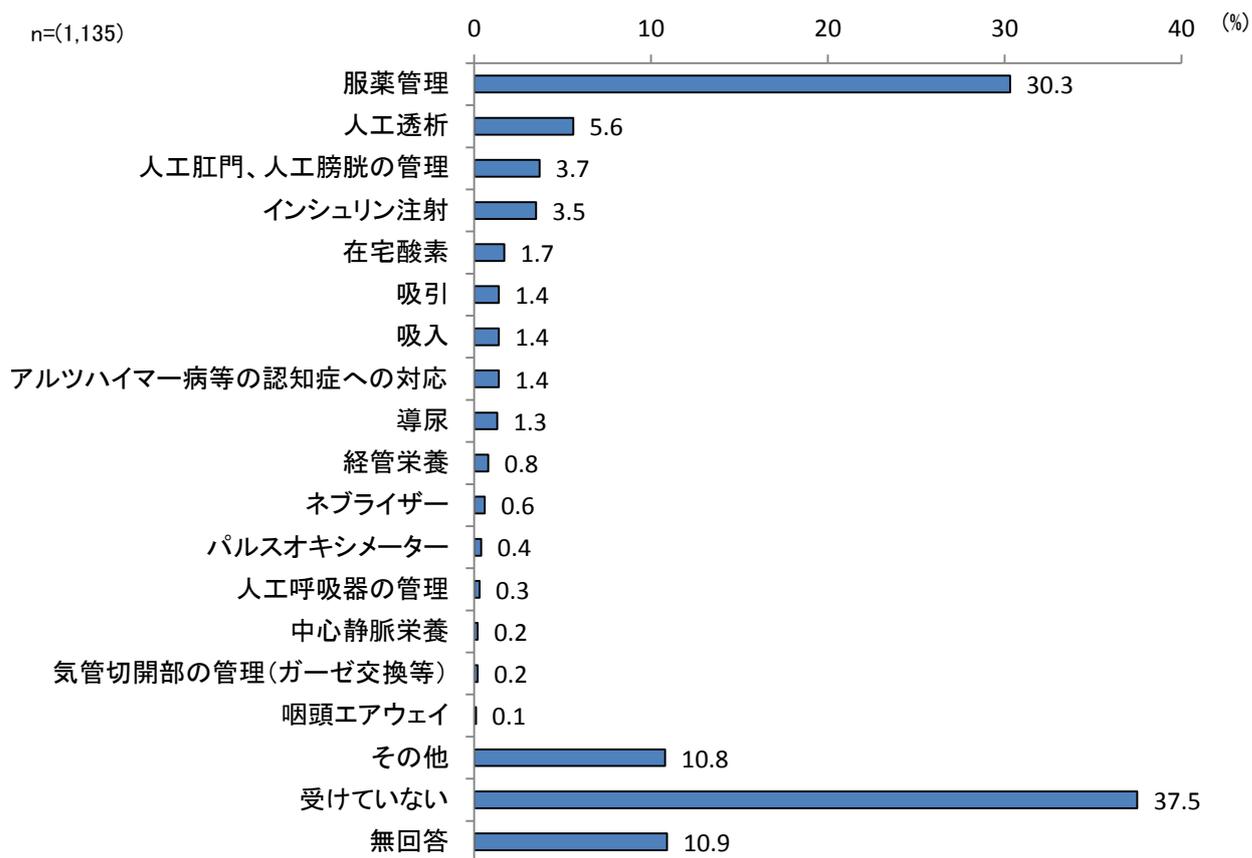
	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全体	1135	240	152	490	149	3	101
	100.0	21.1	13.4	43.2	13.1	0.3	8.9
身体障害	772	146	107	320	133	2	64
	100.0	18.9	13.9	41.5	17.2	0.3	8.3
知的障害	226	89	36	71	6	1	23
	100.0	39.4	15.9	31.4	2.7	0.4	10.2
精神障害	231	19	20	155	22	-	15
	100.0	8.2	8.7	67.1	9.5	-	6.5
難病	224	24	26	119	41	-	14
	100.0	10.7	11.6	53.1	18.3	-	6.3
無回答	7	1	-	2	1	-	3
	100.0	14.3	-	28.6	14.3	-	42.9

## (2) 医療的ケアの種類

問 10 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

現在受けている医療的ケアについては「服薬管理」が30.3%で最も多く、次いで「人工透析」が5.6%となっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター	気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
全体	1135 100.0	16 1.4	16 1.4	9 0.8	2 0.2	15 1.3	19 1.7	7 0.6	1 0.1	5 0.4	2 0.2
身体障害	772 100.0	16 2.1	16 2.1	9 1.2	2 0.3	14 1.8	19 2.5	7 0.9	1 0.1	5 0.6	2 0.3
知的障害	226 100.0	2 0.9	1 0.4	-	-	-	-	1 0.4	-	-	-
精神障害	231 100.0	1 0.4	3 1.3	1 0.4	-	3 1.3	2 0.9	-	-	1 0.4	-
難病	224 100.0	4 1.8	3 1.3	3 1.3	1 0.4	6 2.7	7 3.1	-	-	0.9	-
無回答	7 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全体	1135 100.0	3 0.3	42 3.7	16 1.4	40 3.5	64 5.6	344 30.3	123 10.8	426 37.5	124 10.9
身体障害	772 100.0	3 0.4	41 5.3	14 1.8	37 4.8	64 8.3	234 30.3	98 12.7	238 30.8	84 10.9
知的障害	226 100.0	1 0.4	-	-	2 0.9	-	53 23.5	16 7.1	134 59.3	22 9.7
精神障害	231 100.0	-	-	2 0.9	5 2.2	1 0.4	100 43.3	15 6.5	88 38.1	21 9.1
難病	224 100.0	2 0.9	7 3.1	5 2.2	8 3.6	24 10.7	98 43.8	35 15.6	52 23.2	17 7.6
無回答	7 100.0	-	1 14.3	-	1 14.3	-	1 14.3	-	1 14.3	4 57.1

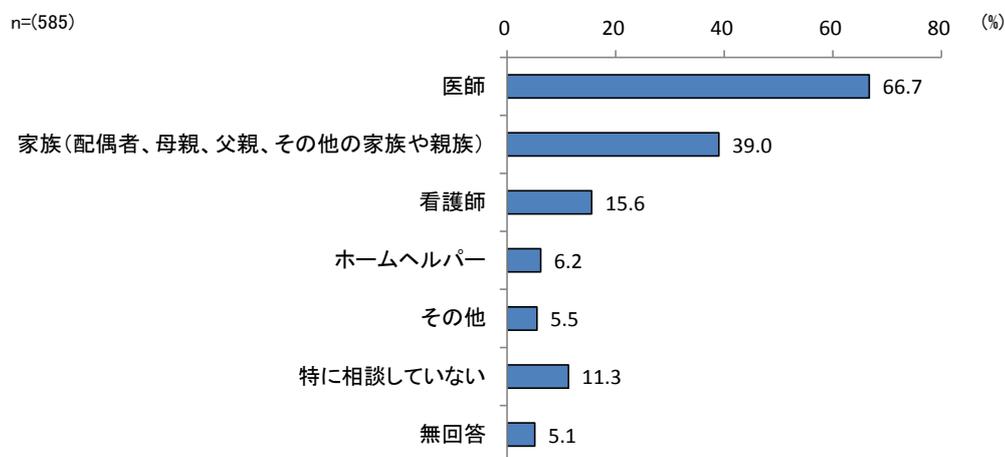
### (3) 医療的ケアについての相談相手

問 11 【問 10 で 1～17 番に○をつけた方におたずねします。】

医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

「医師」が 66.7%で最も多く、以下「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が 39.0%、「看護師」が 15.6%となっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全 体	585 100.0	228 39.0	390 66.7	91 15.6	36 6.2	32 5.5	66 11.3	30 5.1
身体障害	450 100.0	169 37.6	300 66.7	90 20.0	31 6.9	16 3.6	50 11.1	27 6.0
知的障害	70 100.0	34 48.6	49 70.0	3 4.3	5 7.1	8 11.4	4 5.7	3 4.3
精神障害	122 100.0	50 41.0	81 66.4	4 3.3	4 3.3	14 11.5	19 15.6	1 0.8
難病	155 100.0	62 40.0	117 75.5	27 17.4	11 7.1	10 6.5	11 7.1	3 1.9
無回答	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

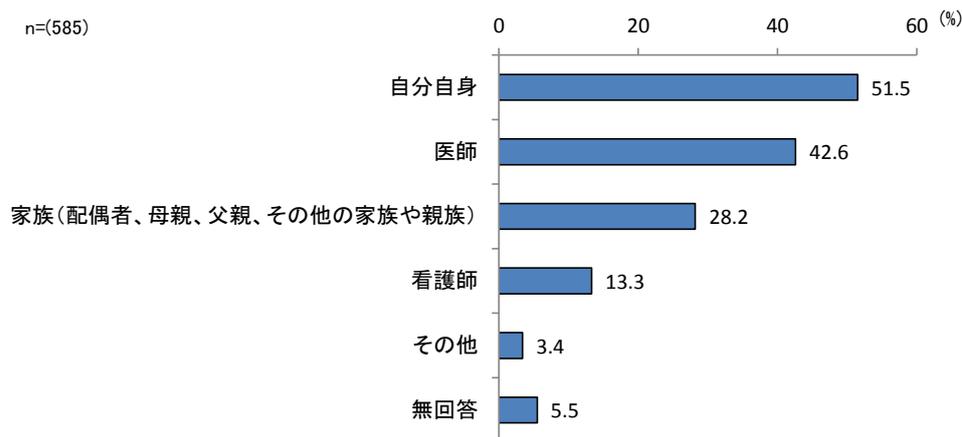
### (4) 医療的ケアを行っている人

問 12 【問 10 で 1～17 番に○をつけた方におたずねします。】

現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。(○はいくつでも)

「自分自身」が51.5%で最も多く、以下「医師」が42.6%、「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が28.2%となっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	585 100.0	301 51.5	165 28.2	249 42.6	78 13.3	20 3.4	32 5.5
身体障害	450 100.0	233 51.8	122 27.1	192 42.7	71 15.8	12 2.7	27 6.0
知的障害	70 100.0	19 27.1	38 54.3	29 41.4	6 8.6	6 8.6	3 4.3
精神障害	122 100.0	76 62.3	28 23.0	49 40.2	7 5.7	5 4.1	2 1.6
難病	155 100.0	85 54.8	51 32.9	72 46.5	26 16.8	7 4.5	4 2.6
無回答	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0

### (5) 医療型短期入所の認知と必要性

問 13 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

(1) あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。(〇は1つ)

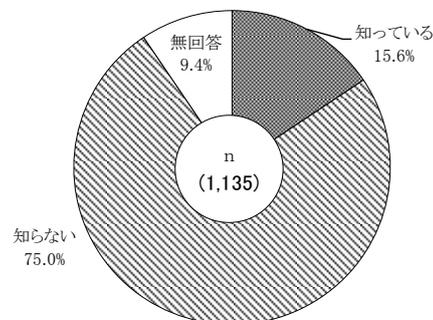
(2) あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。(〇は1つ)

#### (1) 認知

全体では、「知っている」が15.6%、「知らない」は75.0%となっています。

障害種別でみると、精神障害の方では「知っている」が、他の障害の方より少なくなっています。

## ●全体

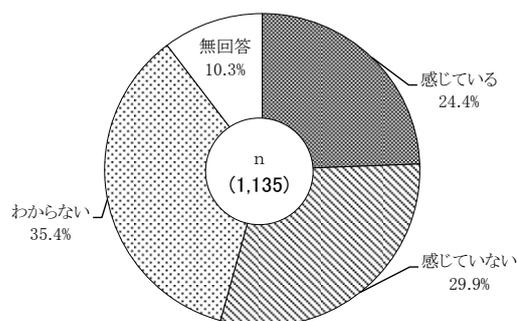


## (2) 必要性

全体では、「感じている」が24.4%、「感じていない」が29.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害の方と難病の方では、「感じている」が他の障害の方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	1135	177	851	107
	100.0	15.6	75.0	9.4
身体障害	772	141	563	68
	100.0	18.3	72.9	8.8
知的障害	226	34	171	21
	100.0	15.0	75.7	9.3
精神障害	231	20	188	23
	100.0	8.7	81.4	10.0
難病	224	43	167	14
	100.0	19.2	74.6	6.3
無回答	7	-	4	3
	100.0	-	57.1	42.9

(2) 「医療型短期入所」の必要性

	調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
全体	1135	277	339	402	117
	100.0	24.4	29.9	35.4	10.3
身体障害	772	213	238	243	78
	100.0	27.6	30.8	31.5	10.1
知的障害	226	51	57	96	22
	100.0	22.6	25.2	42.5	9.7
精神障害	231	46	64	99	22
	100.0	19.9	27.7	42.9	9.5
難病	224	69	61	78	16
	100.0	30.8	27.2	34.8	7.1
無回答	7	-	2	2	3
	100.0	-	28.6	28.6	42.9

### ●身体障害者手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
1級	290	59	207	24
	100.0	20.3	71.4	8.3
2級	116	24	85	7
	100.0	20.7	73.3	6.0
3級	109	17	81	11
	100.0	15.6	74.3	10.1
4級	152	23	114	15
	100.0	15.1	75.0	9.9
5級	34	6	24	4
	100.0	17.6	70.6	11.8
6級	40	6	27	7
	100.0	15.0	67.5	17.5
無回答	31	6	25	-
	100.0	19.4	80.6	-

(2) 「医療型短期入所」の必要性

	調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
1級	290	78	86	99	27
	100.0	26.9	29.7	34.1	9.3
2級	116	36	31	40	9
	100.0	31.0	26.7	34.5	7.8
3級	109	25	35	38	11
	100.0	22.9	32.1	34.9	10.1
4級	152	39	58	37	18
	100.0	25.7	38.2	24.3	11.8
5級	34	10	10	9	5
	100.0	29.4	29.4	26.5	14.7
6級	40	13	11	8	8
	100.0	32.5	27.5	20.0	20.0
無回答	31	12	7	12	-
	100.0	38.7	22.6	38.7	-

## ●療育手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
マルA	8	1	6	1
	100.0	12.5	75.0	12.5
マルAの1	17	7	9	1
	100.0	41.2	52.9	5.9
マルAの2	23	6	17	-
	100.0	26.1	73.9	-
Aの1	43	4	36	3
	100.0	9.3	83.7	7.0
Aの2	4	-	4	-
	100.0	-	100.0	-
Bの1	59	3	50	6
	100.0	5.1	84.7	10.2
Bの2	56	9	40	7
	100.0	16.1	71.4	12.5
無回答	16	4	9	3
	100.0	25.0	56.3	18.8

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
8	3	-	4	1
100.0	37.5	-	50.0	12.5
17	8	-	7	2
100.0	47.1	-	41.2	11.8
23	10	3	10	-
100.0	43.5	13.0	43.5	-
43	10	12	18	3
100.0	23.3	27.9	41.9	7.0
4	1	-	3	-
100.0	25.0	-	75.0	-
59	6	21	25	7
100.0	10.2	35.6	42.4	11.9
56	9	19	21	7
100.0	16.1	33.9	37.5	12.5
16	4	2	8	2
100.0	25.0	12.5	50.0	12.5

## ●精神障害区分別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
精神障害者保健福祉手帳のみ	27	3	22	2
	100.0	11.1	81.5	7.4
自立支援医療のみ	126	12	99	15
	100.0	9.5	78.6	11.9
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療	78	5	67	6
	100.0	6.4	85.9	7.7

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
27	5	6	14	2
100.0	18.5	22.2	51.9	7.4
126	23	38	51	14
100.0	18.3	30.2	40.5	11.1
78	18	20	34	6
100.0	23.1	25.6	43.6	7.7

## ●障害の重複別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
身体のみ	695	127	506	62
	100.0	18.3	72.8	8.9
知的のみ	168	22	131	15
	100.0	13.1	78.0	8.9
精神のみ	166	10	137	19
	100.0	6.0	82.5	11.4
身体+知的	33	8	21	4
	100.0	24.2	63.6	12.1
身体+精神	40	6	32	2
	100.0	15.0	80.0	5.0
知的+精神	21	4	15	2
	100.0	19.0	71.4	9.5
身体+知的+精神	4	-	4	-
	100.0	-	100.0	-
無回答	8	-	5	3
	100.0	-	62.5	37.5

(2) 「医療型短期入所」の必要性

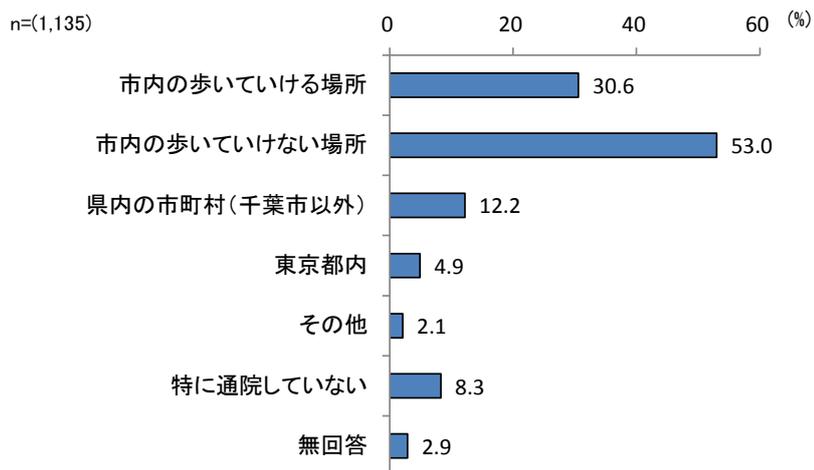
調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
695	184	221	218	72
100.0	26.5	31.8	31.4	10.4
168	34	46	72	16
100.0	20.2	27.4	42.9	9.5
166	26	48	74	18
100.0	15.7	28.9	44.6	10.8
33	13	6	10	4
100.0	39.4	18.2	30.3	12.1
40	16	11	11	2
100.0	40.0	27.5	27.5	5.0
21	4	5	10	2
100.0	19.0	23.8	47.6	9.5
4	-	-	4	-
100.0	-	-	100.0	-
8	-	2	3	3
100.0	-	25.0	37.5	37.5

## (6) 通院先の所在地

問 14 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。  
(〇はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が 53.0%で最も多く、次いで「市内の歩いていける場所」が 30.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	市内の歩いていける場所	市内の歩いていけない場所	県内の市町村(千葉市以外)	東京都内	その他	特に通院していない	無回答
全 体	1135	347	602	138	56	24	94	33
	100.0	30.6	53.0	12.2	4.9	2.1	8.3	2.9
身体障害	772	225	438	95	43	21	45	20
	100.0	29.1	56.7	12.3	5.6	2.7	5.8	2.6
知的障害	226	71	95	27	9	2	53	8
	100.0	31.4	42.0	11.9	4.0	0.9	23.5	3.5
精神障害	231	79	129	32	8	5	3	4
	100.0	34.2	55.8	13.9	3.5	2.2	1.3	1.7
難病	224	56	137	28	18	7	8	3
	100.0	25.0	61.2	12.5	8.0	3.1	3.6	1.3
無回答	7	1	4	-	-	-	-	2
	100.0	14.3	57.1	-	-	-	-	28.6

### 3. 家族や介助者について

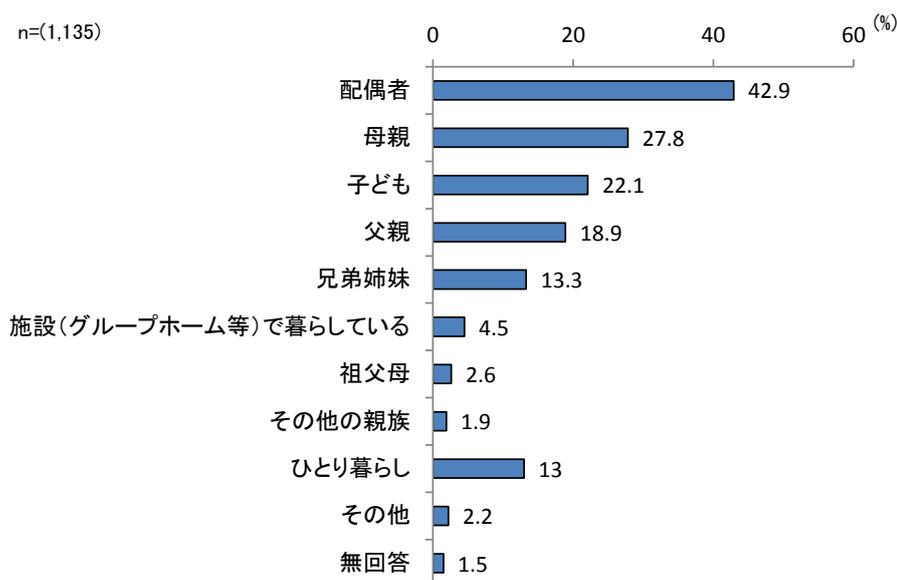
#### (1) 同居者

問 15 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「配偶者」が 42.9%で最も多く、以下「母親」が 27.8%、「子ども」が 22.1%、「父親」が 18.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方や難病のある方では「配偶者」が多くなっています。一方、知的障害のある方や精神障害のある方では「母親」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全体	1135	315	215	151	30	487	251	21	51	148	25	17
	100.0	27.8	18.9	13.3	2.6	42.9	22.1	1.9	4.5	13.0	2.2	1.5
身体障害	772	91	55	42	10	432	205	16	28	113	17	10
	100.0	11.8	7.1	5.4	1.3	56.0	26.6	2.1	3.6	14.6	2.2	1.3
知的障害	226	181	132	91	19	3	3	2	19	11	5	2
	100.0	80.1	58.4	40.3	8.4	1.3	1.3	0.9	8.4	4.9	2.2	0.9
精神障害	231	98	69	48	5	69	51	3	8	35	3	3
	100.0	42.4	29.9	20.8	2.2	29.9	22.1	1.3	3.5	15.2	1.3	1.3
難病	224	52	36	20	6	107	51	3	8	32	7	1
	100.0	23.2	16.1	8.9	2.7	47.8	22.8	1.3	3.6	14.3	3.1	0.4
無回答	7	3	1	-	-	-	1	-	1	1	-	2
	100.0	42.9	14.3	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	28.6

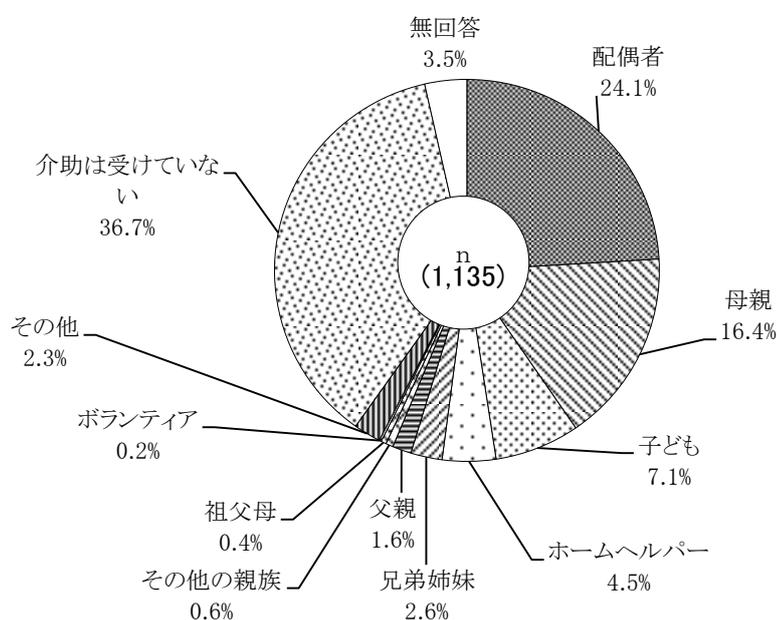
## (2) 主な介助者

問 16 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

全体では、主な介助者については「配偶者」が24.1%で最も多く、次いで「母親」が16.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では、「配偶者」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「母親」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全体	1135	186	18	30	5	273	81	7	51	2	416	26	40
	100.0	16.4	1.6	2.6	0.4	24.1	7.1	0.6	4.5	0.2	36.7	2.3	3.5
身体障害	772	64	9	19	2	255	76	5	41	1	260	15	25
	100.0	8.3	1.2	2.5	0.3	33.0	9.8	0.6	5.3	0.1	33.7	1.9	3.2
知的障害	226	126	8	10	2	1	-	2	6	1	56	8	6
	100.0	55.8	3.5	4.4	0.9	0.4	-	0.9	2.7	0.4	24.8	3.5	2.7
精神障害	231	41	7	8	1	27	7	-	8	-	120	5	7
	100.0	17.7	3.0	3.5	0.4	11.7	3.0	-	3.5	-	51.9	2.2	3.0
難病	224	34	2	7	-	75	17	-	6	1	72	7	3
	100.0	15.2	0.9	3.1	-	33.5	7.6	-	2.7	0.4	32.1	3.1	1.3
無回答	7	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2
	100.0	28.6	-	-	-	-	28.6	-	14.3	-	-	-	28.6

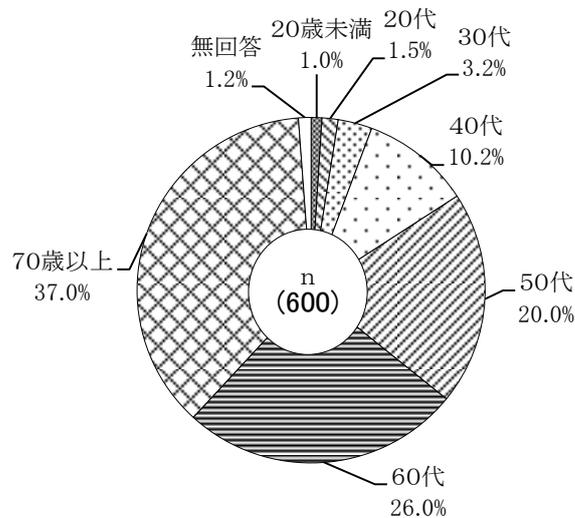
### (3) 主な介助者の年齢

問 17 【問 16 で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

全体では、「70歳以上」が37.0%で最も多く、以下「60代」が26.0%、「50代」が20.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病の方では、「70歳以上」が多くなっています。一方、知的障害のある方では「50代」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	600	6	9	19	61	120	156	222	7
	100.0	1.0	1.5	3.2	10.2	20.0	26.0	37.0	1.2
身体障害	430	4	7	13	37	73	112	177	7
	100.0	0.9	1.6	3.0	8.6	17.0	26.0	41.2	1.6
知的障害	149	-	-	1	21	50	31	45	1
	100.0	-	-	0.7	14.1	33.6	20.8	30.2	0.7
精神障害	91	2	2	5	14	17	23	27	1
	100.0	2.2	2.2	5.5	15.4	18.7	25.3	29.7	1.1
難病	135	3	4	3	9	26	41	45	4
	100.0	2.2	3.0	2.2	6.7	19.3	30.4	33.3	3.0
無回答	4	-	-	1	-	1	2	-	-
	100.0	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-

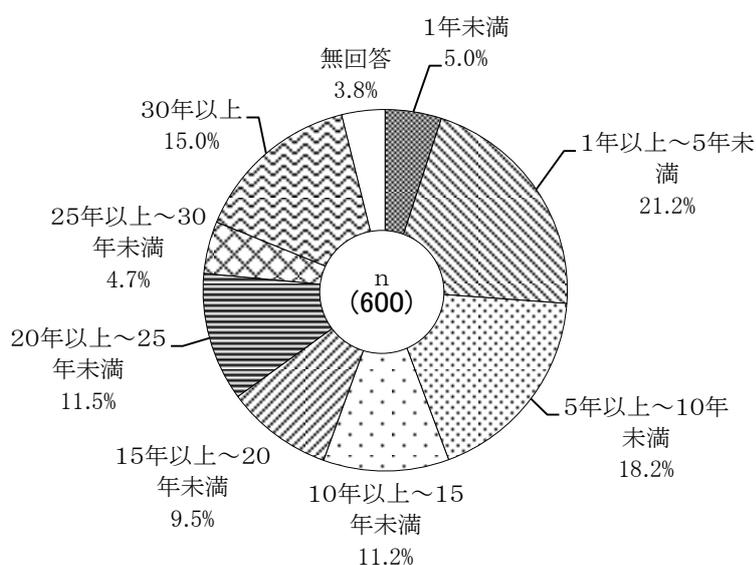
#### (4) 主な介助者の介助継続年数

問 18 【問 16 で主な介助者が家族・親族（1～7 番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

全体では、「1年以上～5年未満」が21.2%で最も多く、以下「5年以上～10年未満」が18.2%、「30年以上」が15.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「30年以上」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上	無回答
全体	600	30	127	109	67	57	69	28	90	23
	100.0	5.0	21.2	18.2	11.2	9.5	11.5	4.7	15.0	3.8
身体障害	430	24	117	93	58	33	30	18	38	19
	100.0	5.6	27.2	21.6	13.5	7.7	7.0	4.2	8.8	4.4
知的障害	149	-	2	6	2	22	38	14	59	6
	100.0	-	1.3	4.0	1.3	14.8	25.5	9.4	39.6	4.0
精神障害	91	5	13	18	10	10	12	3	18	2
	100.0	5.5	14.3	19.8	11.0	11.0	13.2	3.3	19.8	2.2
難病	135	2	31	27	19	11	9	8	23	5
	100.0	1.5	23.0	20.0	14.1	8.1	6.7	5.9	17.0	3.7
無回答	4	1	-	-	1	-	1	-	1	-
	100.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-

## (5) 主な介護者が困っていること

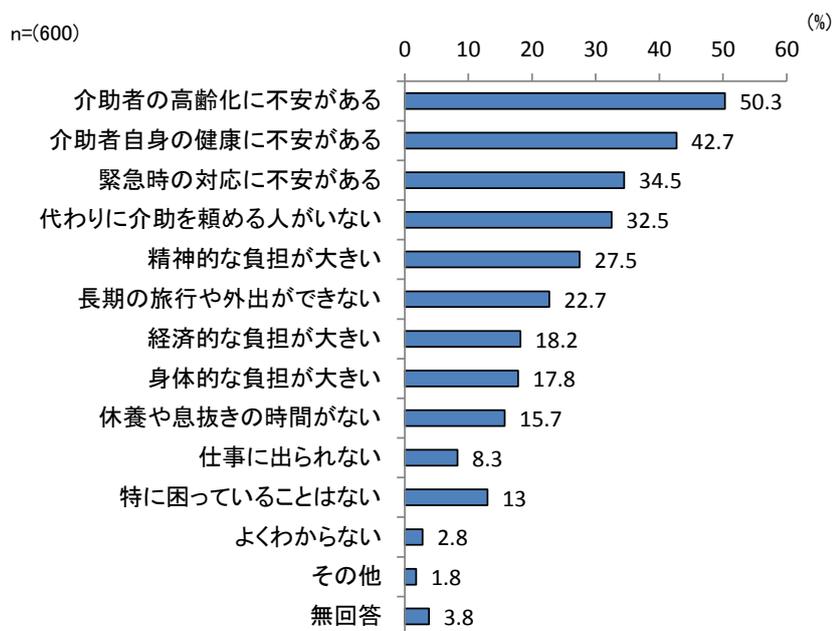
問 19 【問 16 で主な介護者が家族・親族（1～7 番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

全体では、「介護者の高齢化に不安がある」が 50.3%で最も多く、以下「介護者自身の健康に不安がある」が 42.7%、「緊急時の対応に不安がある」が 34.5%、「代わりに介護を頼める人がいない」が 32.5% となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「介護者の高齢化に不安がある」が、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」が多くなっています。一方、難病のある方では、「介護者自身の健康に不安がある」が、他の障害のある方より多くなっています。

なお、平成 25 年度に実施した千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る実態調査（以下、「前回調査」と記載）と比較すると、「介護者の高齢化に不安がある」と「介護者自身の健康に不安がある」が、今回の調査では増加しています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
全体	600 100.0	256 42.7	302 50.3	195 32.5	207 34.5	107 17.8	165 27.5	109 18.2	50 8.3	136 22.7
身体障害	430 100.0	180 41.9	203 47.2	127 29.5	136 31.6	79 18.4	94 21.9	70 16.3	24 5.6	90 20.9
知的障害	149 100.0	63 42.3	94 63.1	63 42.3	69 46.3	28 18.8	47 31.5	25 16.8	20 13.4	44 29.5
精神障害	91 100.0	42 46.2	44 48.4	34 37.4	30 33.0	12 13.2	45 49.5	30 33.0	14 15.4	17 18.7
難病	135 100.0	69 51.1	63 46.7	43 31.9	46 34.1	29 21.5	43 31.9	29 21.5	12 8.9	26 19.3
無回答	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0

	調査数	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	600 100.0	94 15.7	78 13.0	17 2.8	11 1.8	23 3.8
身体障害	430 100.0	63 14.7	67 15.6	15 3.5	7 1.6	17 4.0
知的障害	149 100.0	29 19.5	9 6.0	2 1.3	5 3.4	5 3.4
精神障害	91 100.0	16 17.6	7 7.7	3 3.3	-	2 2.2
難病	135 100.0	29 21.5	17 12.6	4 3.0	3 2.2	7 5.2
無回答	4 100.0	-	-	-	-	1 25.0

## ●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
今回 (平成28年度)	600 100.0	256 42.7	302 50.3	195 32.5	207 34.5	107 17.8	165 27.5	109 18.2	50 8.3	136 22.7
増減		6.4	5.6	5.4	4.3	0.7	3.0	▲0.5	1.1	▲1.8
前回 (平成25年度)	683 100.0	248 36.3	305 44.7	185 27.1	206 30.2	117 17.1	167 24.5	128 18.7	49 7.2	167 24.5

	調査数	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	600 100.0	94 15.7	78 13.0	17 2.8	11 1.8	23 3.8
増減		3.5	▲0.5	▲0.6	▲0.8	▲2.9
前回 (平成25年度)	683 100.0	83 12.2	92 13.5	23 3.4	18 2.6	46 6.7

## 4. 相談や情報入手について

### (1) 日常生活で困っていること

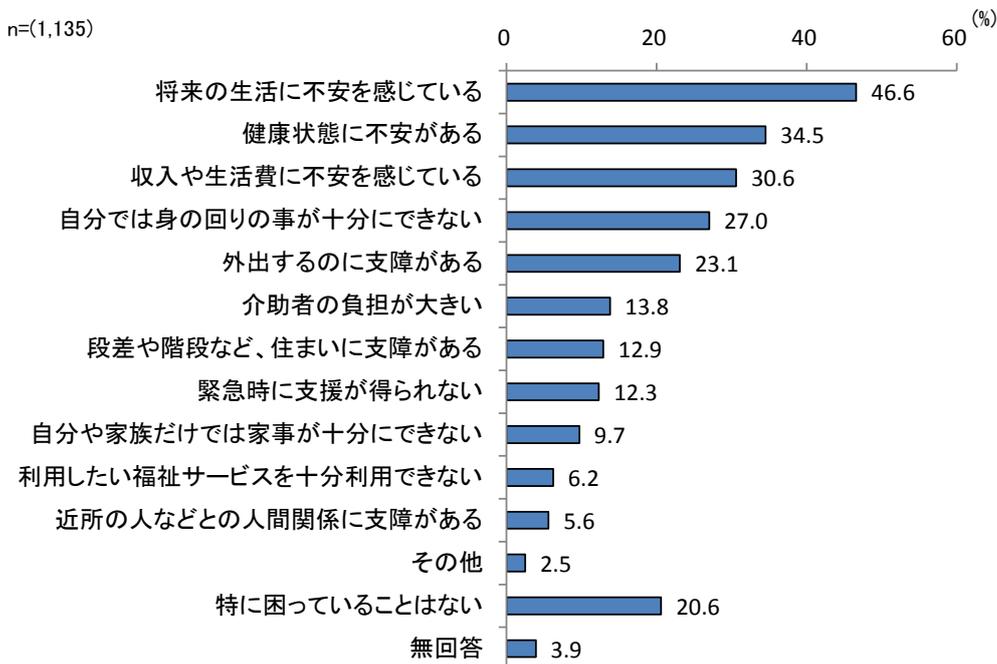
問 20 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が46.6%で最も多く、以下「健康状態に不安がある」が34.5%、「収入や生活費に不安を感じている」が30.6%、「自分では身の回りの事が十分にできない」が27.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「自分では身の回りの事が十分にできない」が、精神障害のある方では「収入や生活費に不安を感じている」が、他の障害のある方より多くなっています。また、知的障害のある方と精神障害のある方では、「将来の生活に不安を感じている」も、他の障害に比べて多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「将来の生活に不安を感じている」と「収入や生活費に不安を感じている」が多くなっています。一方、40歳以上では「健康状態に不安がある」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない
全体	1135 100.0	306 27.0	110 9.7	392 34.5	157 13.8	146 12.9	262 23.1	70 6.2	347 30.6	140 12.3
身体障害	772 100.0	204 26.4	71 9.2	271 35.1	110 14.2	127 16.5	198 25.6	44 5.7	190 24.6	87 11.3
知的障害	226 100.0	95 42.0	20 8.8	49 21.7	40 17.7	11 4.9	43 19.0	25 11.1	67 29.6	37 16.4
精神障害	231 100.0	54 23.4	33 14.3	102 44.2	24 10.4	24 10.4	55 23.8	14 6.1	126 54.5	29 12.6
難病	224 100.0	71 31.7	26 11.6	90 40.2	40 17.9	42 18.8	67 29.9	17 7.6	71 31.7	30 13.4
無回答	7 100.0	4 57.1	3 42.9	5 71.4	1 14.3	2 28.6	2 28.6	- -	3 42.9	2 28.6

	調査数	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1135 100.0	63 5.6	529 46.6	234 20.6	28 2.5	44 3.9
身体障害	772 100.0	24 3.1	296 38.3	180 23.3	17 2.2	35 4.5
知的障害	226 100.0	16 7.1	133 58.8	35 15.5	6 2.7	9 4.0
精神障害	231 100.0	30 13.0	154 66.7	33 14.3	6 2.6	4 1.7
難病	224 100.0	12 5.4	105 46.9	33 14.7	4 1.8	11 4.9
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -	- -

## ●年齢別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない
18～39歳	265 100.0	84 31.7	25 9.4	68 25.7	40 15.1	12 4.5	47 17.7	34 12.8	111 41.9	40 15.1
40～64歳	343 100.0	70 20.4	38 11.1	122 35.6	43 12.5	37 10.8	63 18.4	20 5.8	116 33.8	50 14.6
65～74歳	232 100.0	57 24.6	19 8.2	88 37.9	31 13.4	46 19.8	58 25.0	4 1.7	65 28.0	20 8.6
75歳以上	290 100.0	92 31.7	27 9.3	112 38.6	43 14.8	51 17.6	94 32.4	12 4.1	54 18.6	30 10.3
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -	1 20.0	- -

	調査数	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	23 8.7	177 66.8	31 11.7	8 3.0	9 3.4
40～64歳	343 100.0	23 6.7	170 49.6	81 23.6	8 2.3	8 2.3
65～74歳	232 100.0	8 3.4	95 40.9	54 23.3	3 1.3	10 4.3
75歳以上	290 100.0	9 3.1	86 29.7	67 23.1	9 3.1	16 5.5
無回答	5 100.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0

## (2) 困った時の相談先

問 21 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

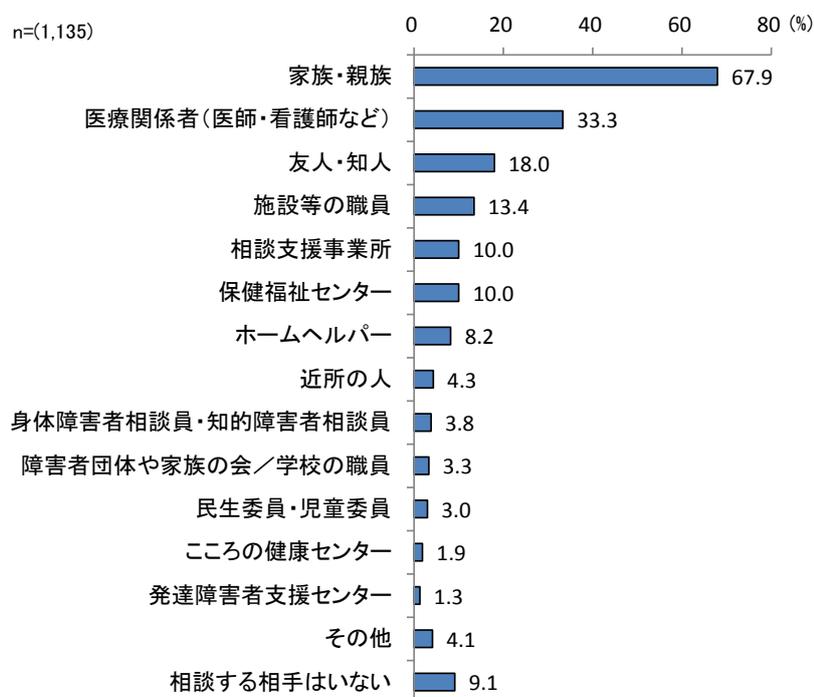
全体では、「家族・親族」が 67.9%で最も多く、以下「医療関係者(医師・看護師など)」が 33.3%、「友人・知人」が 18.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「施設等の職員」と「相談支援事業所」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「医療関係者(医師・看護師など)」が多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、「相談支援事業所」が前回調査で 2.9%であったのが、今回調査では 10.0%に増加しています。

また、「相談する相手はいない」は前回調査より 1.1%増加しています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者 (医師・看護師など)	障害者団体 や家族の会 ／学校の職員	民生委員・児童委員
全 体	1135 100.0	771 67.9	204 18.0	49 4.3	113 10.0	93 8.2	152 13.4	378 33.3	37 3.3	34 3.0
身体障害	772 100.0	527 68.3	123 15.9	42 5.4	60 7.8	79 10.2	74 9.6	247 32.0	11 1.4	29 3.8
知的障害	226 100.0	157 69.5	40 17.7	7 3.1	56 24.8	11 4.9	83 36.7	57 25.2	26 11.5	1 0.4
精神障害	231 100.0	142 61.5	55 23.8	2 0.9	24 10.4	9 3.9	22 9.5	117 50.6	8 3.5	4 1.7
難病	224 100.0	145 64.7	33 14.7	6 2.7	19 8.5	22 9.8	33 14.7	79 35.3	5 2.2	8 3.6
無回答	7 100.0	4 57.1	1 14.3	- -	- -	1 14.3	2 28.6	2 28.6	- -	- -

	調査数	身体障害者 相談員・知的 障害者相談 員	保健福祉セ ンター	発達障害者 支援センター	こころの健康 センター	相談する相 手はいない	その他
全 体	1135 100.0	43 3.8	113 10.0	15 1.3	22 1.9	103 9.1	46 4.1
身体障害	772 100.0	21 2.7	69 8.9	- -	7 0.9	68 8.8	29 3.8
知的障害	226 100.0	25 11.1	28 12.4	13 5.8	3 1.3	13 5.8	8 3.5
精神障害	231 100.0	3 1.3	31 13.4	5 2.2	14 6.1	27 11.7	13 5.6
難病	224 100.0	6 2.7	27 12.1	1 0.4	3 1.3	22 9.8	7 3.1
無回答	7 100.0	- -	- -	- -	1 14.3	2 28.6	- -

## ●経年比較

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者 (医師・看護師など)	障害者団体 や家族の会 ／学校の職員	民生委員・児童委員
今回 (平成28年度)	1135 100.0	771 67.9	204 18.0	49 4.3	113 10.0	93 8.2	152 13.4	378 33.3	37 3.3	34 3.0
増減		▲2.3	▲2.8	▲1.8	7.1	2.6	▲2.8	6.5	▲0.9	▲0.7
前回 (平成25年度)	1300 100.0	913 70.2	270 20.8	79 6.1	38 2.9	73 5.6	211 16.2	349 26.8	54 4.2	48 3.7

	調査数	身体障害者 相談員・知的 障害者相談 員	保健福祉セ ンター	発達障害者 支援センター	こころの健康 センター	相談する相 手はいない	その他
今回 (平成28年度)	1135 100.0	43 3.8	113 10.0	15 1.3	22 1.9	103 9.1	46 4.1
増減		1.6	▲1.3	0.7	0.2	1.1	▲0.7
前回 (平成25年度)	1300 100.0	4 2.2	147 11.3	8 0.6	22 1.7	104 8.0	63 4.8

### (3) 希望する相談制度

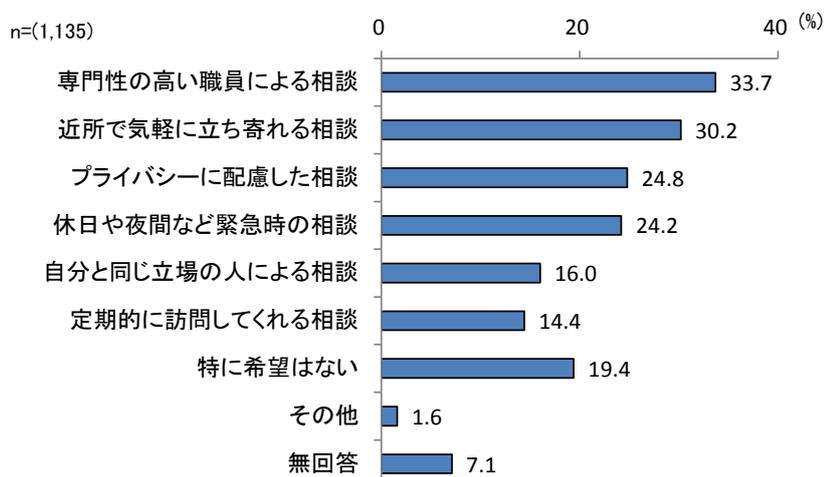
問 22 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「専門性の高い職員による相談」が33.7%で最も多く、以下「近所で気軽に立ち寄れる相談」が30.2%、「プライバシーに配慮した相談」が24.8%、「休日や夜間など緊急時の相談」が24.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方と精神障害のある方では、「専門性の高い職員による相談」が他の障害より多くなっています。また、精神障害のある方では、「プライバシーに配慮した相談」も多くなっています。

年齢別でみると、64歳以下では「専門性の高い職員による相談」と「プライバシーに配慮した相談」が、他の年代より多くなっています。また、18～39歳、75歳以上では「休日や夜間など緊急時の相談」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	1135	343	275	383	182	163	282	220	18	81
	100.0	30.2	24.2	33.7	16.0	14.4	24.8	19.4	1.6	7.1
身体障害	772	212	168	221	108	111	148	164	13	69
	100.0	27.5	21.8	28.6	14.0	14.4	19.2	21.2	1.7	8.9
知的障害	226	73	68	100	39	35	60	35	5	10
	100.0	32.3	30.1	44.2	17.3	15.5	26.5	15.5	2.2	4.4
精神障害	231	89	62	98	56	35	97	33	3	8
	100.0	38.5	26.8	42.4	24.2	15.2	42.0	14.3	1.3	3.5
難病	224	60	61	66	41	21	55	36	4	22
	100.0	26.8	27.2	29.5	18.3	9.4	24.6	16.1	1.8	9.8
無回答	7	3	1	2	-	-	1	4	-	-
	100.0	42.9	14.3	28.6	-	-	14.3	57.1	-	-

●年齢別

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
18～39歳	265	92	81	120	61	41	93	38	7	4
	100.0	34.7	30.6	45.3	23.0	15.5	35.1	14.3	2.6	1.5
40～64歳	343	105	69	112	61	41	98	73	4	22
	100.0	30.6	20.1	32.7	17.8	12.0	28.6	21.3	1.2	6.4
65～74歳	232	63	38	63	28	23	40	59	1	25
	100.0	27.2	16.4	27.2	12.1	9.9	17.2	25.4	0.4	10.8
75歳以上	290	80	86	87	31	58	50	50	6	29
	100.0	27.6	29.7	30.0	10.7	20.0	17.2	17.2	2.1	10.0
無回答	5	3	1	1	1	-	1	-	-	1
	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0

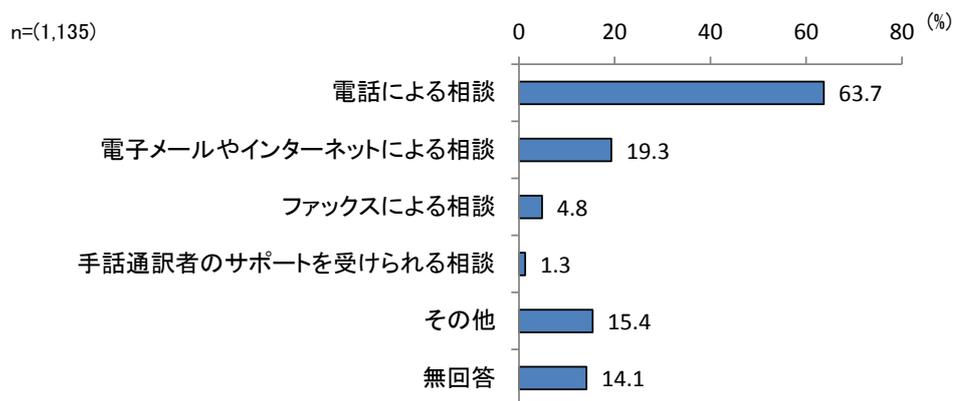
#### (4) 相談しやすい方法

問 23 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「電話による相談」が63.7%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が19.3%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では「電子メールやインターネットによる相談」が他の障害より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者のサポートを受けられる相談	その他	無回答
全 体	1135	723	219	55	15	175	160
	100.0	63.7	19.3	4.8	1.3	15.4	14.1
身体障害	772	490	123	43	15	86	131
	100.0	63.5	15.9	5.6	1.9	11.1	17.0
知的障害	226	144	48	10	1	55	20
	100.0	63.7	21.2	4.4	0.4	24.3	8.8
精神障害	231	148	67	5	1	49	22
	100.0	64.1	29.0	2.2	0.4	21.2	9.5
難病	224	144	42	9	1	33	36
	100.0	64.3	18.8	4.0	0.4	14.7	16.1
無回答	7	3	-	-	-	1	3
	100.0	42.9	-	-	-	14.3	42.9

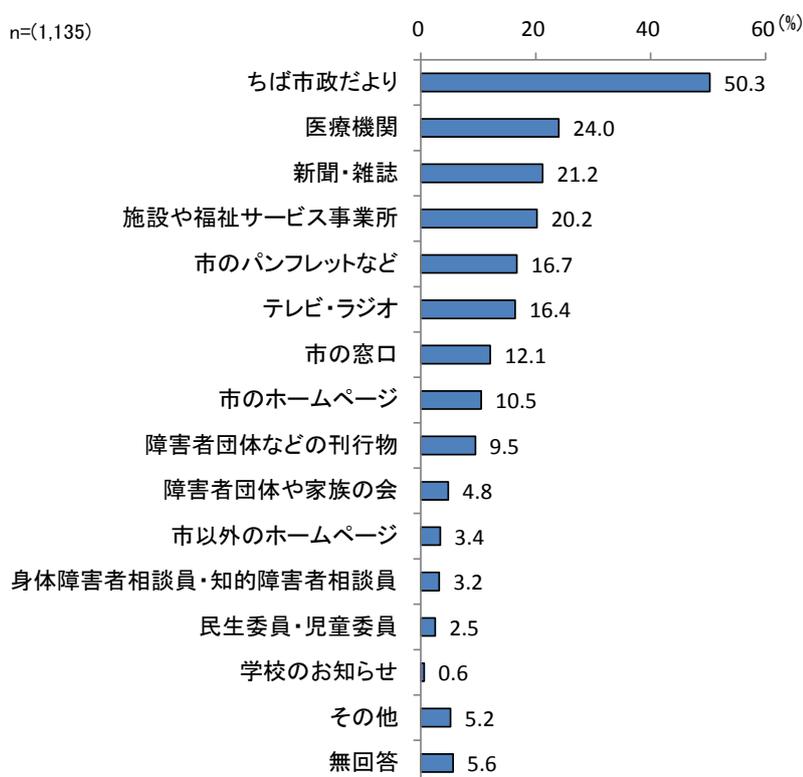
## (5) 福祉情報の入手先

問 24 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「ちば市政だより」が50.3%で最も多く、以下「医療機関」が24.0%、「新聞・雑誌」が21.2%、「施設や福祉サービス事業所」が20.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「ちば市政だより」が多くなっています。知的障害のある方では、「施設や福祉サービス事業所」と「障害者団体などの刊行物」が、精神障害のある方では、「医療機関」が多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	ちば市政だより	市のパンフレットなど	障害者団体などの刊行物	学校のお知らせ	市のホームページ	市以外のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	施設や福祉サービス事業所
全 体	1135 100.0	571 50.3	189 16.7	108 9.5	7 0.6	119 10.5	39 3.4	241 21.2	186 16.4	229 20.2
身体障害	772 100.0	422 54.7	134 17.4	58 7.5	2 0.3	79 10.2	16 2.1	179 23.2	140 18.1	131 17.0
知的障害	226 100.0	100 44.2	28 12.4	53 23.5	5 2.2	16 7.1	5 2.2	39 17.3	29 12.8	97 42.9
精神障害	231 100.0	79 34.2	31 13.4	11 4.8	1 0.4	30 13.0	19 8.2	36 15.6	23 10.0	31 13.4
難病	224 100.0	109 48.7	33 14.7	17 7.6	- -	21 9.4	6 2.7	40 17.9	37 16.5	43 19.2
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	- -	- -	- -	1 14.3	1 14.3	2 28.6

	調査数	医療機関	障害者団体や家族の会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	その他	無回答
全 体	1135 100.0	272 24.0	54 4.8	28 2.5	36 3.2	137 12.1	59 5.2	64 5.6
身体障害	772 100.0	172 22.3	21 2.7	28 3.6	17 2.2	78 10.1	38 4.9	53 6.9
知的障害	226 100.0	22 9.7	35 15.5	- -	21 9.3	38 16.8	15 6.6	7 3.1
精神障害	231 100.0	102 44.2	8 3.5	- -	6 2.6	41 17.7	14 6.1	12 5.2
難病	224 100.0	65 29.0	10 4.5	5 2.2	6 2.7	37 16.5	10 4.5	11 4.9
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3

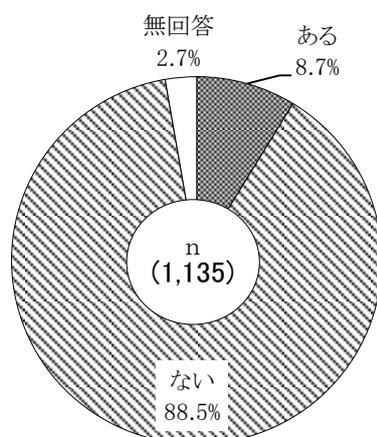
## (6) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの経験

問 25 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。(〇は1つ)

全体では、「ある」が8.7%、「ない」が88.5%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では「ある」が16.9%と、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	1135	99	1005	31
	100.0	8.7	88.5	2.7
身体障害	772	57	690	25
	100.0	7.4	89.4	3.2
知的障害	226	20	202	4
	100.0	8.8	89.4	1.8
精神障害	231	39	185	7
	100.0	16.9	80.1	3.0
難病	224	17	199	8
	100.0	7.6	88.8	3.6
無回答	7	-	7	-
	100.0	-	100.0	-

## (7) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの相談先

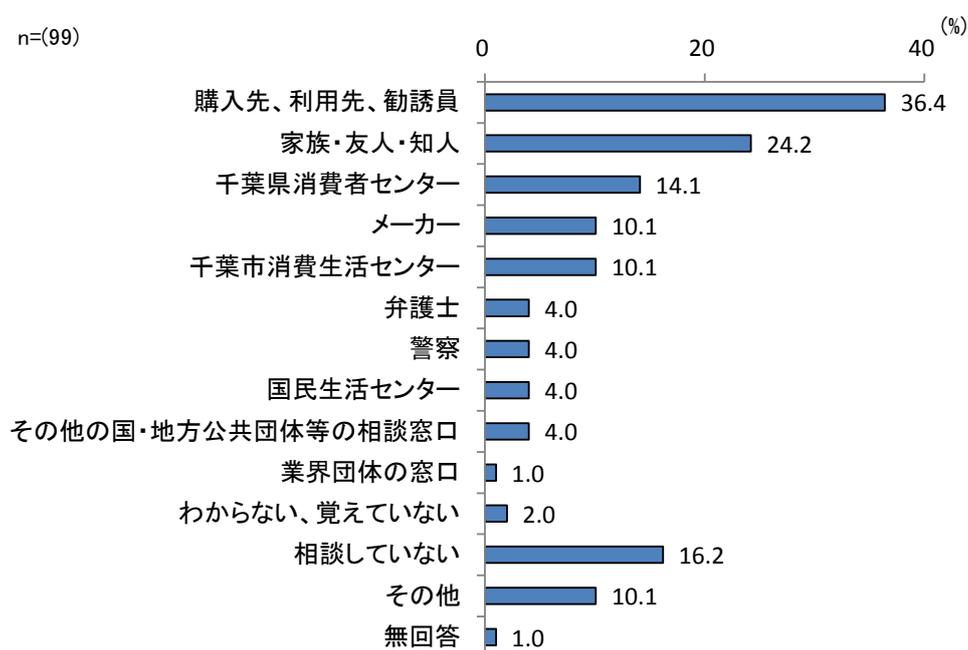
問 26 【問 25 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（○はいくつでも）

全体では「購入先、利用先、勧誘員」が 36.4%で最も多く、以下「家族・友人・知人」が 24.2%、「千葉県消費者センター」が 14.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「購入先、利用先、勧誘員」が多くなっています。一方、知的障害のある方では「家族・友人・知人」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	購入先、利用先、勧誘員	メーカー	業界団体の窓口	国民生活センター	千葉県消費者センター	千葉市消費生活センター	その他の国・地方公共団体等の相談窓口	弁護士	警察
全 体	99 100.0	36 36.4	10 10.1	1 1.0	4 4.0	14 14.1	10 10.1	4 4.0	4 4.0	4 4.0
身体障害	57 100.0	24 42.1	7 12.3	-	2 3.5	8 14.0	6 10.5	3 5.3	2 3.5	2 3.5
知的障害	20 100.0	3 15.0	1 5.0	-	-	-	1 5.0	-	1 5.0	-
精神障害	39 100.0	13 33.3	3 7.7	1 2.6	3 7.7	7 17.9	5 12.8	1 2.6	2 5.1	3 7.7
難病	17 100.0	6 35.3	4 23.5	1 5.9	-	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	-
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	調査数	家族・友人・知人	わからない、覚えていない	相談していない	その他	無回答
全 体	99 100.0	24 24.2	2 2.0	16 16.2	10 10.1	1 1.0
身体障害	57 100.0	10 17.5	1 1.8	11 19.3	6 10.5	1 1.8
知的障害	20 100.0	8 40.0	-	5 25.0	3 15.0	-
精神障害	39 100.0	8 20.5	2 5.1	5 12.8	3 7.7	-
難病	17 100.0	1 5.9	-	3 17.6	3 17.6	1 5.9
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

## 5. 暮らしについて

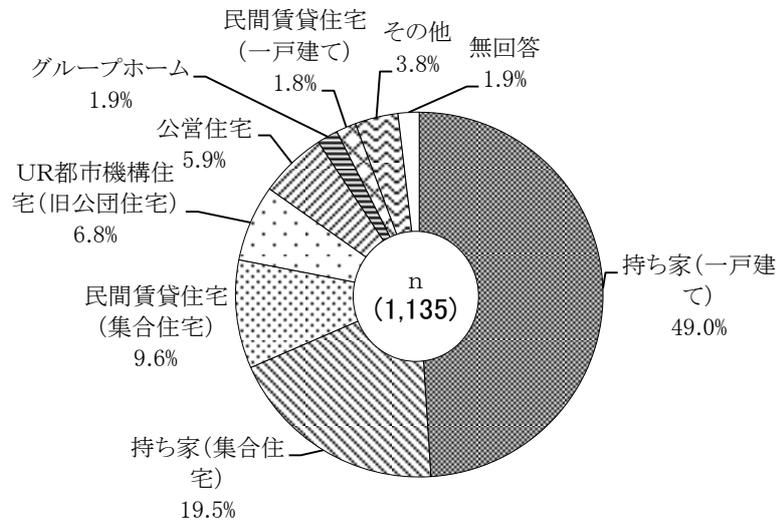
### (1) 住まいの種類

問 27 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

全体では、「持ち家(一戸建て)」が49.0%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が19.5%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営住宅	UR都市機構住宅(旧公団住宅)	グループホーム	その他	無回答
全 体	1135	556	221	20	109	67	77	21	43	21
	100.0	49.0	19.5	1.8	9.6	5.9	6.8	1.9	3.8	1.9
身体障害	772	403	151	10	58	50	50	8	26	16
	100.0	52.2	19.6	1.3	7.5	6.5	6.5	1.0	3.4	2.1
知的障害	226	109	37	7	20	17	10	12	10	4
	100.0	48.2	16.4	3.1	8.8	7.5	4.4	5.3	4.4	1.8
精神障害	231	86	46	7	34	14	24	3	14	3
	100.0	37.2	19.9	3.0	14.7	6.1	10.4	1.3	6.1	1.3
難病	224	99	48	2	19	17	20	4	11	4
	100.0	44.2	21.4	0.9	8.5	7.6	8.9	1.8	4.9	1.8
無回答	7	2	1	-	1	1	1	-	1	-
	100.0	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-

## (2) 住まいについて困っていること

問 28 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

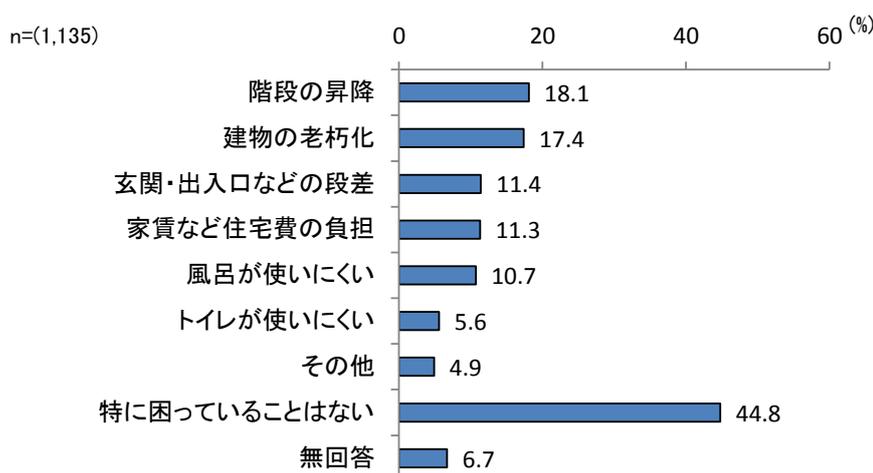
全体では、住まいについて困っていることについては「階段の昇降」が 18.1%で最も多く、次いで「建物の老朽化」が 17.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では「階段の昇降」が多くなっています。精神障害のある方と難病のある方では「建物の老朽化」が、他の障害のある方より多くなっています。

住まいの種類別でみると、民間賃貸住宅（集合住宅）の方では、「家賃など住宅費の負担」が多く、公営住宅、UR都市機構住宅（旧公団住宅）の方では、「階段の昇降」が他の住宅の方より多くなっています。

身体障害の種類別でみると、肢体不自由の方、音声・言語・そしゃく機能障害の方では、「階段の昇降」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困ってい ることはない	その他	無回答
全 体	1135	205	129	121	63	198	128	508	56	76
	100.0	18.1	11.4	10.7	5.6	17.4	11.3	44.8	4.9	6.7
身体障害	772	170	111	98	44	136	81	306	34	56
	100.0	22.0	14.4	12.7	5.7	17.6	10.5	39.6	4.4	7.3
知的障害	226	16	14	14	14	31	17	133	18	14
	100.0	7.1	6.2	6.2	6.2	13.7	7.5	58.8	8.0	6.2
精神障害	231	40	17	21	14	49	42	108	10	11
	100.0	17.3	7.4	9.1	6.1	21.2	18.2	46.8	4.3	4.8
難病	224	54	32	34	15	48	30	80	13	16
	100.0	24.1	14.3	15.2	6.7	21.4	13.4	35.7	5.8	7.1
無回答	7	2	1	1	-	2	1	2	1	-
	100.0	28.6	14.3	14.3	-	28.6	14.3	28.6	14.3	-

## ●住まいの種類別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困ってい ることはない	その他	無回答
持ち家（一戸建て）	556	97	84	51	20	110	13	269	21	33
	100.0	17.4	15.1	9.2	3.6	19.8	2.3	48.4	3.8	5.9
持ち家（集合住宅）	221	32	15	19	9	31	15	122	11	10
	100.0	14.5	6.8	8.6	4.1	14.0	6.8	55.2	5.0	4.5
民間賃貸住宅（一戸建て）	20	3	2	-	2	4	5	7	2	1
	100.0	15.0	10.0	-	10.0	20.0	25.0	35.0	10.0	5.0
民間賃貸住宅（集合住宅）	109	21	13	18	6	13	43	38	8	4
	100.0	19.3	11.9	16.5	5.5	11.9	39.4	34.9	7.3	3.7
公営住宅	67	21	8	17	10	15	15	17	6	1
	100.0	31.3	11.9	25.4	14.9	22.4	22.4	25.4	9.0	1.5
UR都市機構住宅 （旧公団住宅）	77	23	4	10	10	18	24	24	3	4
	100.0	29.9	5.2	13.0	13.0	23.4	31.2	31.2	3.9	5.2
グループホーム	21	2	-	3	2	1	5	8	1	5
	100.0	9.5	-	14.3	9.5	4.8	23.8	38.1	4.8	23.8
その他	43	6	2	2	3	4	8	22	4	1
	100.0	14.0	4.7	4.7	7.0	9.3	18.6	51.2	9.3	2.3
無回答	21	-	1	1	1	2	-	1	-	17
	100.0	-	4.8	4.8	4.8	9.5	-	4.8	-	81.0

## ●身体障害の種類別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困ってい ることはない	その他	無回答
肢体不自由	357	104	58	69	29	60	42	121	20	24
	100.0	29.1	16.2	19.3	8.1	16.8	11.8	33.9	5.6	6.7
音声・言語・そしゃく 機能障害	37	11	5	6	2	4	6	17	4	1
	100.0	29.7	13.5	16.2	5.4	10.8	16.2	45.9	10.8	2.7
視覚障害	61	12	7	6	4	11	6	27	1	9
	100.0	19.7	11.5	9.8	6.6	18.0	9.8	44.3	1.6	14.8
聴覚・平衡機能障害	73	11	4	7	2	16	5	36	4	3
	100.0	15.1	5.5	9.6	2.7	21.9	6.8	49.3	5.5	4.1
内部機能障害 （免疫機能障害を含む）	274	47	38	24	12	47	24	114	11	19
	100.0	17.2	13.9	8.8	4.4	17.2	8.8	41.6	4.0	6.9
無回答	34	7	7	3	1	7	5	12	2	3
	100.0	20.6	20.6	8.8	2.9	20.6	14.7	35.3	5.9	8.8

### (3) 外出の頻度

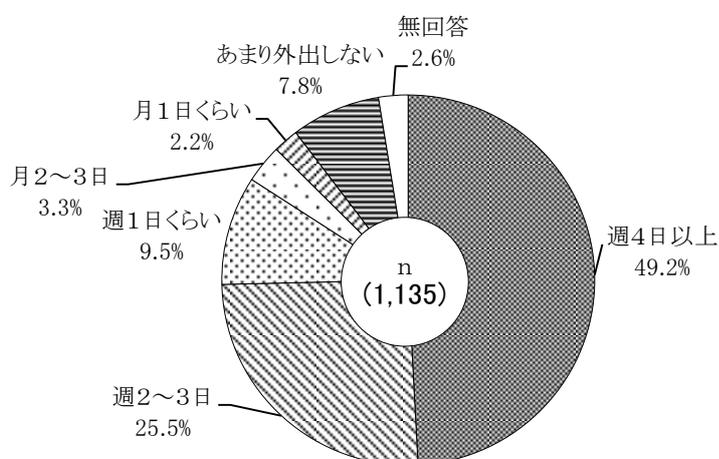
問 29 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

全体では、「週4日以上」が49.2%で最も多く、次いで「週2～3日」が25.5%となっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方では「週4日以上」が、他の障害のある方より多くなっています。

年代別で見ると、加齢とともに、外出頻度は減少する傾向があります。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1135	558	289	108	38	25	88	29
	100.0	49.2	25.5	9.5	3.3	2.2	7.8	2.6
身体障害	772	325	225	83	30	18	68	23
	100.0	42.1	29.1	10.8	3.9	2.3	8.8	3.0
知的障害	226	169	18	20	3	4	7	5
	100.0	74.8	8.0	8.8	1.3	1.8	3.1	2.2
精神障害	231	115	60	21	8	4	20	3
	100.0	49.8	26.0	9.1	3.5	1.7	8.7	1.3
難病	224	100	62	18	10	9	18	7
	100.0	44.6	27.7	8.0	4.5	4.0	8.0	3.1
無回答	7	3	2	-	-	1	1	-
	100.0	42.9	28.6	-	-	14.3	14.3	-

●年齢別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
18～39歳	265	185	39	20	8	3	7	3
	100.0	69.8	14.7	7.5	3.0	1.1	2.6	1.1
40～64歳	343	191	76	32	9	8	20	7
	100.0	55.7	22.2	9.3	2.6	2.3	5.8	2.0
65～74歳	232	103	63	24	4	4	26	8
	100.0	44.4	27.2	10.3	1.7	1.7	11.2	3.4
75歳以上	290	77	109	32	17	10	35	10
	100.0	26.6	37.6	11.0	5.9	3.4	12.1	3.4
無回答	5	2	2	-	-	-	-	1
	100.0	40.0	40.0	-	-	-	-	20.0

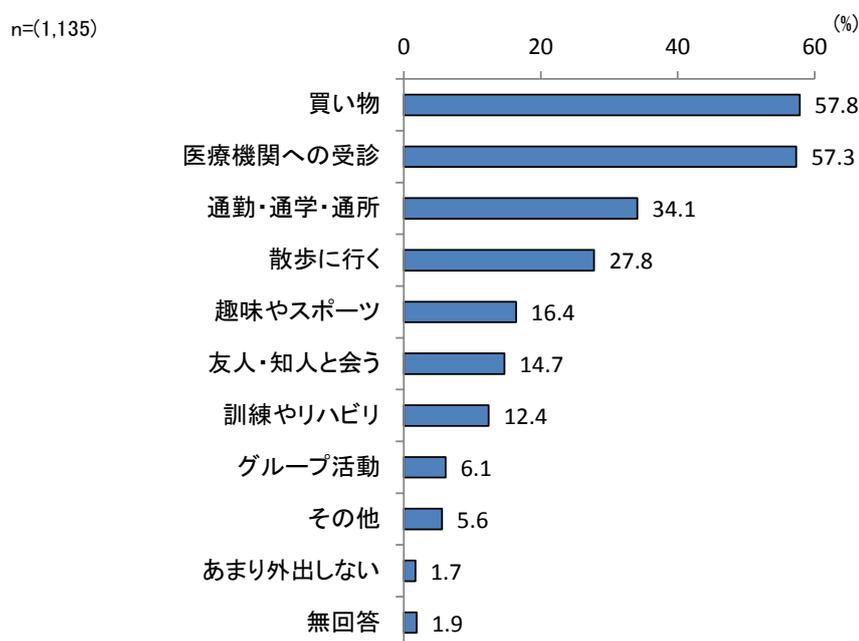
#### (4) 外出の目的

問 30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では「買い物」が 57.8%、「医療機関への受診」が 57.3%と、いずれも6割近くを占めています。

障害種別で見ると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「医療機関への受診」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「通勤・通学・通所」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	1135	387	141	650	656	167	186	69	315	19	63	21
	100.0	34.1	12.4	57.3	57.8	14.7	16.4	6.1	27.8	1.7	5.6	1.9
身体障害	772	168	129	470	444	120	128	47	220	13	42	18
	100.0	21.8	16.7	60.9	57.5	15.5	16.6	6.1	28.5	1.7	5.4	2.3
知的障害	226	175	9	73	122	23	41	18	64	2	14	3
	100.0	77.4	4.0	32.3	54.0	10.2	18.1	8.0	28.3	0.9	6.2	1.3
精神障害	231	92	14	159	143	35	28	8	57	5	13	2
	100.0	39.8	6.1	68.8	61.9	15.2	12.1	3.5	24.7	2.2	5.6	0.9
難病	224	61	42	153	130	27	31	15	50	2	7	3
	100.0	27.2	18.8	68.3	58.0	12.1	13.8	6.7	22.3	0.9	3.1	1.3
無回答	7	1	1	4	3	-	-	-	1	1	1	-
	100.0	14.3	14.3	57.1	42.9	-	-	-	14.3	14.3	14.3	-

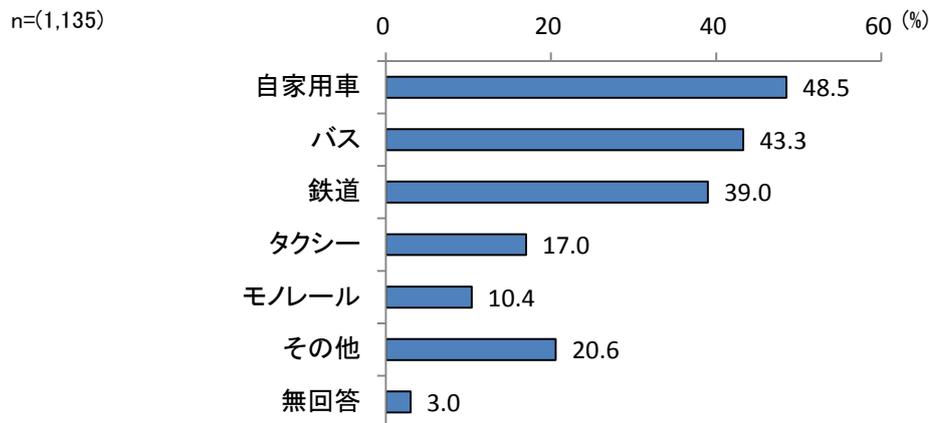
(5) 外出時の移動手段

問 31 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「自家用車」が48.5%で最も多く、以下「バス」が43.3%、「鉄道」が39.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「自家用車」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「鉄道」、「バス」、「モノレール」が、精神障害のある方では、「鉄道」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	1135	443	492	118	193	551	234	34
	100.0	39.0	43.3	10.4	17.0	48.5	20.6	3.0
身体障害	772	259	305	63	172	401	147	29
	100.0	33.5	39.5	8.2	22.3	51.9	19.0	3.8
知的障害	226	105	125	47	13	104	50	4
	100.0	46.5	55.3	20.8	5.8	46.0	22.1	1.8
精神障害	231	109	108	21	26	92	46	3
	100.0	47.2	46.8	9.1	11.3	39.8	19.9	1.3
難病	224	70	97	20	54	117	44	3
	100.0	31.3	43.3	8.9	24.1	52.2	19.6	1.3
無回答	7	1	2	-	1	4	3	-
	100.0	14.3	28.6	-	14.3	57.1	42.9	-

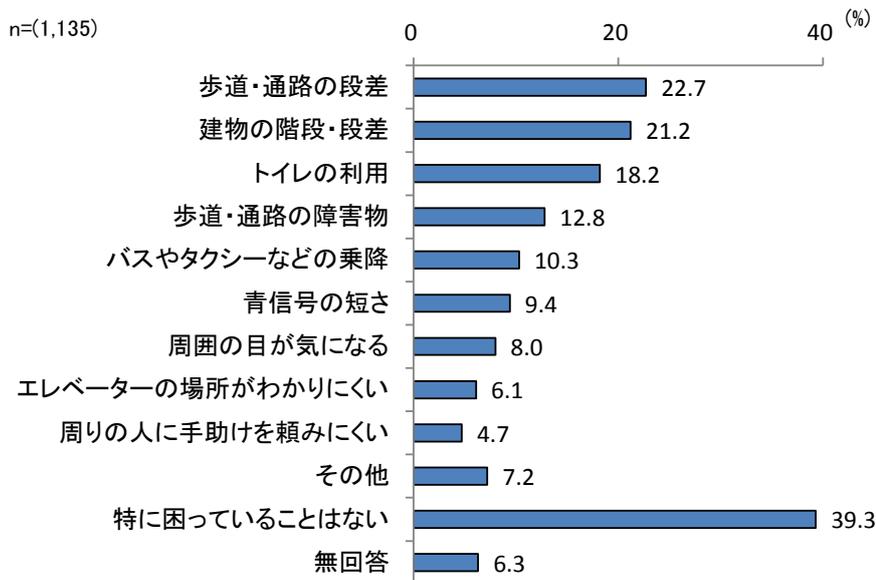
(6) 外出時に困っていること

問 32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、外出時に困っていることについては「歩道・通路の段差」が22.7%、「建物の階段・段差」が21.2%、「トイレの利用」が18.2%と、いずれも2割前後を占めています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「歩道・通路の段差」と「建物の階段・段差」が他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では「周囲の目が気になる」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1135	258	107	145	117	241	69	207	53	91	446	82	71
	100.0	22.7	9.4	12.8	10.3	21.2	6.1	18.2	4.7	8.0	39.3	7.2	6.3
身体障害	772	223	83	123	98	209	53	158	34	33	256	56	51
	100.0	28.9	10.8	15.9	12.7	27.1	6.9	20.5	4.4	4.3	33.2	7.3	6.6
知的障害	226	35	14	22	15	29	11	40	13	28	108	21	16
	100.0	15.5	6.2	9.7	6.6	12.8	4.9	17.7	5.8	12.4	47.8	9.3	7.1
精神障害	231	27	25	22	17	28	15	33	13	52	105	14	13
	100.0	11.7	10.8	9.5	7.4	12.1	6.5	14.3	5.6	22.5	45.5	6.1	5.6
難病	224	70	16	44	36	63	23	43	15	20	70	14	15
	100.0	31.3	7.1	19.6	16.1	28.1	10.3	19.2	6.7	8.9	31.3	6.3	6.7
無回答	7	2	1	1	-	2	1	3	1	-	3	-	1
	100.0	28.6	14.3	14.3	-	28.6	14.3	42.9	14.3	-	42.9	-	14.3

## (7) 外出先のトイレに望むこと

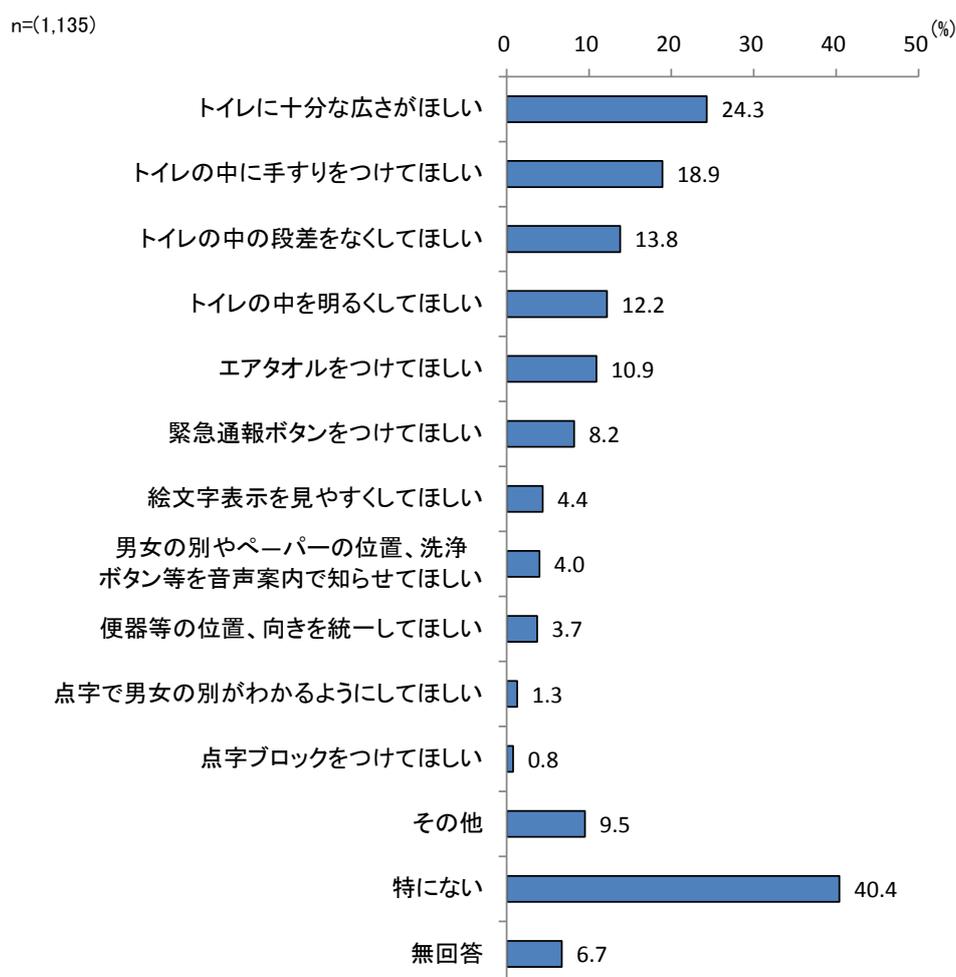
問 33 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、外出先のトイレに望むことについては「トイレに十分な広さがほしい」が 24.3%で最も多く、以下「トイレの中に手すりをつけてほしい」が 18.9%、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が 13.8%、「トイレの中を明るくしてほしい」が 12.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「トイレの中に手すりをつけてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「トイレに十分な広さがほしい」、「トイレの中に手すりをつけてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、他より多くなっています。視覚障害のある方では、「男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」、「トイレの中を明るくしてほしい」、「便器等の位置、向きを統一してほしい」、「点字で男女の別がわかるようにしてほしい」が、他より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい
全体	1135 100.0	15 1.3	45 4.0	50 4.4	138 12.2	157 13.8	9 0.8	42 3.7	214 18.9	124 10.9
身体障害	772 100.0	13 1.7	32 4.1	29 3.8	95 12.3	124 16.1	7 0.9	28 3.6	184 23.8	79 10.2
知的障害	226 100.0	2 0.9	10 4.4	19 8.4	20 8.8	23 10.2	1 0.4	9 4.0	19 8.4	24 10.6
精神障害	231 100.0	2 0.9	6 2.6	6 2.6	35 15.2	24 10.4	1 0.4	12 5.2	28 12.1	37 16.0
難病	224 100.0	3 1.3	11 4.9	13 5.8	32 14.3	34 15.2	3 1.3	14 6.3	47 21.0	22 9.8
無回答	7 100.0	- -	2 28.6	- -	- -	2 28.6	- -	- -	3 42.9	- -

	調査数	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全体	1135 100.0	276 24.3	93 8.2	458 40.4	108 9.5	76 6.7
身体障害	772 100.0	205 26.6	66 8.5	277 35.9	64 8.3	59 7.6
知的障害	226 100.0	45 19.9	12 5.3	109 48.2	29 12.8	17 7.5
精神障害	231 100.0	54 23.4	24 10.4	102 44.2	26 11.3	11 4.8
難病	224 100.0	61 27.2	26 11.6	86 38.4	28 12.5	11 4.9
無回答	7 100.0	3 42.9	- -	3 42.9	1 14.3	- -

## ●身体障害の種類別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい
肢体不自由	357 100.0	3 0.8	16 4.5	15 4.2	40 11.2	79 22.1	- -	13 3.6	122 34.2	45 12.6
音声・言語・そしゃく機能障害	37 100.0	1 2.7	2 5.4	1 2.7	4 10.8	6 16.2	- -	3 8.1	8 21.6	5 13.5
視覚障害	61 100.0	8 13.1	15 24.6	3 4.9	11 18.0	14 23.0	7 11.5	10 16.4	12 19.7	3 4.9
聴覚・平衡機能障害	73 100.0	1 1.4	1 1.4	3 4.1	7 9.6	7 9.6	- -	1 1.4	11 15.1	5 6.8
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	274 100.0	3 1.1	1 0.4	7 2.6	35 12.8	24 8.8	- -	7 2.6	46 16.8	29 10.6
無回答	34 100.0	- -	1 2.9	2 5.9	6 17.6	6 17.6	- -	- -	7 20.6	1 2.9

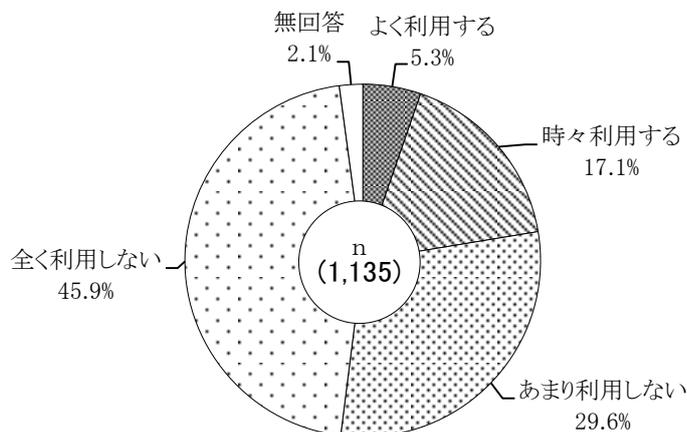
	調査数	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
肢体不自由	357 100.0	115 32.2	34 9.5	89 24.9	42 11.8	31 8.7
音声・言語・そしゃく機能障害	37 100.0	10 27.0	3 8.1	16 43.2	4 10.8	3 8.1
視覚障害	61 100.0	11 18.0	5 8.2	19 31.1	3 4.9	4 6.6
聴覚・平衡機能障害	73 100.0	11 15.1	3 4.1	43 58.9	2 2.7	3 4.1
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	274 100.0	65 23.7	24 8.8	122 44.5	20 7.3	18 6.6
無回答	34 100.0	12 35.3	3 8.8	10 29.4	1 2.9	5 14.7

(8) 公園の利用状況

問 34 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(〇は1つ)

全体では、「よく利用する」が5.3%、「時々利用する」が17.1%となっています。

●全体



●障害種別

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	1135	60	194	336	521	24
	100.0	5.3	17.1	29.6	45.9	2.1
身体障害	772	40	137	221	355	19
	100.0	5.2	17.7	28.6	46.0	2.5
知的障害	226	12	34	84	93	3
	100.0	5.3	15.0	37.2	41.2	1.3
精神障害	231	13	39	60	117	2
	100.0	5.6	16.9	26.0	50.6	0.9
難病	224	6	44	66	102	6
	100.0	2.7	19.6	29.5	45.5	2.7
無回答	7	-	1	2	4	-
	100.0	-	14.3	28.6	57.1	-

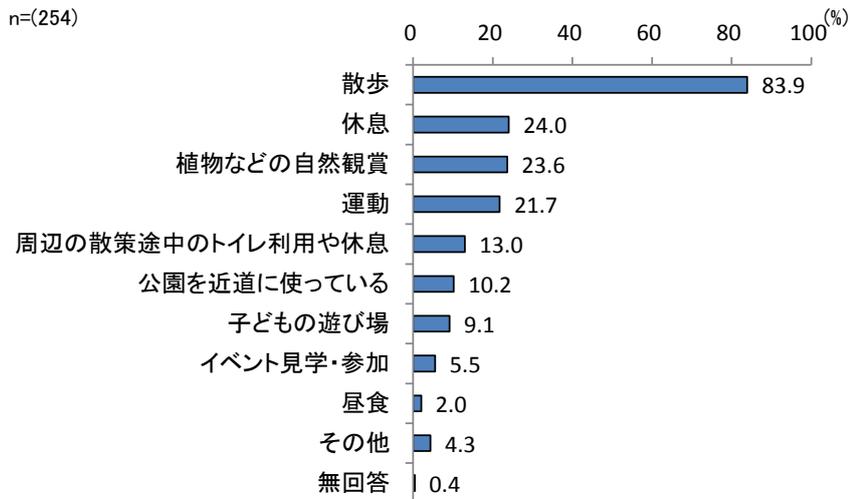
(9) 公園の利用目的

問 35 【問 34 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

全体では、「散歩」が83.9%で最も多く、以下「休息」、「植物などの自然観賞」、「運動」がいずれも2割台で続いています。

障害の種別でみると、知的障害のある方では「運動」が、精神障害のある方では「休息」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

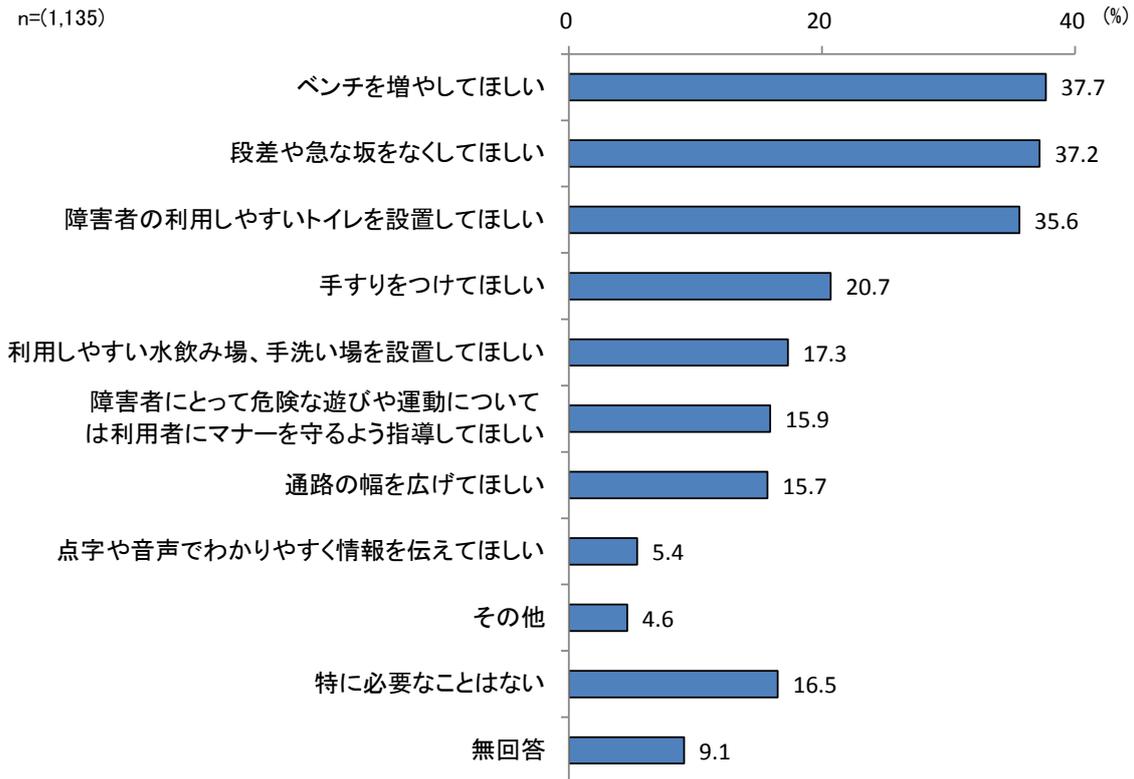
	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	子どもの遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全体	254	213	55	61	60	5	26	33	23	14	11	1
	100.0	83.9	21.7	24.0	23.6	2.0	10.2	13.0	9.1	5.5	4.3	0.4
身体障害	177	156	31	45	46	1	19	21	11	10	8	1
	100.0	88.1	17.5	25.4	26.0	0.6	10.7	11.9	6.2	5.6	4.5	0.6
知的障害	46	38	15	4	6	-	1	7	1	2	2	-
	100.0	82.6	32.6	8.7	13.0	-	2.2	15.2	2.2	4.3	4.3	-
精神障害	52	37	14	16	12	4	7	8	11	3	3	-
	100.0	71.2	26.9	30.8	23.1	7.7	13.5	15.4	21.2	5.8	5.8	-
難病	50	44	11	13	12	-	6	5	5	2	1	-
	100.0	88.0	22.0	26.0	24.0	-	12.0	10.0	10.0	4.0	2.0	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

(10) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 36 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「ベンチを増やしてほしい」が37.7%、「段差や急な坂をなくしてほしい」が37.2%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が35.6%と、いずれも3割を超えています。

●全体



●障害種別

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	1135	178	235	422	61	404	181	428	196	187	52	103
	100.0	15.7	20.7	37.2	5.4	35.6	15.9	37.7	17.3	16.5	4.6	9.1
身体障害	772	111	178	303	37	276	101	306	117	114	31	74
	100.0	14.4	23.1	39.2	4.8	35.8	13.1	39.6	15.2	14.8	4.0	9.6
知的障害	226	38	26	65	15	86	51	58	46	51	14	24
	100.0	16.8	11.5	28.8	6.6	38.1	22.6	25.7	20.4	22.6	6.2	10.6
精神障害	231	48	44	89	13	84	40	91	49	38	11	22
	100.0	20.8	19.0	38.5	5.6	36.4	17.3	39.4	21.2	16.5	4.8	9.5
難病	224	31	50	93	17	74	39	101	32	25	11	20
	100.0	13.8	22.3	41.5	7.6	33.0	17.4	45.1	14.3	11.2	4.9	8.9
無回答	7	2	3	2	-	2	1	2	2	2	-	-
	100.0	28.6	42.9	28.6	-	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-

## 6. 災害対策について

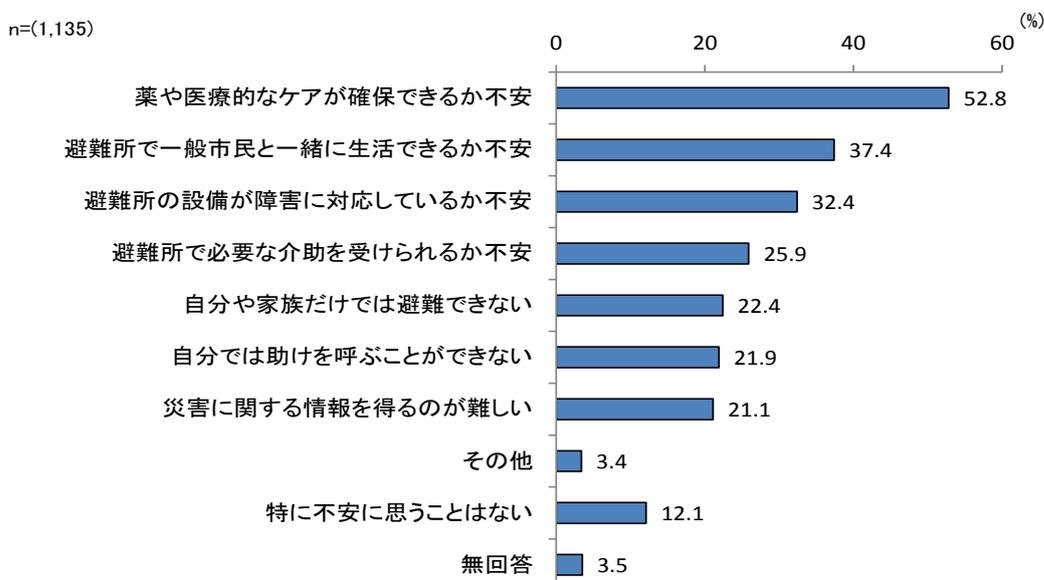
### (1) 災害時に不安に思うこと

問 37 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 52.8%で最も多く、以下、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 37.4%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 32.4%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が 25.9%となっています。一方、「特に不安に思うことはない」は 12.1%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方、難病の方では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、「自分では助けを呼ぶことができない」、「災害に関する情報を得るのが難しい」が、多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

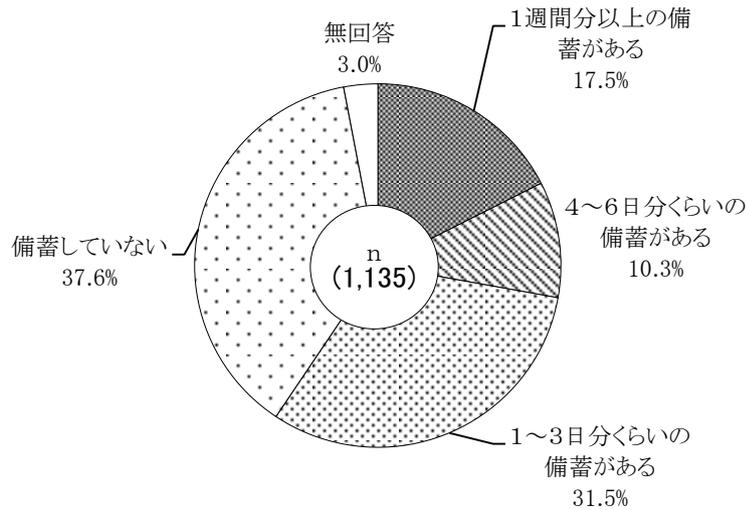
	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	1135	254	249	240	368	294	425	599	137	39	40
	100.0	22.4	21.9	21.1	32.4	25.9	37.4	52.8	12.1	3.4	3.5
身体障害	772	196	147	143	284	210	248	410	88	24	33
	100.0	25.4	19.0	18.5	36.8	27.2	32.1	53.1	11.4	3.1	4.3
知的障害	226	51	102	79	69	67	122	84	29	12	5
	100.0	22.6	45.1	35.0	30.5	29.6	54.0	37.2	12.8	5.3	2.2
精神障害	231	37	29	36	50	47	104	165	25	8	5
	100.0	16.0	12.6	15.6	21.6	20.3	45.0	71.4	10.8	3.5	2.2
難病	224	59	52	45	87	70	89	140	22	3	3
	100.0	26.3	23.2	20.1	38.8	31.3	39.7	62.5	9.8	1.3	1.3
無回答	7	1	1	2	3	5	2	5	2	-	-
	100.0	14.3	14.3	28.6	42.9	71.4	28.6	71.4	28.6	-	-

## (2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 38 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

全体では、「1～3日分くらいの備蓄がある」が31.5%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が17.5%となっています。一方、「備蓄していない」は37.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	1135	199	117	358	427	34
	100.0	17.5	10.3	31.5	37.6	3.0
身体障害	772	144	89	251	263	25
	100.0	18.7	11.5	32.5	34.1	3.2
知的障害	226	31	19	69	101	6
	100.0	13.7	8.4	30.5	44.7	2.7
精神障害	231	41	23	61	100	6
	100.0	17.7	10.0	26.4	43.3	2.6
難病	224	44	27	70	78	5
	100.0	19.6	12.1	31.3	34.8	2.2
無回答	7	2	1	1	3	-
	100.0	28.6	14.3	14.3	42.9	-

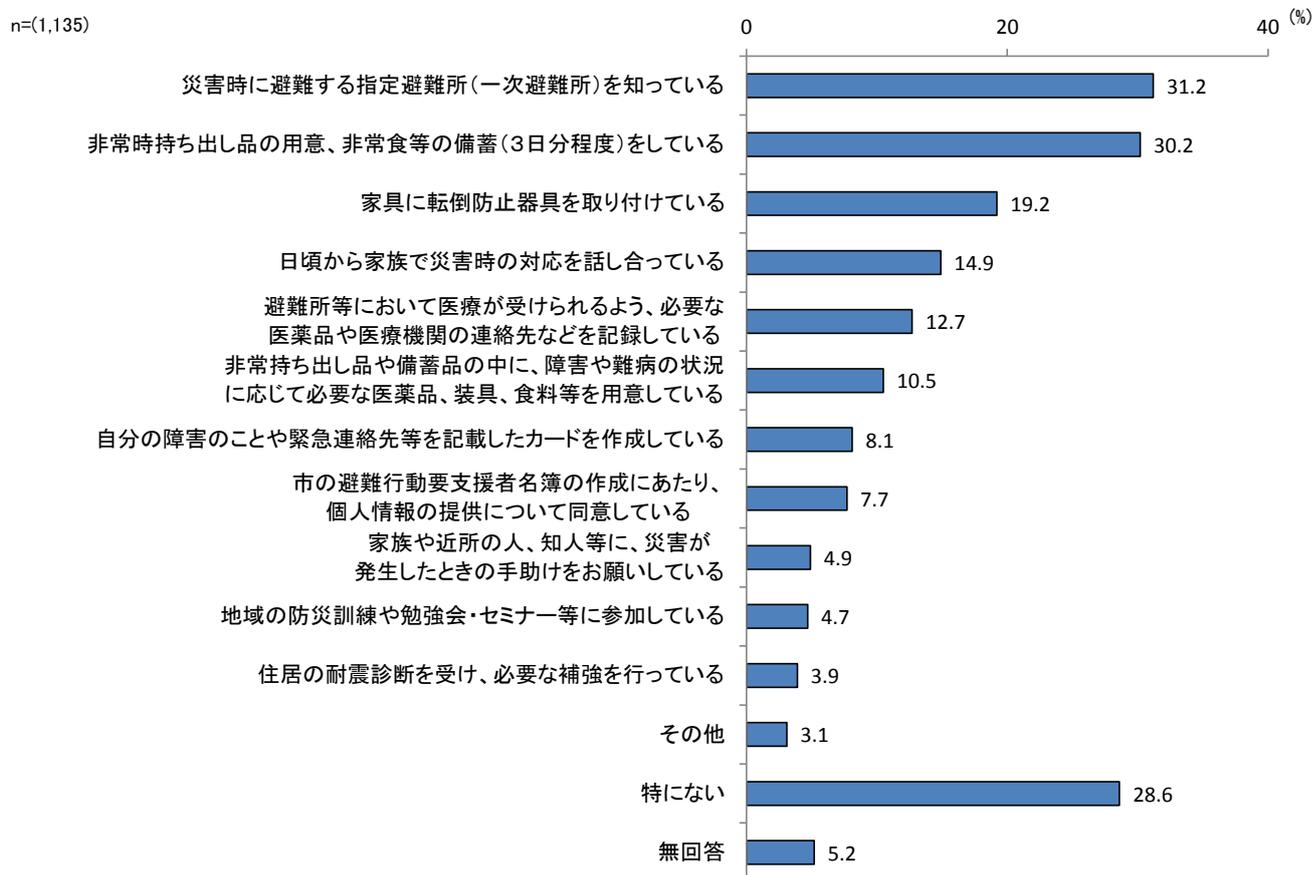
### (3) 災害に対する備え

問 39 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」が 31.2%、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が 30.2%と、いずれも 3 割を超えています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」と「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」と「市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報の提供について同意している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
全 体	1135 100.0	169 14.9	343 30.2	119 10.5	144 12.7	56 4.9	92 8.1	87 7.7	218 19.2	44 3.9
身体障害	772 100.0	107 13.9	248 32.1	90 11.7	114 14.8	50 6.5	74 9.6	52 6.7	149 19.3	32 4.1
知的障害	226 100.0	46 20.4	57 25.2	21 9.3	22 9.7	10 4.4	16 7.1	36 15.9	44 19.5	8 3.5
精神障害	231 100.0	32 13.9	56 24.2	18 7.8	23 10.0	3 1.3	5 2.2	9 3.9	40 17.3	7 3.0
難病	224 100.0	37 16.5	60 26.8	31 13.8	39 17.4	13 5.8	26 11.6	17 7.6	53 23.7	12 5.4
無回答	7 100.0	- -	2 28.6	- -	1 14.3	- -	2 28.6	- -	- -	- -

	調査数	災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	354 31.2	53 4.7	325 28.6	35 3.1	59 5.2
身体障害	772 100.0	263 34.1	47 6.1	192 24.9	22 2.8	48 6.2
知的障害	226 100.0	59 26.1	6 2.7	76 33.6	8 3.5	10 4.4
精神障害	231 100.0	54 23.4	2 0.9	92 39.8	7 3.0	5 2.2
難病	224 100.0	75 33.5	11 4.9	55 24.6	7 3.1	7 3.1
無回答	7 100.0	1 14.3	- -	2 28.6	- -	- -

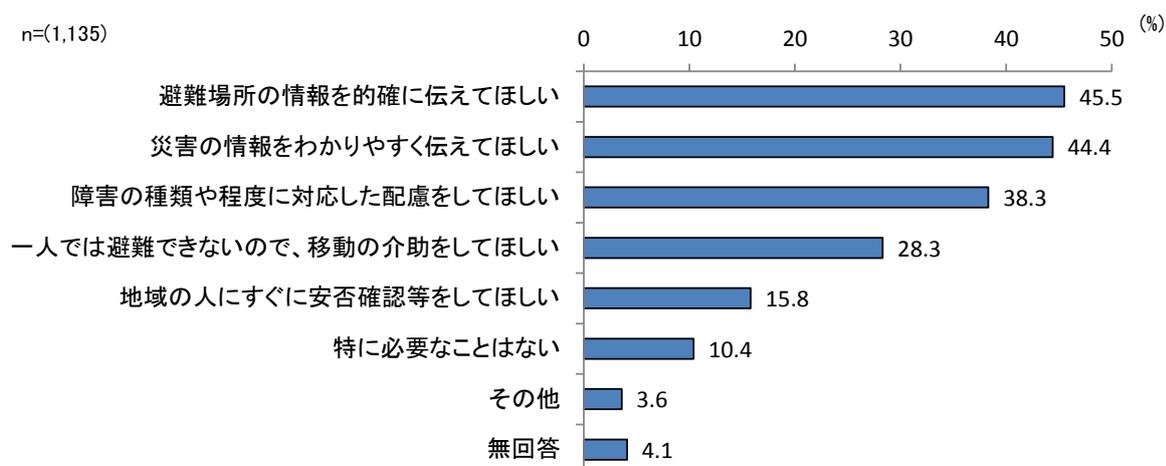
#### (4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 40 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 45.5%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が 44.4%と、いずれも4割台半ばを占めています。

障害種別でみると、知的障害のある方、難病のある方では「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1135	321	504	435	179	516	118	41	46
	100.0	28.3	44.4	38.3	15.8	45.5	10.4	3.6	4.1
身体障害	772	249	340	292	117	331	71	24	35
	100.0	32.3	44.0	37.8	15.2	42.9	9.2	3.1	4.5
知的障害	226	76	96	113	46	112	18	10	8
	100.0	33.6	42.5	50.0	20.4	49.6	8.0	4.4	3.5
精神障害	231	37	93	73	29	109	39	14	6
	100.0	16.0	40.3	31.6	12.6	47.2	16.9	6.1	2.6
難病	224	80	101	103	27	99	12	11	9
	100.0	35.7	45.1	46.0	12.1	44.2	5.4	4.9	4.0
無回答	7	4	4	1	2	3	1	-	-
	100.0	57.1	57.1	14.3	28.6	42.9	14.3	-	-

## 7. 日中活動・就労について

### (1) 日中の過ごし方

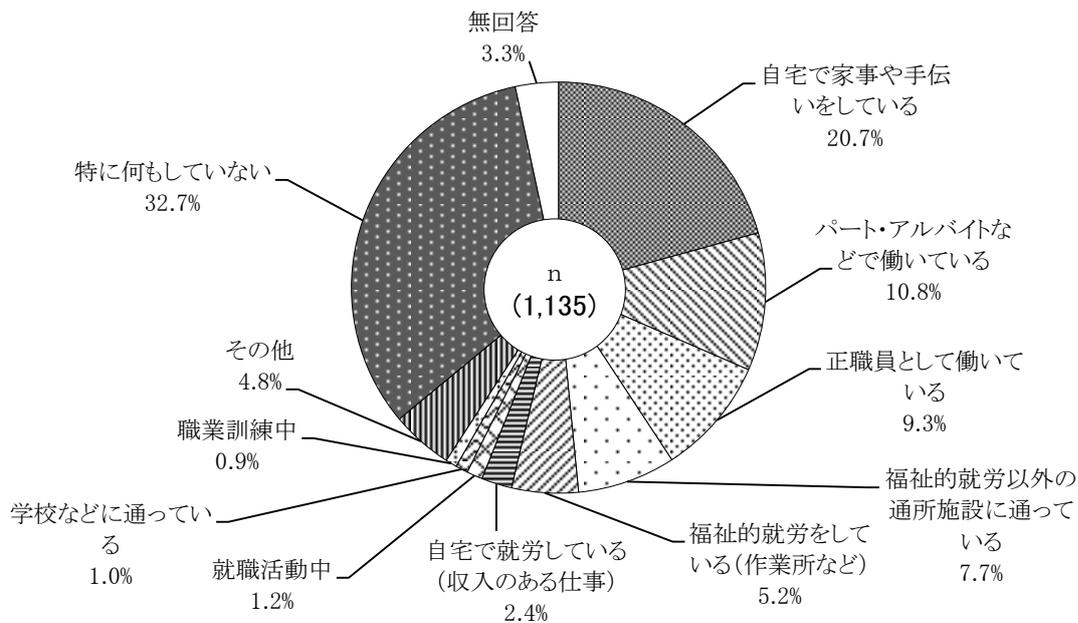
問 41 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

全体では、平日の日中の過ごし方については「自宅で家事や手伝いをしている」が20.7%、「パート・アルバイトなどで働いている」が10.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方は「福祉的就労をしている(作業所など)」や「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が多くなっています。

年齢別でみると、65歳以上は外で働くことよりも「自宅で家事や手伝いをしている」や「特に何もしていない」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている(作業所など)	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中
全体	1135 100.0	105 9.3	123 10.8	59 5.2	27 2.4	87 7.7	235 20.7	11 1.0	10 0.9	14 1.2
身体障害	772 100.0	62 8.0	56 7.3	9 1.2	24 3.1	40 5.2	186 24.1	7 0.9	3 0.4	4 0.5
知的障害	226 100.0	24 10.6	37 16.4	57 25.2	-	53 23.5	10 4.4	1 0.4	6 2.7	-
精神障害	231 100.0	24 10.4	37 16.0	4 1.7	3 1.3	17 7.4	50 21.6	3 1.3	4 1.7	8 3.5
難病	224 100.0	15 6.7	24 10.7	10 4.5	6 2.7	18 8.0	44 19.6	1 0.4	3 1.3	1 0.4
無回答	7 100.0	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3	-	-	2 28.6

	調査数	特に何もしていない	その他	無回答
全体	1135 100.0	371 32.7	55 4.8	38 3.3
身体障害	772 100.0	313 40.5	38 4.9	30 3.9
知的障害	226 100.0	23 10.2	7 3.1	8 3.5
精神障害	231 100.0	62 26.8	14 6.1	5 2.2
難病	224 100.0	87 38.8	8 3.6	7 3.1
無回答	7 100.0	3 42.9	-	-

## ●年齢別

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている(作業所など)	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中
18～39歳	265 100.0	33 12.5	56 21.1	39 14.7	2 0.8	42 15.8	25 9.4	9 3.4	6 2.3	6 2.3
40～64歳	343 100.0	63 18.4	45 13.1	19 5.5	9 2.6	23 6.7	69 20.1	1 0.3	4 1.2	7 2.0
65～74歳	232 100.0	8 3.4	18 7.8	-	9 3.9	9 3.9	64 27.6	1 0.4	-	-
75歳以上	290 100.0	1 0.3	4 1.4	-	7 2.4	13 4.5	77 26.6	-	-	-
無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	1 20.0

	調査数	特に何もしていない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	28 10.6	14 5.3	5 1.9
40～64歳	343 100.0	77 22.4	17 5.0	9 2.6
65～74歳	232 100.0	107 46.1	7 3.0	9 3.9
75歳以上	290 100.0	156 53.8	17 5.9	15 5.2
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-

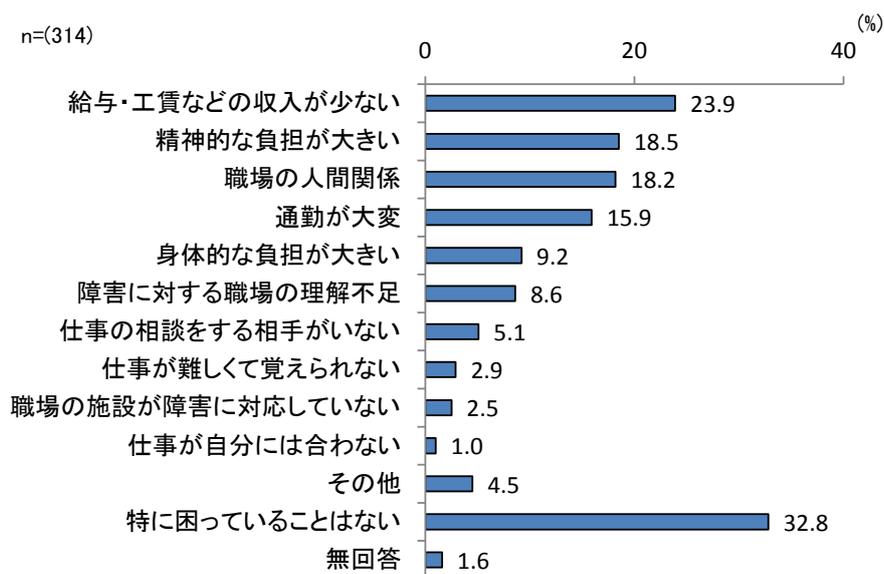
## (2) 仕事上で困っていること

問 42 【問 41 で働いている（1～4番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は3つまで）

全体では、仕事上で困っていることについては「給与・工賃などがの収入が少ない」が23.9%、「精神的な負担が大きい」が18.5%、「職場の人間関係」が18.2%となっています。

障害種別でみると、「給与・工賃などの収入が少ない」は知的障害のある方で多く、「精神的な負担が大きい」や「職場の人間関係」は精神障害のある方で多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	通勤が大変	職場の施設が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がない	仕事に自分には合わない	給与・工賃などの収入が少ない
全 体	314 100.0	29 9.2	58 18.5	50 15.9	8 2.5	27 8.6	57 18.2	16 5.1	3 1.0	75 23.9
身体障害	151 100.0	17 11.3	22 14.6	24 15.9	4 2.6	17 11.3	18 11.9	5 3.3	1 0.7	31 20.5
知的障害	118 100.0	6 5.1	10 8.5	19 16.1	1 0.8	8 6.8	22 18.6	6 5.1	-	39 33.1
精神障害	68 100.0	6 8.8	28 41.2	13 19.1	3 4.4	5 7.4	20 29.4	6 8.8	2 2.9	16 23.5
難病	55 100.0	8 14.5	12 21.8	9 16.4	2 3.6	9 16.4	8 14.5	-	-	13 23.6
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	調査数	仕事が難しく覚えられない	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	314 100.0	9 2.9	103 32.8	14 4.5	5 1.6
身体障害	151 100.0	2 1.3	54 35.8	5 3.3	4 2.6
知的障害	118 100.0	6 5.1	41 34.7	5 4.2	1 0.8
精神障害	68 100.0	3 4.4	14 20.6	6 8.8	- -
難病	55 100.0	3 5.5	11 20.0	4 7.3	2 3.6
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

### (3) 働いていない理由

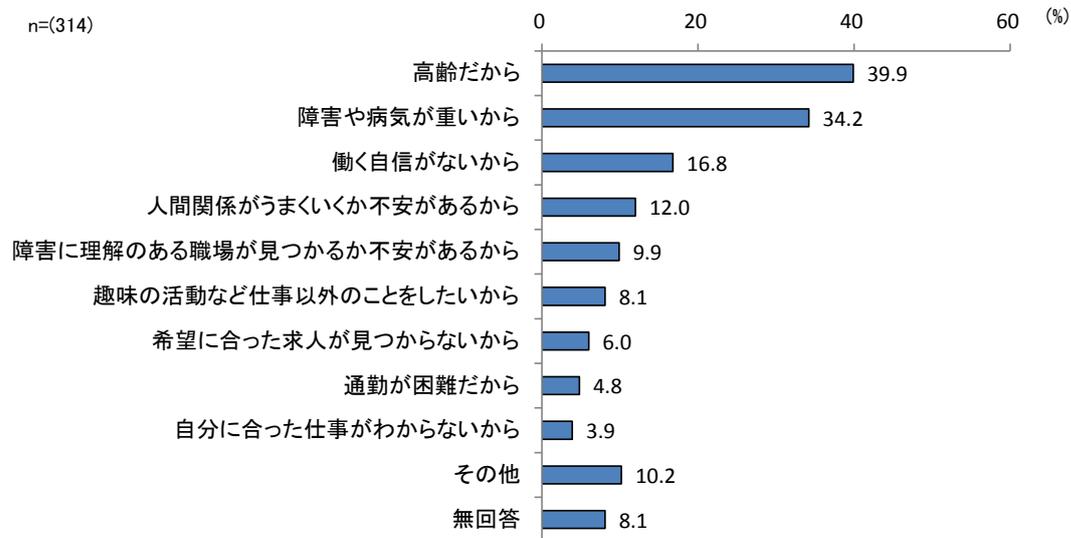
問 43 【問 41 で働いていない（5～7番）に○をつけた方におたずねします。】

あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

全体では、「高齢だから」が39.9%で最も多く、次いで「障害や病気が重いから」が34.2%となっています。

障害種別でみると、「高齢だから」は身体障害のある方で5割を超えています。また、「障害や病気が重いから」は知的障害のある方で6割を超え、難病の方で5割を超えています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	働く自信がないから	通勤が困難だから	障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから	人間関係がうまくいか不安があるから	趣味の活動など仕事以外のことをしたいから	その他	無回答
全 体	333	114	133	13	20	56	16	33	40	27	34	27
	100.0	34.2	39.9	3.9	6.0	16.8	4.8	9.9	12.0	8.1	10.2	8.1
身体障害	233	65	127	6	10	27	12	13	6	21	22	23
	100.0	27.9	54.5	2.6	4.3	11.6	5.2	5.6	2.6	9.0	9.4	9.9
知的障害	64	41	3	2	4	8	3	12	12	3	6	5
	100.0	64.1	4.7	3.1	6.3	12.5	4.7	18.8	18.8	4.7	9.4	7.8
精神障害	70	25	7	6	8	30	4	16	28	3	8	3
	100.0	35.7	10.0	8.6	11.4	42.9	5.7	22.9	40.0	4.3	11.4	4.3
難病	63	33	25	1	2	6	4	5	2	4	7	4
	100.0	52.4	39.7	1.6	3.2	9.5	6.3	7.9	3.2	6.3	11.1	6.3
無回答	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

#### (4) 一般就労のために必要な支援

問 44 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

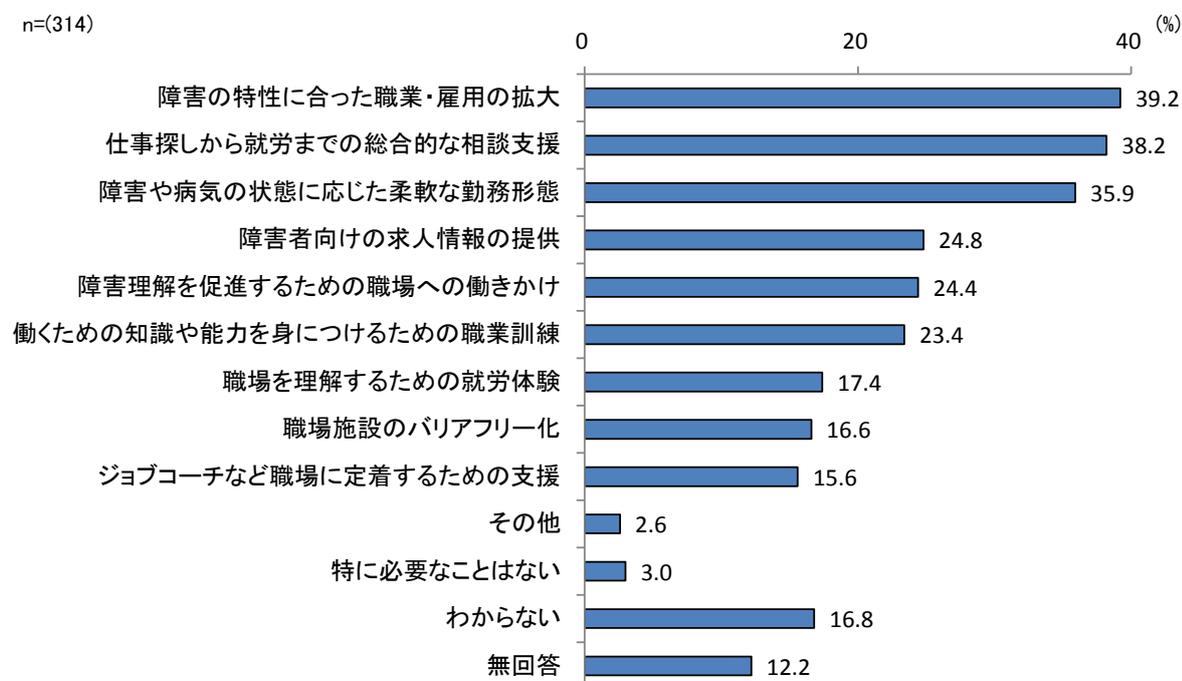
全体では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が 39.2%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 38.2%、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が 35.9%と、いずれも3割を超えて多くなっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」と「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が多くなっています。一方、精神障害のある方では、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が多くなっています。

年齢別で見ると、18～39歳では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」と「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が他の年代に比べて多くなっています。

#### ●全体

n=(314)



## ●障害種別

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援
全体	1135 100.0	434 38.2	266 23.4	198 17.4	445 39.2	281 24.8	277 24.4	188 16.6	408 35.9	177 15.6
身体障害	772 100.0	246 31.9	139 18.0	88 11.4	273 35.4	161 20.9	146 18.9	136 17.6	256 33.2	63 8.2
知的障害	226 100.0	117 51.8	69 30.5	71 31.4	110 48.7	66 29.2	84 37.2	27 11.9	72 31.9	84 37.2
精神障害	231 100.0	109 47.2	77 33.3	55 23.8	94 40.7	71 30.7	70 30.3	34 14.7	113 48.9	52 22.5
難病	224 100.0	69 30.8	45 20.1	28 12.5	71 31.7	44 19.6	50 22.3	31 13.8	71 31.7	21 9.4
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -

	調査数	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全体	1135 100.0	34 3.0	191 16.8	30 2.6	138 12.2
身体障害	772 100.0	25 3.2	148 19.2	18 2.3	122 15.8
知的障害	226 100.0	9 4.0	29 12.8	9 4.0	18 8.0
精神障害	231 100.0	4 1.7	30 13.0	9 3.9	12 5.2
難病	224 100.0	6 2.7	44 19.6	7 3.1	36 16.1
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	- -	1 14.3

## ●年齢別

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援
18～39歳	265 100.0	148 55.8	91 34.3	88 33.2	135 50.9	100 37.7	110 41.5	47 17.7	124 46.8	98 37.0
40～64歳	343 100.0	150 43.7	83 24.2	59 17.2	139 40.5	92 26.8	95 27.7	58 16.9	148 43.1	47 13.7
65～74歳	232 100.0	59 25.4	37 15.9	23 9.9	82 35.3	45 19.4	37 15.9	41 17.7	70 30.2	15 6.5
75歳以上	290 100.0	75 25.9	54 18.6	27 9.3	87 30.0	44 15.2	34 11.7	42 14.5	65 22.4	16 5.5
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0

	調査数	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	2 0.8	25 9.4	10 3.8	10 3.8
40～64歳	343 100.0	10 2.9	53 15.5	10 2.9	18 5.2
65～74歳	232 100.0	13 5.6	41 17.7	5 2.2	38 16.4
75歳以上	290 100.0	9 3.1	72 24.8	5 1.7	70 24.1
無回答	5 100.0	- -	- -	- -	2 40.0

## (5) 今後取り組みたい活動

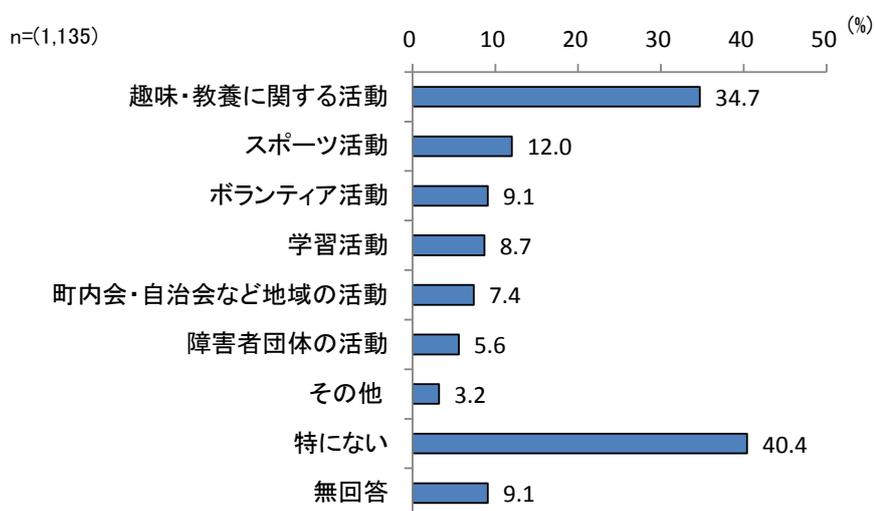
問 45 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

全体では、今後取り組みたい活動については「趣味・教養に関する活動」が 34.7%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が 12.0% となっています。

障害種別で見ると、精神障害のある方では、「趣味・教養に関する活動」と「スポーツ活動」が多くなっています。また、知的障害のある方でも、「スポーツ活動」が多くなっています。

年齢別で見ると、18～39 歳、40～64 歳では「趣味・教養に関する活動」が、他の年代より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
全体	1135	394	99	136	103	63	84	458	36	103
	100.0	34.7	8.7	12.0	9.1	5.6	7.4	40.4	3.2	9.1
身体障害	772	244	54	60	70	33	66	332	22	87
	100.0	31.6	7.0	7.8	9.1	4.3	8.5	43.0	2.8	11.3
知的障害	226	80	16	48	15	26	12	83	10	20
	100.0	35.4	7.1	21.2	6.6	11.5	5.3	36.7	4.4	8.8
精神障害	231	100	36	42	20	14	11	76	8	13
	100.0	43.3	15.6	18.2	8.7	6.1	4.8	32.9	3.5	5.6
難病	224	71	5	23	19	12	11	90	7	28
	100.0	31.7	2.2	10.3	8.5	5.4	4.9	40.2	3.1	12.5
無回答	7	-	1	-	-	-	-	6	-	-
	100.0	-	14.3	-	-	-	-	85.7	-	-

## ●年齢別

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
18～39歳	265	125	39	63	27	28	13	74	10	16
	100.0	47.2	14.7	23.8	10.2	10.6	4.9	27.9	3.8	6.0
40～64歳	343	145	39	44	29	20	20	120	15	20
	100.0	42.3	11.4	12.8	8.5	5.8	5.8	35.0	4.4	5.8
65～74歳	232	63	10	14	23	9	18	116	2	22
	100.0	27.2	4.3	6.0	9.9	3.9	7.8	50.0	0.9	9.5
75歳以上	290	61	10	14	23	6	33	147	8	45
	100.0	21.0	3.4	4.8	7.9	2.1	11.4	50.7	2.8	15.5
無回答	5	-	1	1	1	-	-	1	1	-
	100.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-

## 8. 運動やスポーツについて

### (1) 運動やスポーツの実施状況

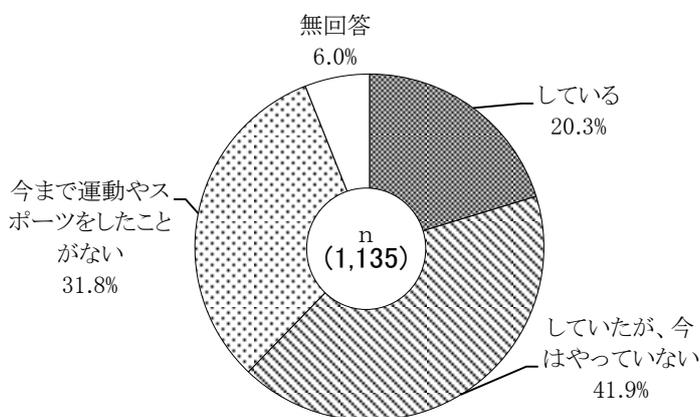
問 46 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

全体では、「している」が20.3%、「していたが、今はやっていない」が41.9%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は31.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「している」が他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「している」が他の年代より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全体	1135	230	476	361	68
	100.0	20.3	41.9	31.8	6.0
身体障害	772	134	336	243	59
	100.0	17.4	43.5	31.5	7.6
知的障害	226	62	63	92	9
	100.0	27.4	27.9	40.7	4.0
精神障害	231	47	111	65	8
	100.0	20.3	48.1	28.1	3.5
難病	224	36	98	77	13
	100.0	16.1	43.8	34.4	5.8
無回答	7	1	2	4	-
	100.0	14.3	28.6	57.1	-

## ●年齢別

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
18～39歳	265	68	113	77	7
	100.0	25.7	42.6	29.1	2.6
40～64歳	343	68	147	115	13
	100.0	19.8	42.9	33.5	3.8
65～74歳	232	45	98	74	15
	100.0	19.4	42.2	31.9	6.5
75歳以上	290	48	116	95	31
	100.0	16.6	40.0	32.8	10.7
無回答	5	1	2	-	2
	100.0	20.0	40.0	-	40.0

## (2) 運動やスポーツの実施頻度

問 47 【問 46 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

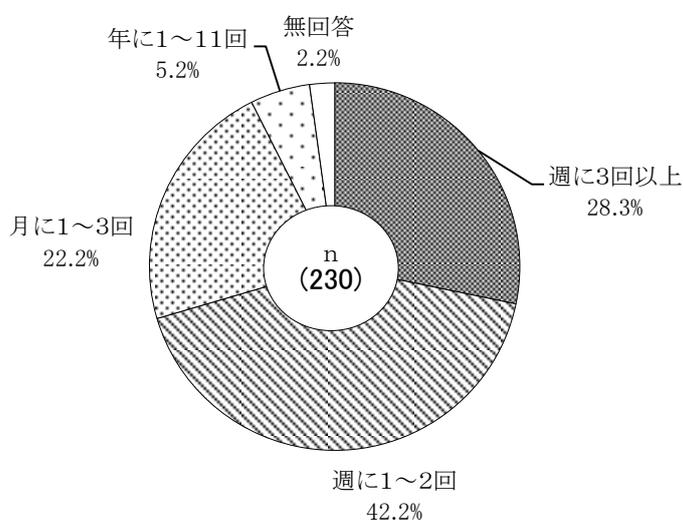
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

全体では「週に1～2回」が42.2%で最も多く、次いで「週に3回以上」が28.3%となっています。

障害種別で見ると、身体障害のある方、精神障害のある方では、「週に3回以上」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、難病のある方では「週に1～2回」が多くなっています。

年齢別で見ると、40～64歳、65～74歳では「週に1～2回」が多く、75歳以上では「週に3回以上」が多くなっています。

## ●全体



●障害種別

	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~3回	年に1~11回	無回答
全 体	230	65	97	51	12	5
	100.0	28.3	42.2	22.2	5.2	2.2
身体障害	134	45	54	26	4	5
	100.0	33.6	40.3	19.4	3.0	3.7
知的障害	62	9	30	20	3	-
	100.0	14.5	48.4	32.3	4.8	-
精神障害	47	17	17	8	5	-
	100.0	36.2	36.2	17.0	10.6	-
難病	36	8	17	9	1	1
	100.0	22.2	47.2	25.0	2.8	2.8
無回答	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-

●年齢別

	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~3回	年に1~11回	無回答
18~39歳	68	16	25	21	6	-
	100.0	23.5	36.8	30.9	8.8	-
40~64歳	68	15	37	12	3	1
	100.0	22.1	54.4	17.6	4.4	1.5
65~74歳	45	14	21	6	2	2
	100.0	31.1	46.7	13.3	4.4	4.4
75歳以上	48	20	13	12	1	2
	100.0	41.7	27.1	25.0	2.1	4.2
無回答	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-

(3) 実施している（していた）運動やスポーツの種目

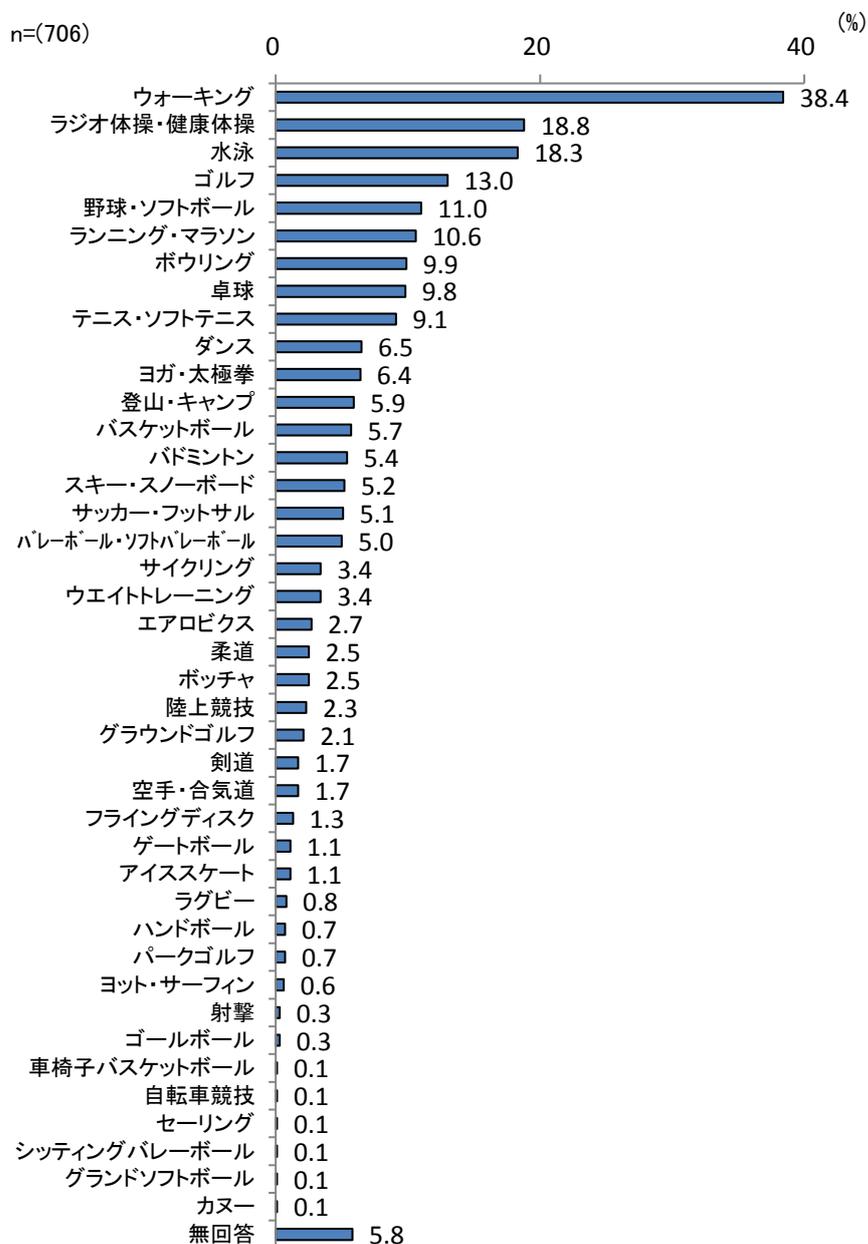
問 48 【問 46 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「ウォーキング」が 38.4%で最も多く、以下「ラジオ体操・健康体操」が 18.8%、「水泳」が 18.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「ラジオ体操・健康体操」が、精神障害のある方では、「水泳」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル
全体	706 100.0	271 38.4	75 10.6	133 18.8	45 6.4	24 3.4	46 6.5	19 2.7	129 18.3	92 13.0	78 11.0	36 5.1
身体障害	470 100.0	182 38.7	22 4.7	89 18.9	29 6.2	7 1.5	30 6.4	9 1.9	72 15.3	85 18.1	58 12.3	11 2.3
知的障害	125 100.0	47 37.6	34 27.2	31 24.8	1 0.8	2 1.6	7 5.6	4 3.2	27 21.6	1 0.8	8 6.4	12 9.6
精神障害	158 100.0	57 36.1	25 15.8	19 12.0	17 10.8	15 9.5	9 5.7	8 5.1	39 24.7	9 5.7	13 8.2	14 8.9
難病	134 100.0	54 40.3	6 4.5	24 17.9	8 6.0	3 2.2	6 4.5	3 2.2	17 12.7	16 11.9	15 11.2	4 3.0
無回答	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-

	調査数	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	ハレーホールの・ソフトバレーボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道
全体	706 100.0	6 0.8	40 5.7	16 2.3	35 5.0	5 0.7	64 9.1	38 5.4	69 9.8	8 1.1	37 5.2	18 2.5
身体障害	470 100.0	3 0.6	16 3.4	12 2.6	26 5.5	4 0.9	48 10.2	18 3.8	53 11.3	5 1.1	21 4.5	14 3.0
知的障害	125 100.0	-	16 12.8	4 3.2	1 0.8	-	2 1.6	4 3.2	7 5.6	1 0.8	2 1.6	1 0.8
精神障害	158 100.0	3 1.9	14 8.9	2 1.3	9 5.7	1 0.6	16 10.1	20 12.7	14 8.9	2 1.3	16 10.1	4 2.5
難病	134 100.0	-	7 5.2	-	7 5.2	1 0.7	17 12.7	5 3.7	17 12.7	1 0.7	7 5.2	-
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-

	調査数	剣道	空手・合気道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ヨット・サーフィング	パークゴルフ	グラウンドソフトボール	車椅子バスケットボール
全体	706 100.0	12 1.7	12 1.7	8 1.1	70 9.9	15 2.1	42 5.9	24 3.4	4 0.6	5 0.7	1 0.1	1 0.1
身体障害	470 100.0	8 1.7	9 1.9	6 1.3	38 8.1	14 3.0	35 7.4	7 1.5	3 0.6	4 0.9	1 0.2	1 0.2
知的障害	125 100.0	-	1 0.8	-	26 20.8	1 0.8	-	9 7.2	-	1 0.8	-	-
精神障害	158 100.0	4 2.5	2 1.3	2 1.3	12 7.6	-	10 6.3	11 7.0	1 0.6	-	-	-
難病	134 100.0	1 0.7	2 1.5	1 0.7	12 9.0	5 3.7	10 7.5	1 0.7	1 0.7	-	-	-
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	フライングディスク	カヌー	ゴールボール	シッティングバレーボール	自転車競技	射撃	セーリング	ポッチャ	その他	無回答
全体	706 100.0	9 1.3	1 0.1	2 0.3	1 0.1	1 0.1	2 0.3	1 0.1	18 2.5	29 4.1	41 5.8
身体障害	470 100.0	2 0.4	-	2 0.4	1 0.2	-	2 0.4	1 0.2	11 2.3	16 3.4	30 6.4
知的障害	125 100.0	8 6.4	1 0.8	-	-	-	-	-	10 8.0	7 5.6	6 4.8
精神障害	158 100.0	-	-	-	-	1 0.6	-	-	-	10 6.3	7 4.4
難病	134 100.0	-	-	-	-	-	-	-	4 3.0	4 3.0	11 8.2
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

#### (4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

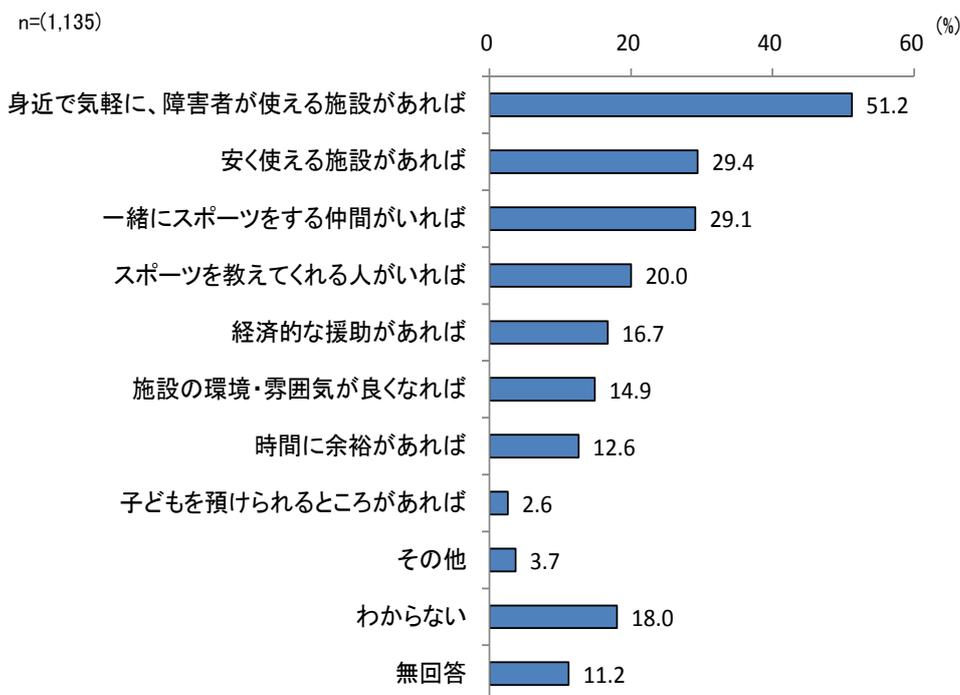
問 49 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が51.2%で最も多く、以下「安く使える施設があれば」が29.4%、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が29.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「スポーツを教えてくれる人がいれば」が多くなっています。また、精神障害のある方では「安く使える施設があれば」、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「施設的环境・雰囲気が良くなれば」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」と「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が、他の年代より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒にスポーツをする仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	施設的环境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全体	1135	581	334	330	30	227	169	143	189	204	42	127
	100.0	51.2	29.4	29.1	2.6	20.0	14.9	12.6	16.7	18.0	3.7	11.2
身体障害	772	377	206	183	15	111	88	74	103	149	28	110
	100.0	48.8	26.7	23.7	1.9	14.4	11.4	9.6	13.3	19.3	3.6	14.2
知的障害	226	135	66	85	5	88	36	30	29	40	5	14
	100.0	59.7	29.2	37.6	2.2	38.9	15.9	13.3	12.8	17.7	2.2	6.2
精神障害	231	118	90	87	10	50	59	50	69	37	11	13
	100.0	51.1	39.0	37.7	4.3	21.6	25.5	21.6	29.9	16.0	4.8	5.6
難病	224	123	68	47	6	32	23	21	44	42	8	27
	100.0	54.9	30.4	21.0	2.7	14.3	10.3	9.4	19.6	18.8	3.6	12.1
無回答	7	2	-	1	-	-	-	-	1	3	-	1
	100.0	28.6	-	14.3	-	-	-	-	14.3	42.9	-	14.3

## ●年齢別

	調査数	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒にスポーツをする仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	施設的环境・雰囲気良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
18～39歳	265	160	92	117	17	93	61	54	51	36	10	11
	100.0	60.4	34.7	44.2	6.4	35.1	23.0	20.4	19.2	13.6	3.8	4.2
40～64歳	343	168	119	110	4	68	62	56	79	70	11	24
	100.0	49.0	34.7	32.1	1.2	19.8	18.1	16.3	23.0	20.4	3.2	7.0
65～74歳	232	113	62	54	4	33	22	17	31	44	5	31
	100.0	48.7	26.7	23.3	1.7	14.2	9.5	7.3	13.4	19.0	2.2	13.4
75歳以上	290	137	60	46	5	32	24	16	28	53	16	60
	100.0	47.2	20.7	15.9	1.7	11.0	8.3	5.5	9.7	18.3	5.5	20.7
無回答	5	3	1	3	-	1	-	-	-	1	-	1
	100.0	60.0	20.0	60.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0

## (5) スポーツをしない理由

問 50 【問 46 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

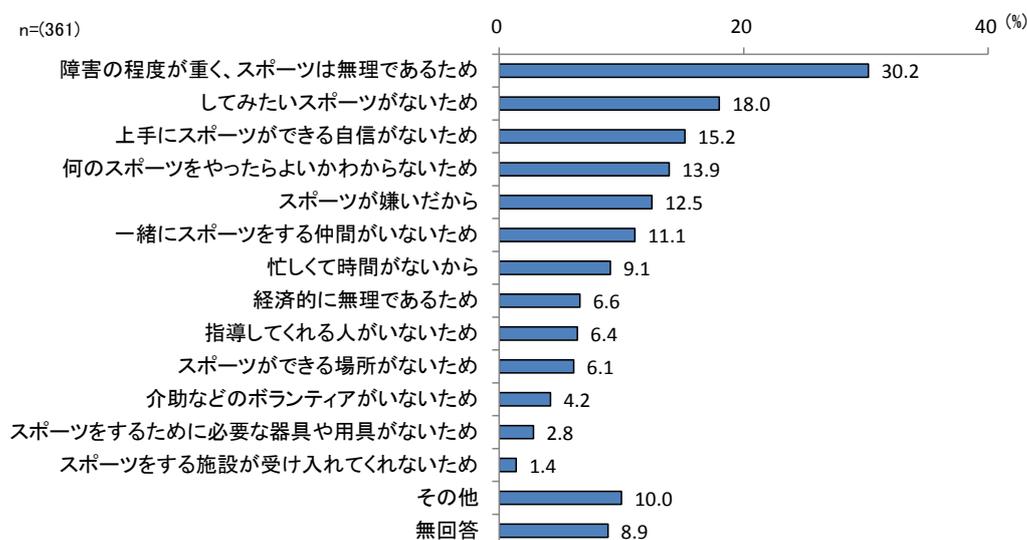
全体では「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が 30.2%で最も多く、以下「してみたいスポーツがないため」が 18.0%、「上手にスポーツができる自信がないため」が 15.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。一方、精神障害のある方では、「上手にスポーツができる自信がないため」が、他の障害のある方より多くなっています。

身体障害の内容別でみると、音声・言語・そしゃく機能障害の方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。

年齢別でみると、65～74 歳では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
全体	361 100.0	22 6.1	5 1.4	23 6.4	55 15.2	10 2.8	24 6.6	40 11.1	15 4.2	109 30.2
身体障害	243 100.0	11 4.5	1 0.4	9 3.7	25 10.3	6 2.5	9 3.7	19 7.8	8 3.3	91 37.4
知的障害	92 100.0	9 9.8	3 3.3	14 15.2	19 20.7	3 3.3	8 8.7	15 16.3	8 8.7	23 25.0
精神障害	65 100.0	5 7.7	1 1.5	4 6.2	20 30.8	3 4.6	11 16.9	12 18.5	1 1.5	14 21.5
難病	77 100.0	7 9.1	-	6 7.8	10 13.0	-	1 1.3	10 13.0	3 3.9	35 45.5
無回答	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全体	361 100.0	50 13.9	65 18.0	45 12.5	33 9.1	36 10.0	32 8.9
身体障害	243 100.0	24 9.9	44 18.1	21 8.6	20 8.2	25 10.3	29 11.9
知的障害	92 100.0	24 26.1	12 13.0	13 14.1	7 7.6	8 8.7	3 3.3
精神障害	65 100.0	9 13.8	11 16.9	14 21.5	8 12.3	6 9.2	2 3.1
難病	77 100.0	9 11.7	8 10.4	10 13.0	7 9.1	4 5.2	5 6.5
無回答	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-

## ●身体障害の種類別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
肢体不自由	127 100.0	2 1.6	-	6 4.7	11 8.7	5 3.9	3 2.4	8 6.3	5 3.9	54 42.5
音声・言語・そしゃく機能障害	13 100.0	-	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	9 69.2
視覚障害	29 100.0	2 6.9	-	1 3.4	3 10.3	-	2 6.9	1 3.4	2 6.9	11 37.9
聴覚・平衡機能障害	23 100.0	1 4.3	-	-	2 8.7	-	-	2 8.7	-	6 26.1
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	73 100.0	6 8.2	1 1.4	2 2.7	12 16.4	1 1.4	4 5.5	10 13.7	1 1.4	27 37.0
無回答	9 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 22.2

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
肢体不自由	127 100.0	10 7.9	24 18.9	6 4.7	11 8.7	14 11.0	15 11.8
音声・言語・そしゃく機能障害	13 100.0	1 7.7	7 7.7	-	-	7 7.7	2 15.4
視覚障害	29 100.0	5 17.2	4 13.8	5 17.2	1 3.4	4 13.8	2 6.9
聴覚・平衡機能障害	23 100.0	5 21.7	1 4.3	1 4.3	3 13.0	4 17.4	4 17.4
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	73 100.0	4 5.5	12 16.4	12 16.4	6 8.2	4 5.5	8 11.0
無回答	9 100.0	3 33.3	2 22.2	-	-	1 11.1	2 22.2

## ●年齢別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
18～39歳	77 100.0	11 14.3	3 3.9	12 15.6	19 24.7	3 3.9	7 9.1	14 18.2	6 7.8	17 22.1
40～64歳	115 100.0	3 2.6	1 0.9	5 4.3	23 20.0	5 4.3	10 8.7	15 13.0	2 1.7	28 24.3
65～74歳	74 100.0	3 4.1	- -	2 2.7	6 8.1	- -	3 4.1	7 9.5	1 1.4	35 47.3
75歳以上	95 100.0	5 5.3	1 1.1	4 4.2	7 7.4	2 2.1	4 4.2	4 4.2	6 6.3	29 30.5
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
18～39歳	77 100.0	17 22.1	10 13.0	11 14.3	8 10.4	6 7.8	1 1.3
40～64歳	115 100.0	14 12.2	27 23.5	21 18.3	18 15.7	11 9.6	3 2.6
65～74歳	74 100.0	10 13.5	15 20.3	6 8.1	3 4.1	3 4.1	7 9.5
75歳以上	95 100.0	9 9.5	13 13.7	7 7.4	4 4.2	16 16.8	21 22.1
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

## 9. 将来について

### (1) 親なき後の生活の不安

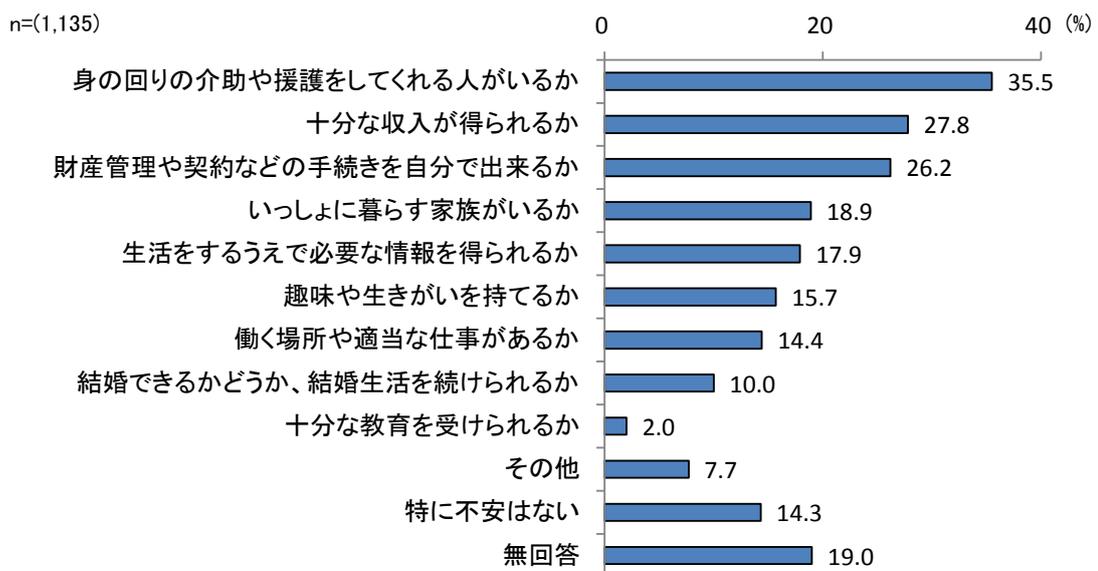
問51 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」が35.5%で最も多く、以下「十分な収入が得られるか」が27.8%、「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が26.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」と「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「十分な収入が得られるか」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」、「十分な収入が得られるか」、「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が、いずれも他の年代より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	身の回りの 介助や援護 をしてくれる 人がいるか	財産管理や 契約などの 手続きを自 分で出来る か	結婚できるか どうか、結婚 生活を続けら れるか	いっしょに暮 らす家族が いるか	十分な教育 を受けられる か	働く場所や適 当な仕事があ るか	十分な収入 が得られる か	趣味や生き がいを持てる か	生活をするう えに必要な 情報を得ら れるか
全 体	1135 100.0	403 35.5	297 26.2	113 10.0	214 18.9	23 2.0	163 14.4	315 27.8	178 15.7	203 17.9
身体障害	772 100.0	232 30.1	114 14.8	31 4.0	101 13.1	13 1.7	54 7.0	136 17.6	86 11.1	94 12.2
知的障害	226 100.0	150 66.4	134 59.3	44 19.5	81 35.8	8 3.5	56 24.8	90 39.8	49 21.7	78 34.5
精神障害	231 100.0	77 33.3	90 39.0	52 22.5	59 25.5	5 2.2	73 31.6	122 52.8	66 28.6	53 22.9
難病	224 100.0	88 39.3	43 19.2	20 8.9	32 14.3	3 1.3	26 11.6	52 23.2	27 12.1	33 14.7
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -

	調査数	特に不安は ない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	162 14.3	87 7.7	216 19.0
身体障害	772 100.0	127 16.5	64 8.3	205 26.6
知的障害	226 100.0	14 6.2	12 5.3	10 4.4
精神障害	231 100.0	29 12.6	19 8.2	10 4.3
難病	224 100.0	26 11.6	15 6.7	57 25.4
無回答	7 100.0	3 42.9	- -	1 14.3

## ●年齢別

	調査数	身の回りの 介助や援護 をしてくれる 人がいるか	財産管理や 契約などの 手続きを自 分で出来る か	結婚できるか どうか、結婚 生活を続けら れるか	いっしょに暮 らす家族が いるか	十分な教育 を受けられる か	働く場所や適 当な仕事があ るか	十分な収入 が得られる か	趣味や生き がいを持てる か	生活をするう えに必要な 情報を得ら れるか
18～39歳	265 100.0	137 51.7	149 56.2	75 28.3	87 32.8	13 4.9	92 34.7	136 51.3	81 30.6	99 37.4
40～64歳	343 100.0	120 35.0	93 27.1	34 9.9	70 20.4	5 1.5	58 16.9	129 37.6	52 15.2	59 17.2
65～74歳	232 100.0	67 28.9	29 12.5	3 1.3	30 12.9	1 0.4	8 3.4	33 14.2	24 10.3	28 12.1
75歳以上	290 100.0	78 26.9	24 8.3	1 0.3	27 9.3	4 1.4	4 1.4	17 5.9	21 7.2	17 5.9
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -

	調査数	特に不安は ない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	15 5.7	17 6.4	7 2.6
40～64歳	343 100.0	58 16.9	28 8.2	26 7.6
65～74歳	232 100.0	45 19.4	21 9.1	61 26.3
75歳以上	290 100.0	43 14.8	21 7.2	120 41.4
無回答	5 100.0	1 20.0	- -	2 40.0

## (2) 将来の暮らし方の希望

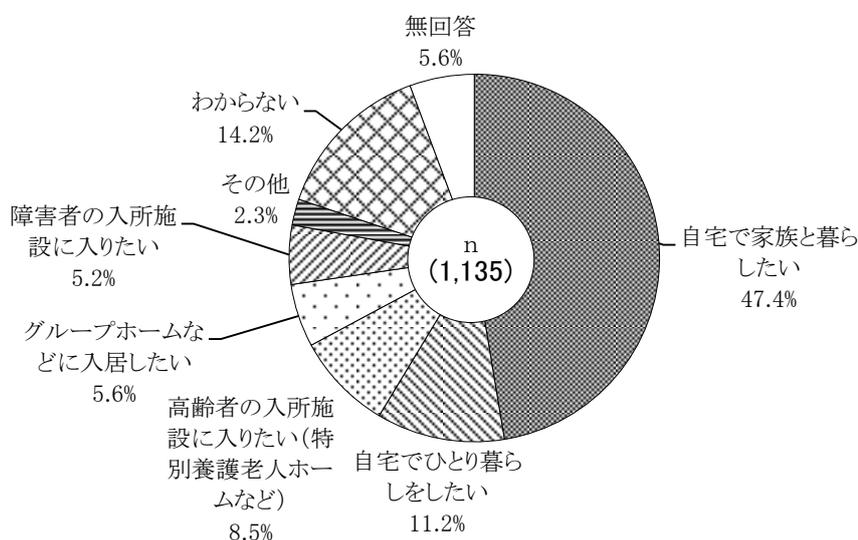
問 52 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が47.4%で最も多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では、「自宅で家族と暮らしたい」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「グループホームなどに入居したい」と「障害者の入所施設に入りたい」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳、40～64歳では「自宅でひとり暮らしをしたい」が、他の年代よりやや多くなっています。一方、65～74歳、75歳以上では「高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)」が多くなる傾向にあります。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全体	1135	538	127	63	59	97	161	26	64
	100.0	47.4	11.2	5.6	5.2	8.5	14.2	2.3	5.6
身体障害	772	378	72	30	34	87	100	14	57
	100.0	49.0	9.3	3.9	4.4	11.3	13.0	1.8	7.4
知的障害	226	86	28	33	32	4	35	3	5
	100.0	38.1	12.4	14.6	14.2	1.8	15.5	1.3	2.2
精神障害	231	109	40	9	12	6	40	11	4
	100.0	47.2	17.3	3.9	5.2	2.6	17.3	4.8	1.7
難病	224	109	22	9	15	21	28	4	16
	100.0	48.7	9.8	4.0	6.7	9.4	12.5	1.8	7.1
無回答	7	2	1	-	1	-	3	-	-
	100.0	28.6	14.3	-	14.3	-	42.9	-	-

●年齢別

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
18～39歳	265	128	33	28	24	-	39	7	6
	100.0	48.3	12.5	10.6	9.1	-	14.7	2.6	2.3
40～64歳	343	169	48	16	21	15	57	7	10
	100.0	49.3	14.0	4.7	6.1	4.4	16.6	2.0	2.9
65～74歳	232	120	23	9	6	30	28	4	12
	100.0	51.7	9.9	3.9	2.6	12.9	12.1	1.7	5.2
75歳以上	290	119	23	9	8	52	36	8	35
	100.0	41.0	7.9	3.1	2.8	17.9	12.4	2.8	12.1
無回答	5	2	-	1	-	-	1	-	1
	100.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0

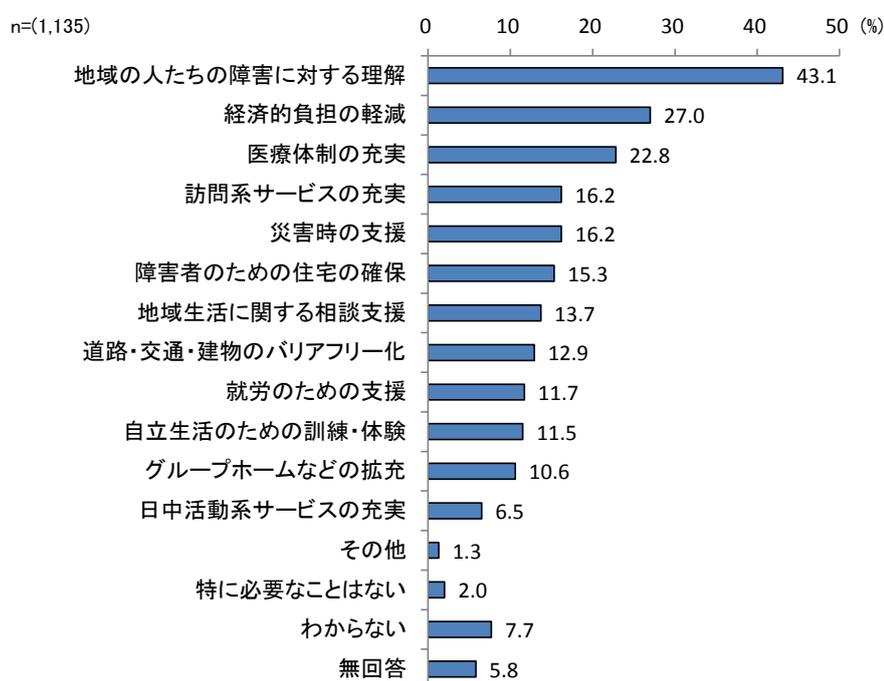
### (3) 地域で生活するために必要なこと

問 53 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が43.1%で最も多く、以下「経済的負担の軽減」が27.0%、「医療体制の充実」が22.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「地域の人たちの障害に対する理解」と「グループホームなどの拡充」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「経済的負担の軽減」が多くなっています。

#### ●全体



●障害種別

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援
全 体	1135 100.0	489 43.1	155 13.7	184 16.2	74 6.5	130 11.5	120 10.6	174 15.3	259 22.8	133 11.7
身体障害	772 100.0	297 38.5	86 11.1	128 16.6	37 4.8	70 9.1	61 7.9	105 13.6	197 25.5	60 7.8
知的障害	226 100.0	125 55.3	52 23.0	37 16.4	31 13.7	25 11.1	64 28.3	45 19.9	31 13.7	24 10.6
精神障害	231 100.0	106 45.9	33 14.3	37 16.0	14 6.1	45 19.5	12 5.2	39 16.9	53 22.9	56 24.2
難病	224 100.0	91 40.6	30 13.4	36 16.1	9 4.0	29 12.9	15 6.7	35 15.6	64 28.6	16 7.1
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	- -	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3

	調査数	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	184 16.2	146 12.9	306 27.0	23 2.0	87 7.7	15 1.3	66 5.8
身体障害	772 100.0	150 19.4	128 16.6	192 24.9	20 2.6	57 7.4	12 1.6	56 7.3
知的障害	226 100.0	29 12.8	9 4.0	43 19.0	3 1.3	18 8.0	1 0.4	6 2.7
精神障害	231 100.0	21 9.1	18 7.8	85 36.8	1 0.4	23 10.0	4 1.7	6 2.6
難病	224 100.0	42 18.8	31 13.8	66 29.5	3 1.3	13 5.8	3 1.3	16 7.1
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -

#### (4) 将来希望する被介助者の暮らし方

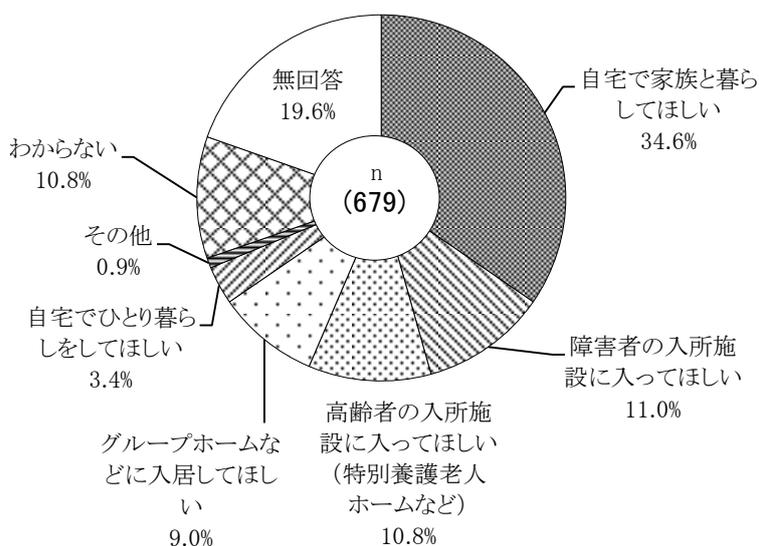
問54 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

全体では「自宅で家族と暮らしてほしい」が34.6%で最も多く、以下「障害者の入所施設に入ってほしい」が11.0%、「高齢者の入所施設に入ってほしい（特別養護老人ホームなど）」が10.8%となっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方では、「グループホームなどに入居してほしい」と「障害者の入所施設に入ってほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別で見ると、18～39歳では「グループホームなどに入居してほしい」と「障害者の入所施設に入ってほしい」が、他の年代より多くなっています。75歳以上では、「高齢者の入所施設に入ってほしい（特別養護老人ホームなど）」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	高齢者の入所施設に入ってほしい（特別養護老人ホームなど）	わからない	その他	無回答
全体	679	235	23	61	75	73	73	6	133
	100.0	34.6	3.4	9.0	11.0	10.8	10.8	0.9	19.6
身体障害	487	180	12	22	36	64	57	4	112
	100.0	37.0	2.5	4.5	7.4	13.1	11.7	0.8	23.0
知的障害	164	37	6	40	52	6	14	1	8
	100.0	22.6	3.7	24.4	31.7	3.7	8.5	0.6	4.9
精神障害	104	37	8	8	13	4	11	2	21
	100.0	35.6	7.7	7.7	12.5	3.8	10.6	1.9	20.2
難病	149	58	4	9	16	18	15	1	28
	100.0	38.9	2.7	6.0	10.7	12.1	10.1	0.7	18.8
無回答	5	3	-	1	-	1	-	-	-
	100.0	60.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-

## ●年齢別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	高齢者の入所施設に入ってほしい (特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
18～39歳	156	50	10	34	35	2	12	2	11
	100.0	32.1	6.4	21.8	22.4	1.3	7.7	1.3	7.1
40～64歳	176	68	4	18	23	10	27	2	24
	100.0	38.6	2.3	10.2	13.1	5.7	15.3	1.1	13.6
65～74歳	138	58	4	6	11	14	13	-	32
	100.0	42.0	2.9	4.3	8.0	10.1	9.4	-	23.2
75歳以上	206	58	5	3	6	46	21	2	65
	100.0	28.2	2.4	1.5	2.9	22.3	10.2	1.0	31.6
無回答	3	1	-	-	-	1	-	-	1
	100.0	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3

## ●主な介助者のうち家族・親族の年齢別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	高齢者の入所施設に入ってほしい (特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
20歳未満	6	3	-	-	-	-	3	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
20代	9	7	-	-	-	-	1	-	1
	100.0	77.8	-	-	-	-	11.1	-	11.1
30代	19	12	-	-	2	-	2	-	3
	100.0	63.2	-	-	10.5	-	10.5	-	15.8
40代	61	26	2	9	7	3	5	1	8
	100.0	42.6	3.3	14.8	11.5	4.9	8.2	1.6	13.1
50代	120	43	4	13	21	8	15	-	16
	100.0	35.8	3.3	10.8	17.5	6.7	12.5	-	13.3
60代	156	61	5	16	15	20	14	1	24
	100.0	39.1	3.2	10.3	9.6	12.8	9.0	0.6	15.4
70歳以上	222	74	4	14	27	32	24	3	44
	100.0	33.3	1.8	6.3	12.2	14.4	10.8	1.4	19.8
無回答	7	2	-	-	1	1	1	-	2
	100.0	28.6	-	-	14.3	14.3	14.3	-	28.6

## 10. 障害のある人に対する理解度について

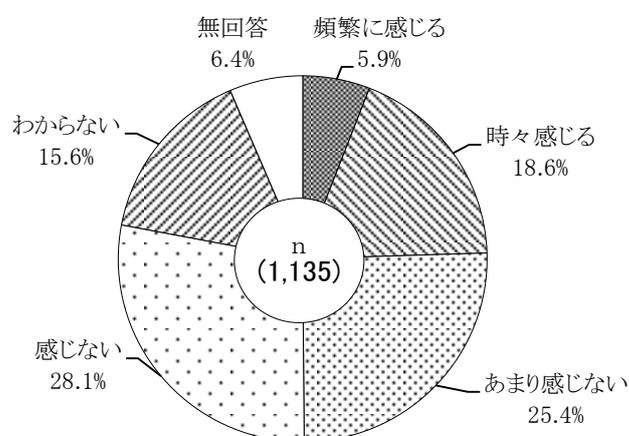
### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 55 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

全体では、「頻繁に感じる」が5.9%、「時々感じる」が18.6%となっています。一方、「あまり感じない」は25.4%、「感じない」は28.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「頻繁に感じる」、「時々感じる」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	1135	67	211	288	319	177	73
	100.0	5.9	18.6	25.4	28.1	15.6	6.4
身体障害	772	25	112	209	242	122	62
	100.0	3.2	14.5	27.1	31.3	15.8	8.0
知的障害	226	27	70	53	34	35	7
	100.0	11.9	31.0	23.5	15.0	15.5	3.1
精神障害	231	25	60	44	53	43	6
	100.0	10.8	26.0	19.0	22.9	18.6	2.6
難病	224	10	40	57	62	36	19
	100.0	4.5	17.9	25.4	27.7	16.1	8.5
無回答	7	-	2	1	2	2	-
	100.0	-	28.6	14.3	28.6	28.6	-

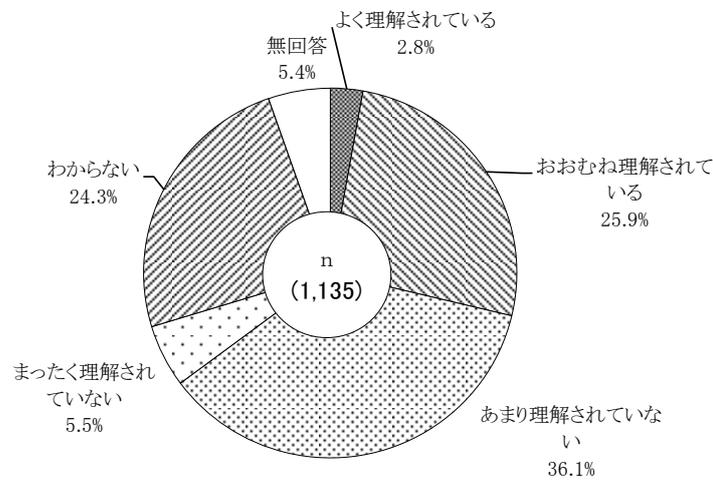
## (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 56 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

全体では、「よく理解されている」が2.8%、「おおむね理解されている」が25.9%となっています。一方、「あまり理解されていない」は36.1%、「まったく理解されていない」は5.5%となっています。

障害種別でみると、障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「あまり理解されていない」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

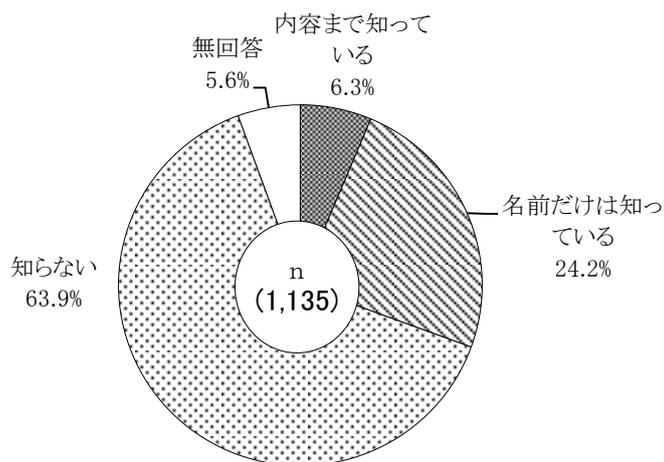
	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全体	1135	32	294	410	62	276	61
	100.0	2.8	25.9	36.1	5.5	24.3	5.4
身体障害	772	26	225	237	36	196	52
	100.0	3.4	29.1	30.7	4.7	25.4	6.7
知的障害	226	8	49	107	8	47	7
	100.0	3.5	21.7	47.3	3.5	20.8	3.1
精神障害	231	8	34	107	24	52	6
	100.0	3.5	14.7	46.3	10.4	22.5	2.6
難病	224	8	58	81	17	46	14
	100.0	3.6	25.9	36.2	7.6	20.5	6.3
無回答	7	-	2	3	1	1	-
	100.0	-	28.6	42.9	14.3	14.3	-

### (3) 障害者差別解消法の認知

問 57 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「内容まで知っている」が 6.3%、「名前だけは知っている」が 24.2%となっています。一方、「知らない」が 63.9%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	1135	72	275	725	63
	100.0	6.3	24.2	63.9	5.6
身体障害	772	48	184	486	54
	100.0	6.2	23.8	63.0	7.0
知的障害	226	29	63	127	7
	100.0	12.8	27.9	56.2	3.1
精神障害	231	8	54	164	5
	100.0	3.5	23.4	71.0	2.2
難病	224	10	61	142	11
	100.0	4.5	27.2	63.4	4.9
無回答	7	-	-	7	-
	100.0	-	-	100.0	-

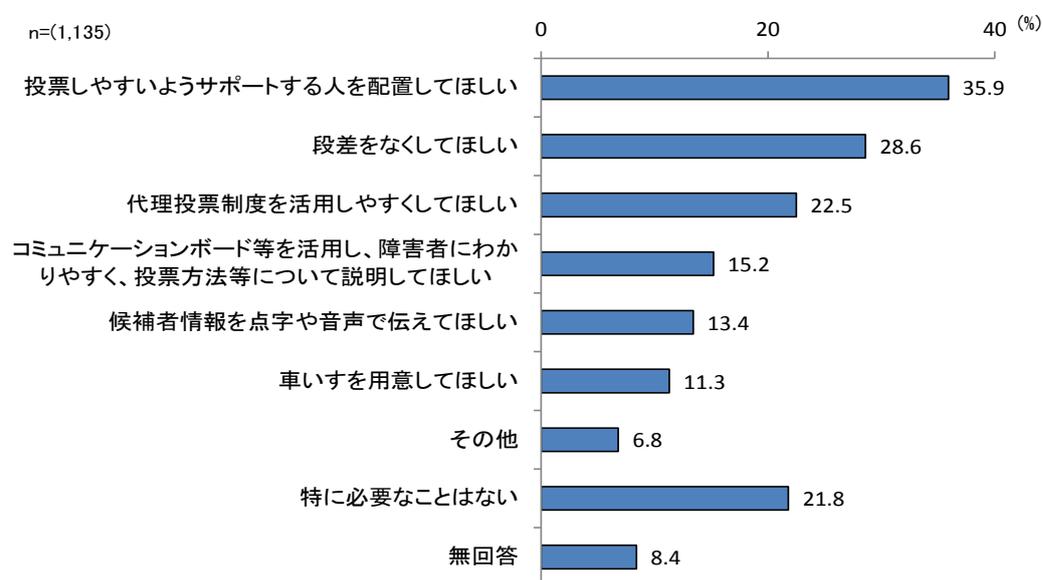
#### (4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 58 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が35.9%で最も多く、以下「段差をなくしてほしい」が28.6%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が22.5%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、身体障害のある方、難病のある方では「段差をなくしてほしい」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	候補者情報を点字や音声で伝えてほしい	段差をなくしてほしい	車いすを用意してほしい	投票しやすいようサポートする人を配置してほしい	代理投票制度を活用しやすくしてほしい	コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	1135	152	325	128	407	255	172	247	77	95
	100.0	13.4	28.6	11.3	35.9	22.5	15.2	21.8	6.8	8.4
身体障害	772	86	260	94	247	163	82	171	49	76
	100.0	11.1	33.7	12.2	32.0	21.1	10.6	22.2	6.3	9.8
知的障害	226	26	26	13	106	52	62	44	19	19
	100.0	11.5	11.5	5.8	46.9	23.0	27.4	19.5	8.4	8.4
精神障害	231	47	60	29	90	60	46	48	16	14
	100.0	20.3	26.0	12.6	39.0	26.0	19.9	20.8	6.9	6.1
難病	224	23	70	31	73	58	25	42	14	18
	100.0	10.3	31.3	13.8	32.6	25.9	11.2	18.8	6.3	8.0
無回答	7	-	1	2	2	2	2	2	-	-
	100.0	-	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	-	-

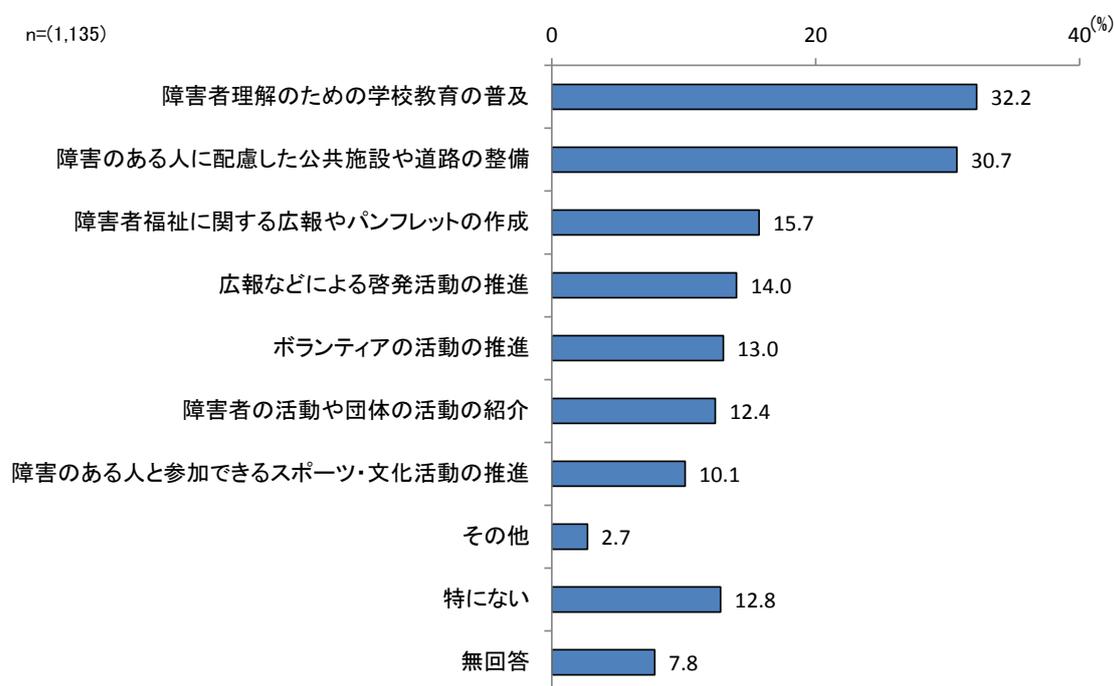
(5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 59 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「障害者理解のための学校教育の普及」が 32.2%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が 30.7%と、いずれも3割を超えて多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、精神障害のある方では、「障害者理解のための学校教育の普及」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全体	1135	366	159	141	148	115	349	178	145	31	89
	100.0	32.2	14.0	12.4	13.0	10.1	30.7	15.7	12.8	2.7	7.8
身体障害	772	205	102	75	89	68	270	129	104	17	76
	100.0	26.6	13.2	9.7	11.5	8.8	35.0	16.7	13.5	2.2	9.8
知的障害	226	92	33	45	38	36	49	27	24	9	11
	100.0	40.7	14.6	19.9	16.8	15.9	21.7	11.9	10.6	4.0	4.9
精神障害	231	97	35	33	31	24	62	31	25	9	11
	100.0	42.0	15.2	14.3	13.4	10.4	26.8	13.4	10.8	3.9	4.8
難病	224	68	35	24	25	17	76	41	21	4	19
	100.0	30.4	15.6	10.7	11.2	7.6	33.9	18.3	9.4	1.8	8.5
無回答	7	1	-	2	-	-	1	1	1	-	2
	100.0	14.3	-	28.6	-	-	14.3	14.3	14.3	-	28.6

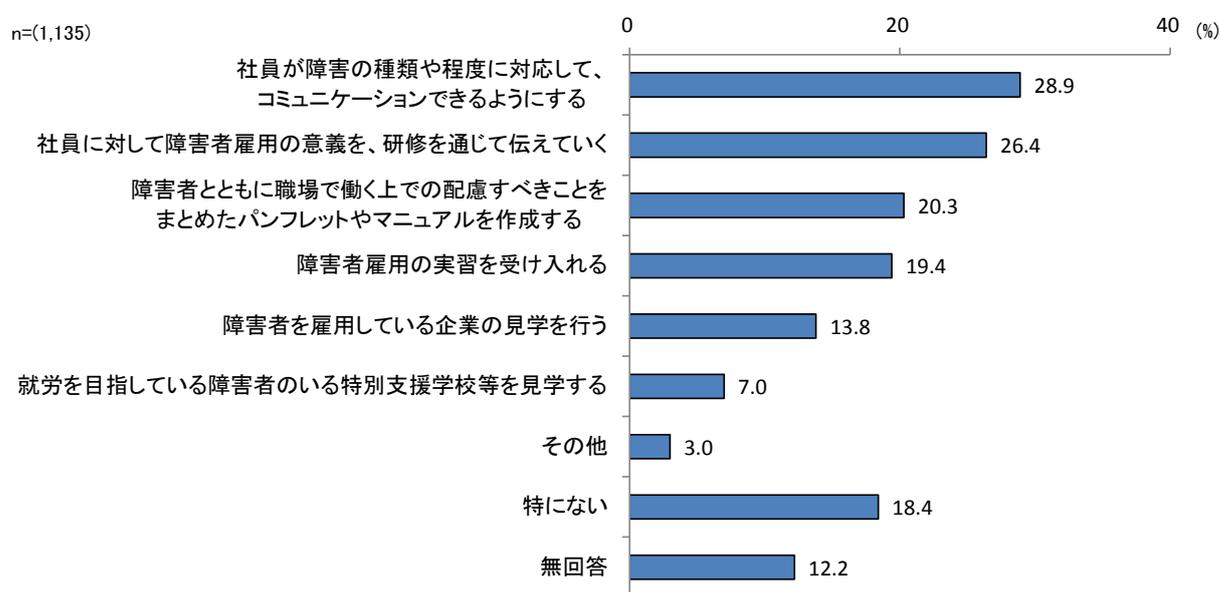
## (6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 60 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が28.9%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が26.4%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」が20.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全体	1135	300	80	157	220	328	230	209	34	139
	100.0	26.4	7.0	13.8	19.4	28.9	20.3	18.4	3.0	12.2
身体障害	772	184	44	92	126	189	146	168	21	118
	100.0	23.8	5.7	11.9	16.3	24.5	18.9	21.8	2.7	15.3
知的障害	226	65	25	39	59	82	47	32	8	16
	100.0	28.8	11.1	17.3	26.1	36.3	20.8	14.2	3.5	7.1
精神障害	231	69	20	35	51	87	54	29	9	19
	100.0	29.9	8.7	15.2	22.1	37.7	23.4	12.6	3.9	8.2
難病	224	60	12	26	42	61	37	47	7	31
	100.0	26.8	5.4	11.6	18.8	27.2	16.5	21.0	3.1	13.8
無回答	7	3	-	-	2	1	-	1	1	1
	100.0	42.9	-	-	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3

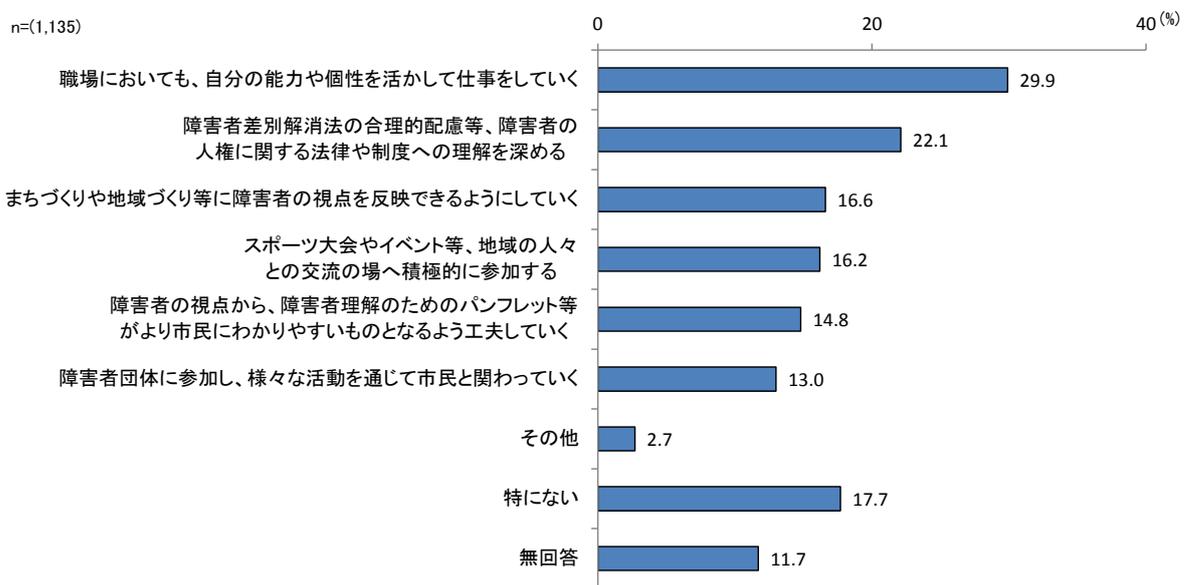
(7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 61 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

全体では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が29.9%で最も多く、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が22.1%で次いでいます。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が多くなっています。

●全体



●障害種別

調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にない	その他	無回答	
全体	1135 100.0	251 22.1	184 16.2	188 16.6	147 13.0	168 14.8	339 29.9	201 17.7	31 2.7	133 11.7
身体障害	772 100.0	155 20.1	110 14.2	139 18.0	83 10.8	118 15.3	205 26.6	152 19.7	16 2.1	109 14.1
知的障害	226 100.0	54 23.9	58 25.7	26 11.5	41 18.1	33 14.6	67 29.6	36 15.9	9 4.0	19 8.4
精神障害	231 100.0	60 26.0	36 15.6	32 13.9	35 15.2	36 15.6	89 38.5	29 12.6	8 3.5	20 8.7
難病	224 100.0	47 21.0	33 14.7	40 17.9	27 12.1	31 13.8	51 22.8	47 21.0	9 4.0	30 13.4
無回答	7 100.0	2 28.6	-	-	-	-	2 28.6	2 28.6	1 14.3	-

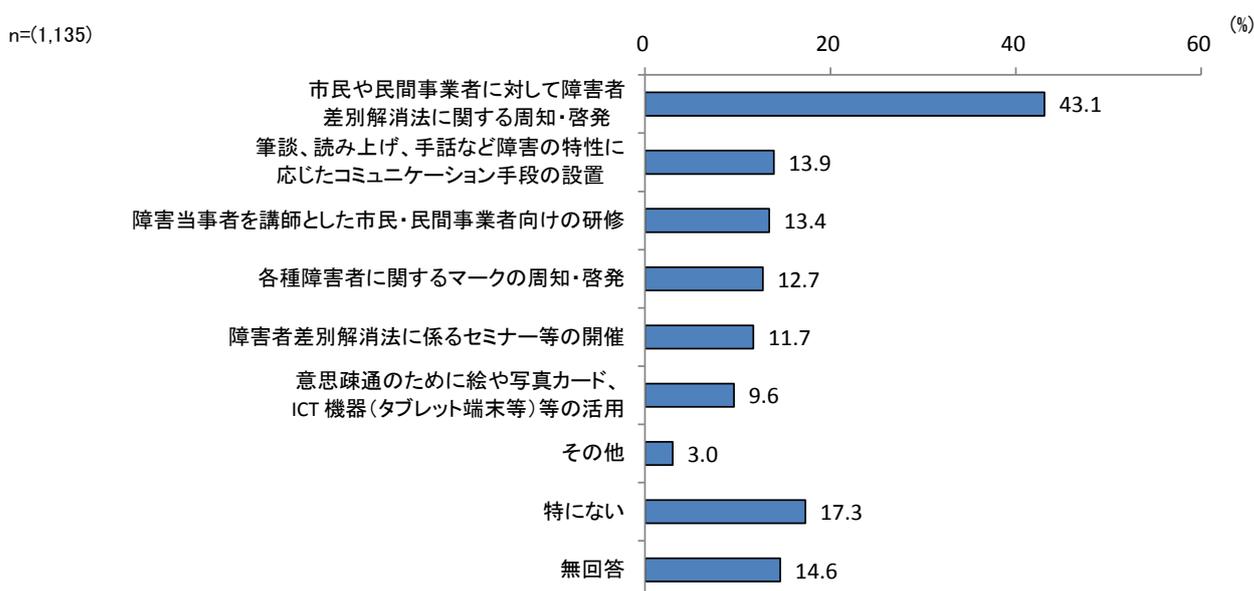
(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 62 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が43.1%で最も多く、以下「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」が13.9%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が13.4%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用	各種障害者に関するマークの周知・啓発	特になし	その他	無回答
全体	1135	489	133	152	158	109	144	196	34	166
	100.0	43.1	11.7	13.4	13.9	9.6	12.7	17.3	3.0	14.6
身体障害	772	304	73	97	105	60	109	143	20	135
	100.0	39.4	9.5	12.6	13.6	7.8	14.1	18.5	2.6	17.5
知的障害	226	110	41	29	32	32	14	36	11	25
	100.0	48.7	18.1	12.8	14.2	14.2	6.2	15.9	4.9	11.1
精神障害	231	116	31	41	31	31	28	32	6	21
	100.0	50.2	13.4	17.7	13.4	13.4	12.1	13.9	2.6	9.1
難病	224	79	27	29	32	18	31	40	8	40
	100.0	35.3	12.1	12.9	14.3	8.0	13.8	17.9	3.6	17.9
無回答	7	1	2	1	1	-	1	2	-	1
	100.0	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3	28.6	-	14.3

## 11. サービス利用について

### (1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

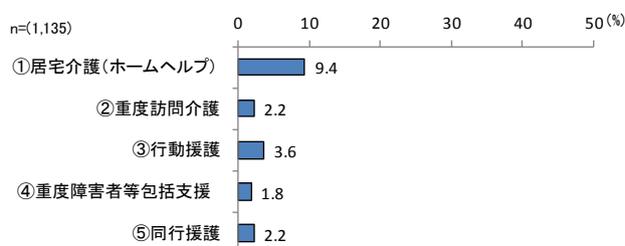
問 63 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスを見ると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 9.4%で最も多くなっています。

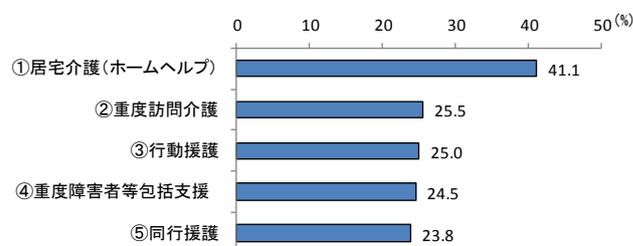
利用したいサービスを見ると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 41.1%で最も多く、以下「重度訪問介護」が 25.5%、「行動援護」が 25.0%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④重度障害 者等包括支 援	⑤同行援護
全 体	1135	107	25	41	20	25
	100.0	9.4	2.2	3.6	1.8	2.2
身体障害	772	89	24	19	17	19
	100.0	11.5	3.1	2.5	2.2	2.5
知的障害	226	14	1	25	3	6
	100.0	6.2	0.4	11.1	1.3	2.7
精神障害	231	15	1	6	2	3
	100.0	6.5	0.4	2.6	0.9	1.3
難病	224	30	5	9	5	9
	100.0	13.4	2.2	4.0	2.2	4.0
無回答	7	1	1	1	-	1
	100.0	14.3	14.3	14.3	-	14.3

## B. 利用したい割合

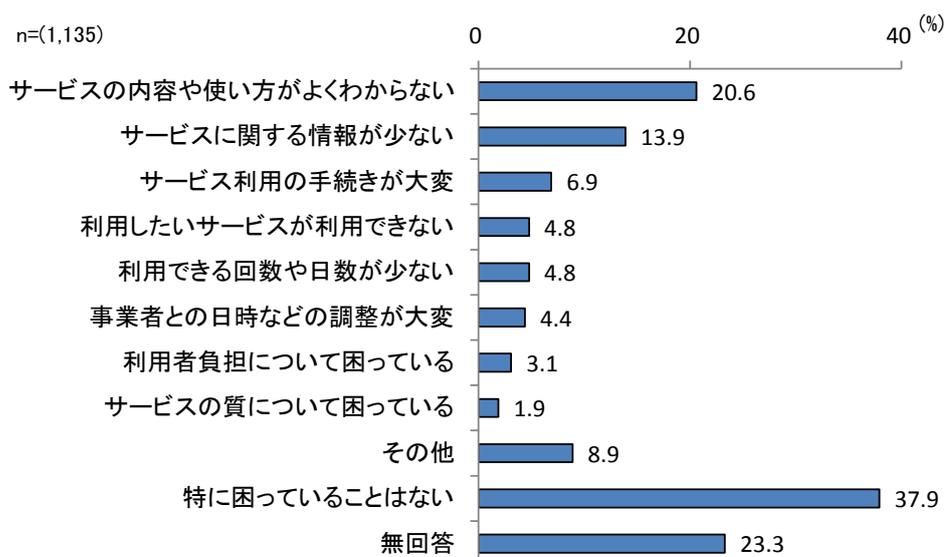
	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④重度障害 者等包括支 援	⑤同行援護
全 体	1135 100.0	466 41.1	289 25.5	284 25.0	278 24.5	270 23.8
身体障害	772 100.0	353 45.7	216 28.0	163 21.1	209 27.1	201 26.0
知的障害	226 100.0	85 37.6	55 24.3	101 44.7	52 23.0	49 21.7
精神障害	231 100.0	67 29.0	45 19.5	56 24.2	42 18.2	45 19.5
難病	224 100.0	99 44.2	63 28.1	60 26.8	59 26.3	65 29.0
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3

## (2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 64 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、訪問系サービスを利用する上で困っていることについて「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.6%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が13.9%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質について困っている	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1135	234	158	54	78	50	54	22	35	430	101	264
	100.0	20.6	13.9	4.8	6.9	4.4	4.8	1.9	3.1	37.9	8.9	23.3
身体障害	772	146	96	29	46	22	37	16	27	284	68	200
	100.0	18.9	12.4	3.8	6.0	2.8	4.8	2.1	3.5	36.8	8.8	25.9
知的障害	226	55	45	21	21	25	17	5	6	75	22	42
	100.0	24.3	19.9	9.3	9.3	11.1	7.5	2.2	2.7	33.2	9.7	18.6
精神障害	231	49	27	13	19	12	10	2	5	107	19	39
	100.0	21.2	11.7	5.6	8.2	5.2	4.3	0.9	2.2	46.3	8.2	16.9
難病	224	50	32	14	14	10	12	8	8	77	20	51
	100.0	22.3	14.3	6.3	6.3	4.5	5.4	3.6	3.6	34.4	8.9	22.8
無回答	7	3	1	-	2	-	-	-	1	2	-	2
	100.0	42.9	14.3	-	28.6	-	-	-	14.3	28.6	-	28.6

### (3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

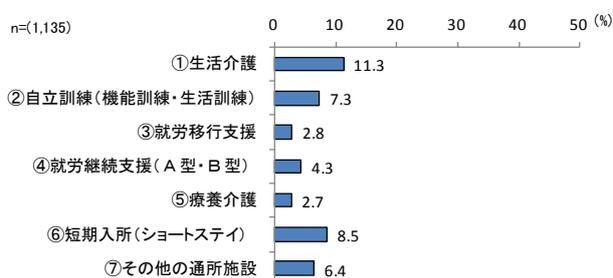
問 65 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「生活介護」が11.3%で最も多く、以下「短期入所（ショートステイ）」が8.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が7.3%となっています。

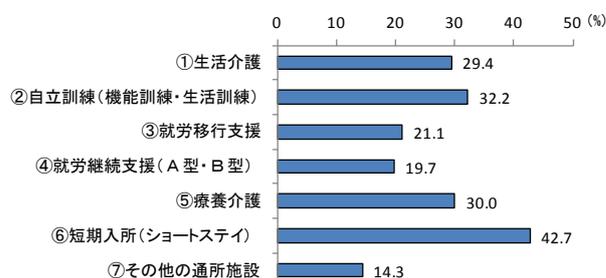
利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が42.7%で最も多く、以下「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が32.2%、「療養介護」が30.0%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	①生活介護	②自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	③就労移行 支援	④就労継続 支援(A型・B 型)	⑤療養介護	⑥短期入所 (ショートステ イ)	⑦その他の 通所施設
全 体	1135	128	83	32	49	31	96	73
	100.0	11.3	7.3	2.8	4.3	2.7	8.5	6.4
身体障害	772	78	70	6	14	30	57	46
	100.0	10.1	9.1	0.8	1.8	3.9	7.4	6.0
知的障害	226	62	18	19	45	2	55	28
	100.0	27.4	8.0	8.4	19.9	0.9	24.3	12.4
精神障害	231	12	5	12	3	3	11	7
	100.0	5.2	2.2	5.2	1.3	1.3	4.8	3.0
難病	224	32	27	3	10	8	18	14
	100.0	14.3	12.1	1.3	4.5	3.6	8.0	6.3
無回答	7	1	-	-	1	-	1	-
	100.0	14.3	-	-	14.3	-	14.3	-

## B. 利用したい割合

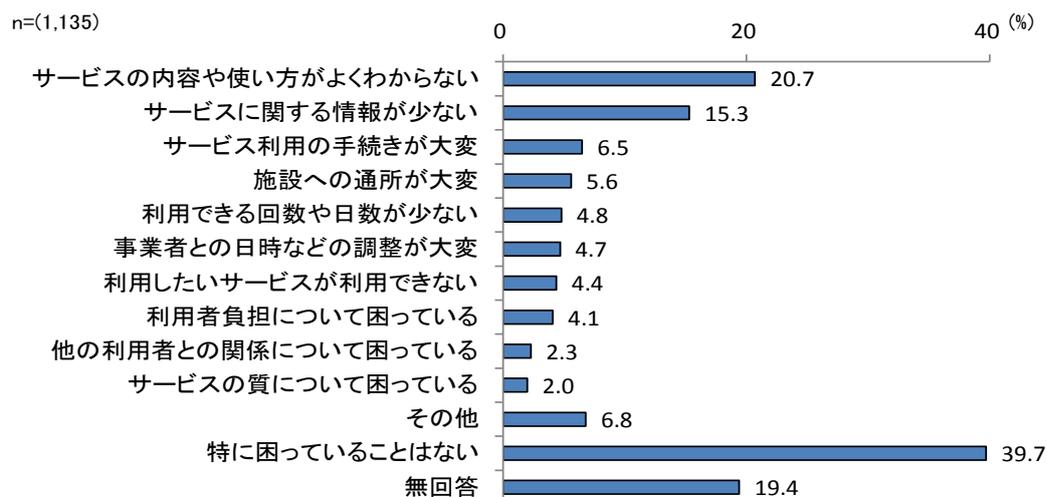
	調査数	①生活介護	②自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	③就労移行 支援	④就労継続 支援(A型・B 型)	⑤療養介護	⑥短期入所 (ショートステ イ)	⑦その他の 通所施設
全 体	1135 100.0	334 29.4	366 32.2	240 21.1	224 19.7	341 30.0	485 42.7	162 14.3
身体障害	772 100.0	238 30.8	240 31.1	122 15.8	109 14.1	262 33.9	338 43.8	112 14.5
知的障害	226 100.0	80 35.4	85 37.6	63 27.9	78 34.5	46 20.4	129 57.1	40 17.7
精神障害	231 100.0	49 21.2	73 31.6	78 33.8	60 26.0	57 24.7	68 29.4	24 10.4
難病	224 100.0	77 34.4	74 33.0	42 18.8	40 17.9	76 33.9	100 44.6	30 13.4
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	4 57.1	- -

#### (4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 66 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、日中活動系サービスを利用する上で困っていることについて「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.7%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が15.3%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質について困っている	他の利用者との関係について困っている	施設への通所が大変
全体	1135	235	174	50	74	53	54	23	26	63
	100.0	20.7	15.3	4.4	6.5	4.7	4.8	2.0	2.3	5.6
身体障害	772	153	112	28	43	20	32	13	14	35
	100.0	19.8	14.5	3.6	5.6	2.6	4.1	1.7	1.8	4.5
知的障害	226	39	38	19	21	29	21	6	10	25
	100.0	17.3	16.8	8.4	9.3	12.8	9.3	2.7	4.4	11.1
精神障害	231	60	41	11	19	13	12	6	7	16
	100.0	26.0	17.7	4.8	8.2	5.6	5.2	2.6	3.0	6.9
難病	224	51	42	11	16	11	7	6	8	17
	100.0	22.8	18.8	4.9	7.1	4.9	3.1	2.7	3.6	7.6
無回答	7	3	1	-	2	1	-	1	1	-
	100.0	42.9	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-

	調査数	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1135	47	451	77	220
	100.0	4.1	39.7	6.8	19.4
身体障害	772	34	298	54	176
	100.0	4.4	38.6	7.0	22.8
知的障害	226	9	88	13	26
	100.0	4.0	38.9	5.8	11.5
精神障害	231	11	94	17	35
	100.0	4.8	40.7	7.4	15.2
難病	224	8	75	15	45
	100.0	3.6	33.5	6.7	20.1
無回答	7	-	2	-	2
	100.0	-	28.6	-	28.6

## (5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

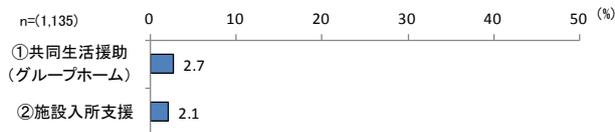
問 67 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 2.7%、「施設入所支援」が 2.1%となっています。

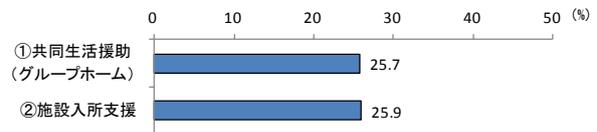
利用したいサービスをみると、「施設入所支援」が 25.9%、「共同生活援助（グループホーム）」が 25.7%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援
全 体	1135	31	24
	100.0	2.7	2.1
身体障害	772	17	19
	100.0	2.2	2.5
知的障害	226	14	7
	100.0	6.2	3.1
精神障害	231	3	3
	100.0	1.3	1.3
難病	224	6	4
	100.0	2.7	1.8
無回答	7	-	-
	100.0	-	-

#### B. 利用したい割合

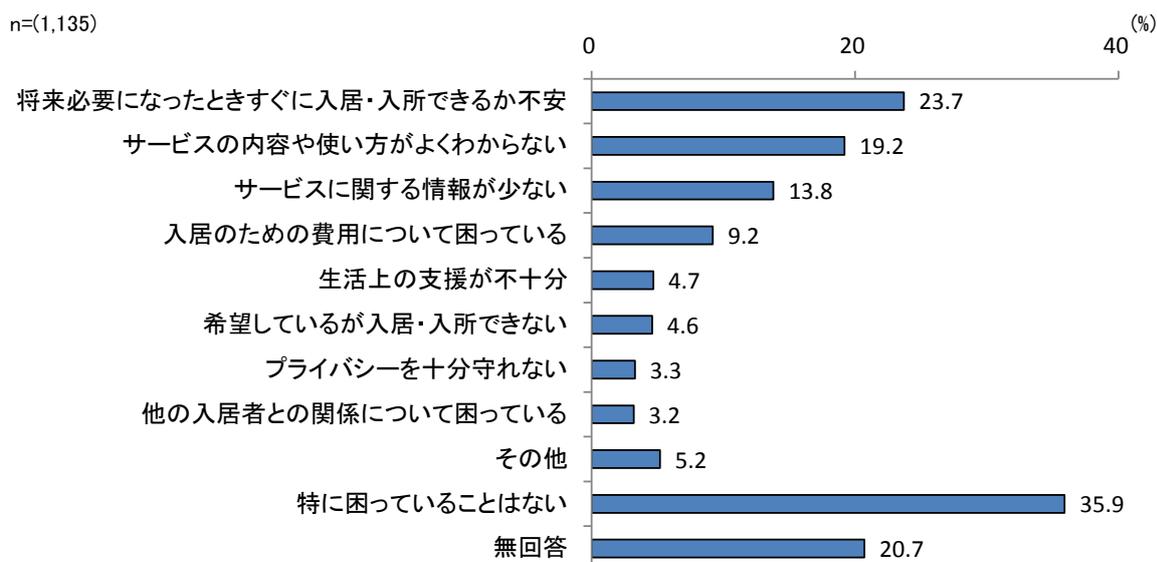
	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援
全 体	1135	292	294
	100.0	25.7	25.9
身体障害	772	182	198
	100.0	23.6	25.6
知的障害	226	98	83
	100.0	43.4	36.7
精神障害	231	35	40
	100.0	15.2	17.3
難病	224	55	64
	100.0	24.6	28.6
無回答	7	-	1
	100.0	-	14.3

## (6) 居住系サービスを利用する上で困っていること

問 68 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、居住系サービスを利用する上で困っていることについて「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が 23.7%で最も多く、以下「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 19.2%、「サービスに関する情報が少ない」が 13.8%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	希望しているが入居・入所できない	将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安	生活上の支援が不十分	プライバシーを十分守れない	他の入居者との関係について困っている	入居のための費用について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1135	218	157	52	269	53	38	36	104	408	59	235
	100.0	19.2	13.8	4.6	23.7	4.7	3.3	3.2	9.2	35.9	5.2	20.7
身体障害	772	141	97	29	169	34	18	15	71	262	42	185
	100.0	18.3	12.6	3.8	21.9	4.4	2.3	1.9	9.2	33.9	5.4	24.0
知的障害	226	48	48	27	95	18	11	13	23	66	8	31
	100.0	21.2	21.2	11.9	42.0	8.0	4.9	5.8	10.2	29.2	3.5	13.7
精神障害	231	42	29	8	37	6	13	11	19	107	11	37
	100.0	18.2	12.6	3.5	16.0	2.6	5.6	4.8	8.2	46.3	4.8	16.0
難病	224	47	34	10	54	9	8	4	24	71	12	48
	100.0	21.0	15.2	4.5	24.1	4.0	3.6	1.8	10.7	31.7	5.4	21.4
無回答	7	3	2	-	2	-	1	1	1	1	-	2
	100.0	42.9	28.6	-	28.6	-	14.3	14.3	14.3	14.3	-	28.6

## (7) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

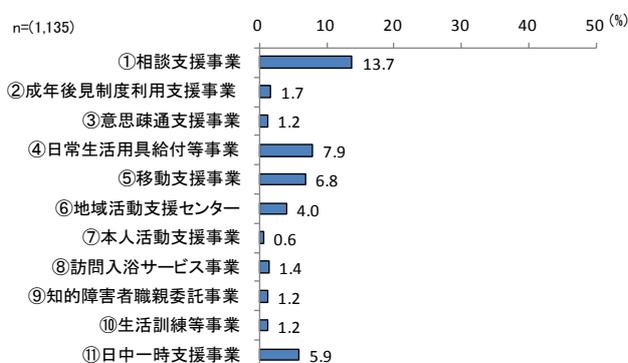
問 69 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が13.7%で最も多く、以下「日常生活用具給付等事業」が7.9%、「移動支援事業」が6.8%となっています。

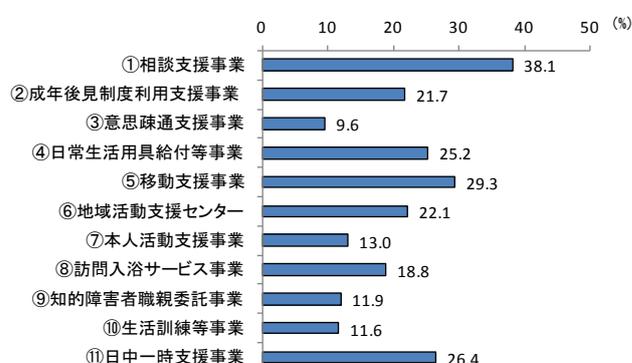
利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が38.1%で最も多く、以下「移動支援事業」が29.3%、「日中一時支援事業」が26.4%、「日常生活用具給付等事業」が25.2%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	①相談	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤移動支援事業	⑥地域活動支援センター	⑦本人活動支援事業	⑧訪問入浴サービス事業	⑨知的障害者職親委託事業	⑩生活訓練等事業	⑪日中一時支援事業
全体	1135	155	19	14	90	77	45	7	16	14	14	67
	100.0	13.7	1.7	1.2	7.9	6.8	4.0	0.6	1.4	1.2	1.2	5.9
身体障害	772	68	7	13	85	40	24	4	15	5	10	25
	100.0	8.8	0.9	1.7	11.0	5.2	3.1	0.5	1.9	0.6	1.3	3.2
知的障害	226	90	9	1	9	41	21	3	1	11	8	50
	100.0	39.8	4.0	0.4	4.0	18.1	9.3	1.3	0.4	4.9	3.5	22.1
精神障害	231	31	4	1	6	8	9	-	2	1	1	6
	100.0	13.4	1.7	0.4	2.6	3.5	3.9	-	0.9	0.4	0.4	2.6
難病	224	32	1	1	22	18	12	1	4	1	4	10
	100.0	14.3	0.4	0.4	9.8	8.0	5.4	0.4	1.8	0.4	1.8	4.5
無回答	7	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	14.3	-	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-

## B. 利用したい割合

	調査数	①相談	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤移動支援事業	⑥地域活動支援センター	⑦本人活動支援事業	⑧訪問入浴サービス事業	⑨知的障害者職親委託事業	⑩生活訓練等事業	⑪日中一時支援事業
全体	1135	432	246	109	286	333	251	148	213	135	132	300
	100.0	38.1	21.7	9.6	25.2	29.3	22.1	13.0	18.8	11.9	11.6	26.4
身体障害	772	259	125	79	239	227	142	76	171	69	102	185
	100.0	33.5	16.2	10.2	31.0	29.4	18.4	9.8	22.2	8.9	13.2	24.0
知的障害	226	136	105	21	40	98	84	67	36	62	23	94
	100.0	60.2	46.5	9.3	17.7	43.4	37.2	29.6	15.9	27.4	10.2	41.6
精神障害	231	86	50	23	38	44	54	26	26	23	23	52
	100.0	37.2	21.6	10.0	16.5	19.0	23.4	11.3	11.3	10.0	10.0	22.5
難病	224	97	44	27	72	79	51	32	55	24	32	62
	100.0	43.3	19.6	12.1	32.1	35.3	22.8	14.3	24.6	10.7	14.3	27.7
無回答	7	1	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-
	100.0	14.3	-	-	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	-	-

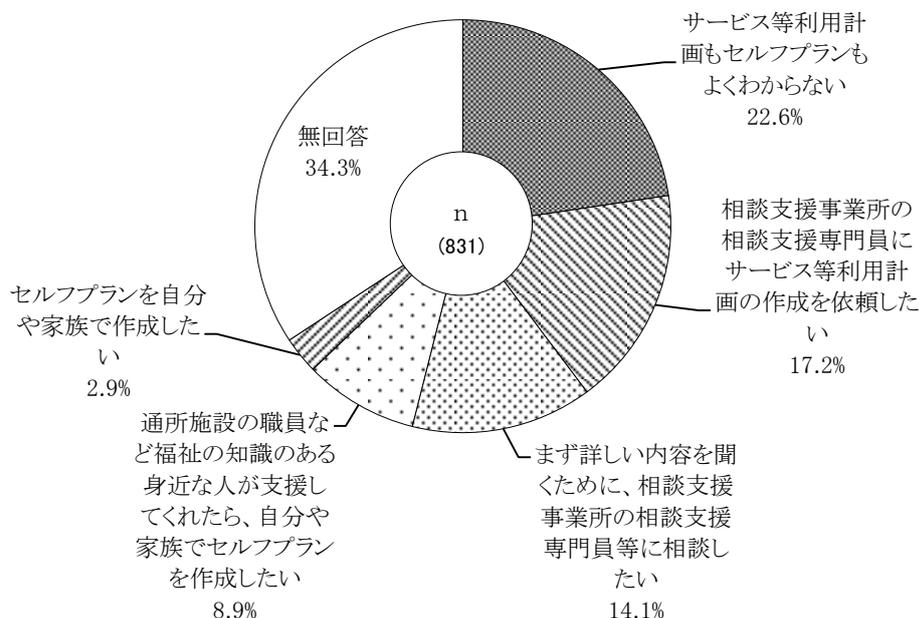
### (8) サービス等利用計画の作成についての意向

問 70 【問 63、65、67、69 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】 サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

全体では、サービス等利用計画の作成についての具体的な意向として「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 17.2%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 14.1%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 22.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



●障害種別

	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	831	143	24	74	117	188	285
	100.0	17.2	2.9	8.9	14.1	22.6	34.3
身体障害	550	82	17	48	75	115	213
	100.0	14.9	3.1	8.7	13.6	20.9	38.7
知的障害	197	65	5	23	23	44	37
	100.0	33.0	2.5	11.7	11.7	22.3	18.8
精神障害	162	27	4	9	21	46	55
	100.0	16.7	2.5	5.6	13.0	28.4	34.0
難病	173	29	7	12	19	40	66
	100.0	16.8	4.0	6.9	11.0	23.1	38.2
無回答	5	-	-	-	1	1	3
	100.0	-	-	-	20.0	20.0	60.0

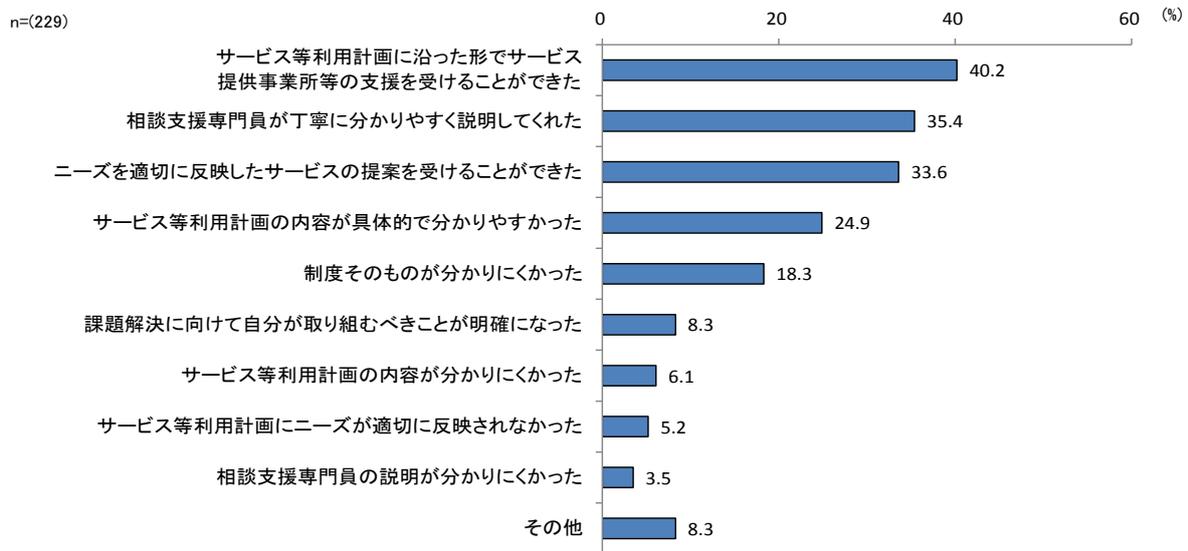
(9) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 71 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

全体では「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が40.2%で最も多く、以下「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が35.4%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が33.6%、「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が24.9%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は18.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」と「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分に取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他	
全体	229	77	92	57	81	19	12	14	8	42	19
身体障害	134	48	53	31	45	9	6	8	5	24	13
知的障害	96	36	44	33	36	7	6	5	2	15	6
精神障害	43	12	12	9	16	6	3	5	2	8	5
難病	46	17	23	12	18	1	1	1	1	7	3
無回答	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.6	40.2	24.9	35.4	8.3	5.2	6.1	3.5	18.3	8.3
	100.0	35.8	39.6	23.1	33.6	6.7	4.5	6.0	3.7	17.9	9.7
	100.0	37.5	45.8	34.4	37.5	7.3	6.3	5.2	2.1	15.6	6.3
	100.0	27.9	27.9	20.9	37.2	14.0	7.0	11.6	4.7	18.6	11.6
	100.0	37.0	50.0	26.1	39.1	2.2	2.2	2.2	2.2	15.2	6.5
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

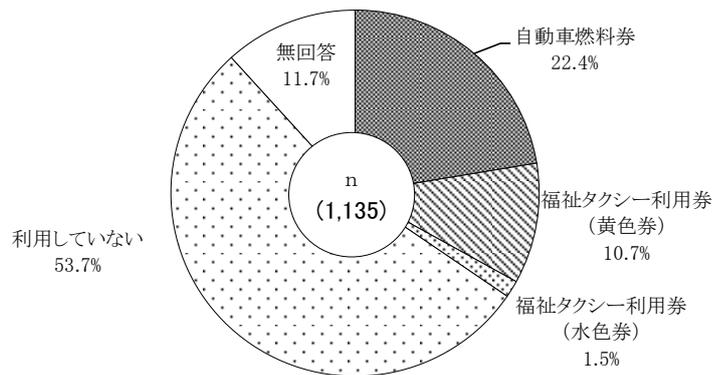
問 72 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

全体では、福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況について「自動車燃料券」が22.4%で最も多く、次いで「福祉タクシー利用券（黄色券）」が10.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「福祉タクシー利用券（黄色券）」が、他の障害より多くなっています。

身体障害の内容別でみると、視覚障害のある方、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「福祉タクシー利用券（黄色券）」が、他の障害のある方に比べて多くなっています。また、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「自動車燃料券」も多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全体	1135	121	17	254	610	133
	100.0	10.7	1.5	22.4	53.7	11.7
身体障害	772	112	17	200	347	96
	100.0	14.5	2.2	25.9	44.9	12.4
知的障害	226	14	-	65	123	24
	100.0	6.2	-	28.8	54.4	10.6
精神障害	231	12	-	15	179	25
	100.0	5.2	-	6.5	77.5	10.8
難病	224	34	5	67	95	23
	100.0	15.2	2.2	29.9	42.4	10.3
無回答	7	-	-	2	3	2
	100.0	-	-	28.6	42.9	28.6

## ●身体障害の種類別

	調査数	福祉タクシー 利用券(黄色 券)	福祉タクシー 利用券(水色 券)	自動車燃料 券	利用していな い	無回答
肢体不自由	357	42	14	80	176	45
	100.0	11.8	3.9	22.4	49.3	12.6
音声・言語・そしゃく	37	4	1	9	18	5
機能障害	100.0	10.8	2.7	24.3	48.6	13.5
視覚障害	61	13	2	15	23	8
	100.0	21.3	3.3	24.6	37.7	13.1
聴覚・平衡機能障害	73	4	1	14	46	8
	100.0	5.5	1.4	19.2	63.0	11.0
内部機能障害	274	52	-	100	93	29
(免疫機能障害を含む)	100.0	19.0	-	36.5	33.9	10.6
無回答	34	6	1	4	15	8
	100.0	17.6	2.9	11.8	44.1	23.5

### (11) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 73 【問 72 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】

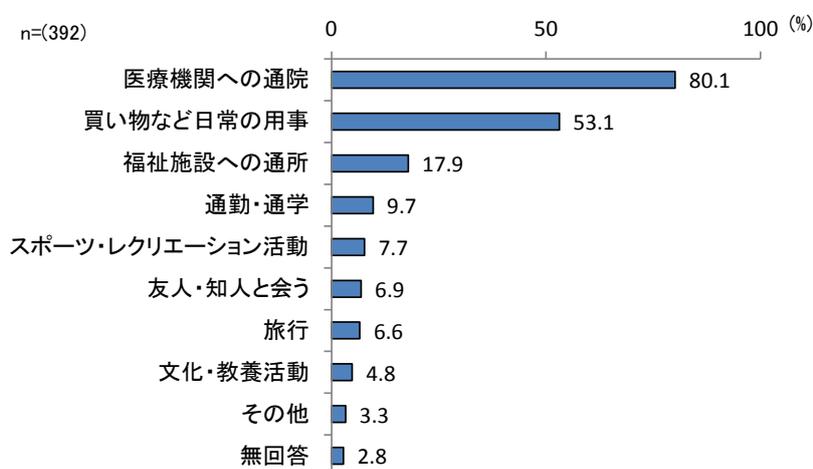
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「医療機関への通院」が80.1%で最も多く、次いで「買い物など日常の用事」が53.1%となっています。

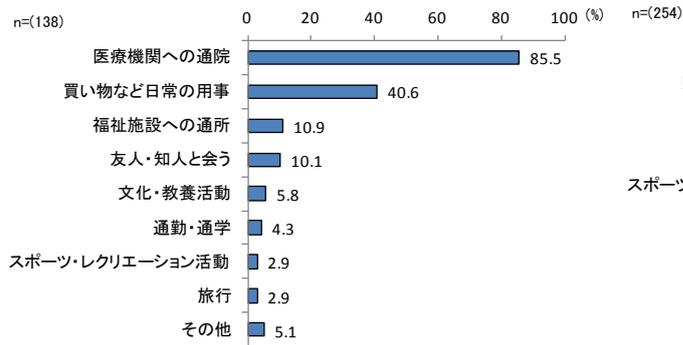
福祉タクシー利用券と自動車燃料券の比較でみると、両者とも「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」、「福祉施設への通所」の順で多くなっています。福祉タクシーでは「医療機関への通院」が8割を超えているのに対して、自動車燃料券は「買い物など日常の用事」や「福祉施設への通所」も比較的多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「医療機関への通院」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「福祉施設への通所」と「スポーツ・レクリエーション活動」が、他の障害のある方より多くなっています。

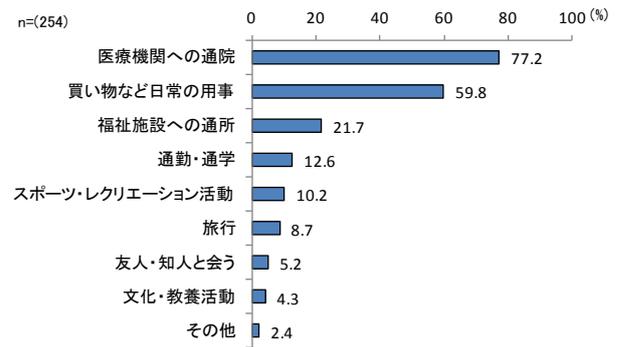
## ●全体



## A. 福祉タクシー利用券の主な使い道



## B. 自動車燃料券の主な使い道



### ●障害種別

#### A. 福祉タクシー利用券の主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全体	138	6	15	118	56	8	4	4	14	7
	100.0	4.3	10.9	85.5	40.6	5.8	2.9	2.9	10.1	5.1
身体障害	129	4	13	112	52	6	1	1	9	7
	100.0	3.1	10.1	86.8	40.3	4.7	0.8	0.8	7.0	5.4
知的障害	14	2	4	9	6	2	2	3	3	1
	100.0	14.3	28.6	64.3	42.9	14.3	14.3	21.4	21.4	7.1
精神障害	21	1	3	18	11	1	2	1	2	1
	100.0	4.8	14.3	85.7	52.4	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8
難病	64	4	7	56	28	3	1	2	2	3
	100.0	6.3	10.9	87.5	43.8	4.7	1.6	3.1	3.1	4.7

#### B. 自動車燃料券の主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全体	254	32	55	196	152	11	26	22	13	6
	100.0	12.6	21.7	77.2	59.8	4.3	10.2	8.7	5.2	2.4
身体障害	200	24	24	160	118	9	13	12	15	6
	100.0	12.0	12.0	80.0	59.0	4.5	6.5	6.0	7.5	3.0
知的障害	65	12	37	45	37	4	18	11	3	0
	100.0	18.5	56.9	69.2	56.9	6.2	27.7	16.9	4.6	0.0
精神障害	6	0	2	5	6	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	33.3	83.3	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
難病	42	2	6	37	24	2	2	4	3	0
	100.0	4.8	14.3	88.1	57.1	4.8	4.8	9.5	7.1	0.0

(12) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 74 【問 72 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方にお聞きします。】  
 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
 （〇は1つ）

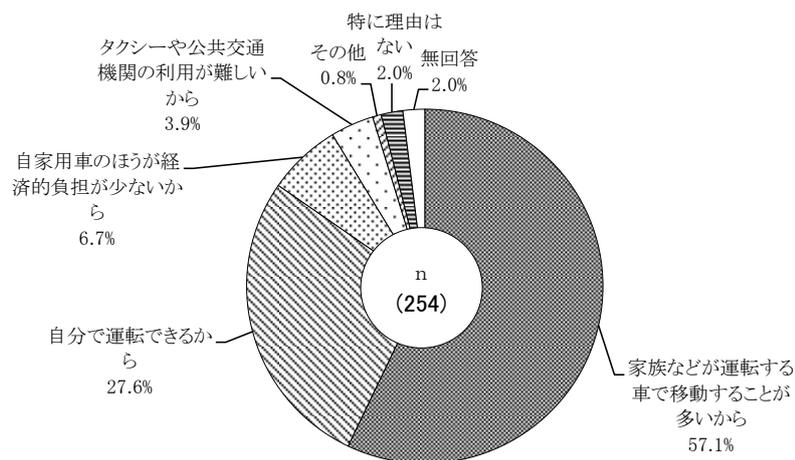
全体では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が57.1%で最も多く、次いで「自分で運転できるから」が27.6% となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「自分で運転できるから」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が多くなっています。

身体障害の内容別でみると、肢体不自由の方、音声・言語・そしゃく障害のある方では「家族などが運転する車で移動することが多いから」が、他の方よりも多くなっています。

一方、内部機能障害（免疫性機能障害を含む）の方では「自分で運転できるから」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由は無い	その他	無回答
全体	254	70	145	10	17	5	2	5
	100.0	27.6	57.1	3.9	6.7	2.0	0.8	2.0
身体障害	200	68	101	8	13	4	2	4
	100.0	34.0	50.5	4.0	6.5	2.0	1.0	2.0
知的障害	65	1	58	2	3	-	-	1
	100.0	1.5	89.2	3.1	4.6	-	-	1.5
精神障害	15	3	9	-	2	-	-	1
	100.0	20.0	60.0	-	13.3	-	-	6.7
難病	67	22	36	4	2	1	1	1
	100.0	32.8	53.7	6.0	3.0	1.5	1.5	1.5
無回答	2	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-

## ●身体障害の種類別

	調査数	自分で運転 できるから	家族などが 運転する車 で移動するこ とが多いから	タクシーや公 共交通機関 の利用が難 しいから	自家用車の ほうが経済 的負担が少 ないから	特に理由は ない	その他	無回答
肢体不自由	80	15	56	4	1	1	1	2
	100.0	18.8	70.0	5.0	1.3	1.3	1.3	2.5
音声・言語・そしゃく	9	-	6	2	1	-	-	-
機能障害	100.0	-	66.7	22.2	11.1	-	-	-
視覚障害	15	1	8	4	1	-	1	-
	100.0	6.7	53.3	26.7	6.7	-	6.7	-
聴覚・平衡機能障害	14	2	8	-	3	1	-	-
	100.0	14.3	57.1	-	21.4	7.1	-	-
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	100	50	38	1	8	2	-	1
	100.0	50.0	38.0	1.0	8.0	2.0	-	1.0
無回答	4	-	3	-	-	-	-	1
	100.0	-	75.0	-	-	-	-	25.0

## 1 2. 収入や利用者負担について

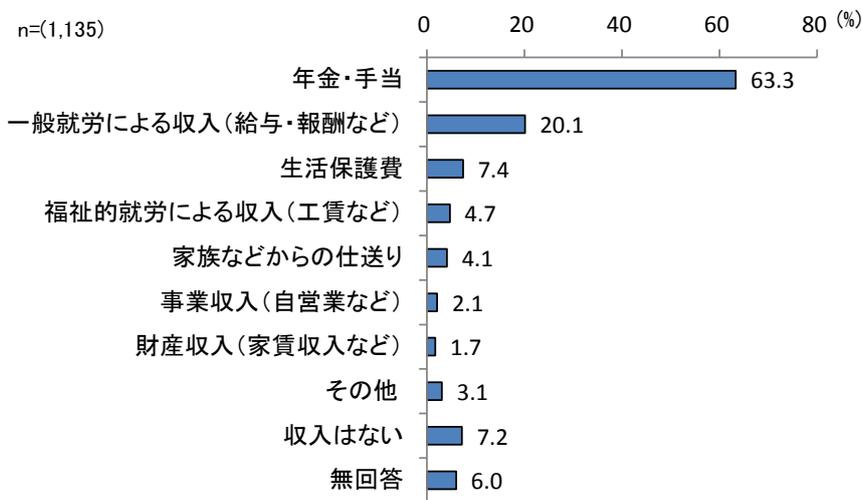
### (1) 主な収入源

問 75 あなたご本人の主な収入源をお答えください。  
(最も金額の多い収入源にひとつだけ〇)

全体では、「年金・手当」が63.3%で最も多く、次いで「一般就労による収入（給与・報酬など）」が20.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では「一般就労による収入（給与・報酬）」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一般就労による収入(給与・報酬など)	福祉的就労による収入(工賃など)	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全 体	1135	228	53	24	19	718	84	47	82	35	68
	100.0	20.1	4.7	2.1	1.7	63.3	7.4	4.1	7.2	3.1	6.0
身体障害	772	116	10	20	16	551	46	24	36	20	52
	100.0	15.0	1.3	2.6	2.1	71.4	6.0	3.1	4.7	2.6	6.7
知的障害	226	61	48	1	2	140	14	15	16	4	11
	100.0	27.0	21.2	0.4	0.9	61.9	6.2	6.6	7.1	1.8	4.9
精神障害	231	64	7	3	2	91	35	13	37	11	12
	100.0	27.7	3.0	1.3	0.9	39.4	15.2	5.6	16.0	4.8	5.2
難病	224	37	9	3	4	136	22	9	16	7	17
	100.0	16.5	4.0	1.3	1.8	60.7	9.8	4.0	7.1	3.1	7.6
無回答	7	-	1	-	-	3	3	-	1	-	-
	100.0	-	14.3	-	-	42.9	42.9	-	14.3	-	-

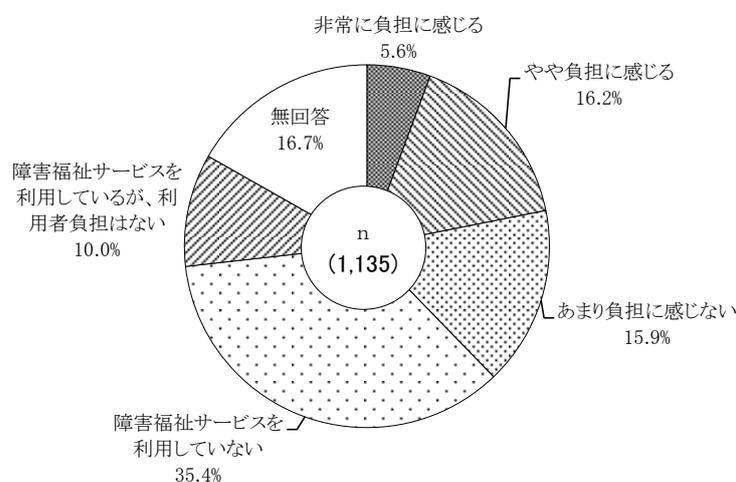
## (2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 76 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

全体では「非常に負担を感じる」が5.6%、「やや負担を感じる」が16.2%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が15.9%、「障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない」が10.0%となっています。

障害種別で見ると、知的障害のある方では、「あまり負担に感じない」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	非常に負担を感じる	やや負担を感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	1135	64	184	181	402	114	190
	100.0	5.6	16.2	15.9	35.4	10.0	16.7
身体障害	772	50	119	121	265	68	149
	100.0	6.5	15.4	15.7	34.3	8.8	19.3
知的障害	226	12	43	53	61	38	19
	100.0	5.3	19.0	23.5	27.0	16.8	8.4
精神障害	231	10	45	27	95	22	32
	100.0	4.3	19.5	11.7	41.1	9.5	13.9
難病	224	14	41	39	71	30	29
	100.0	6.3	18.3	17.4	31.7	13.4	12.9
無回答	7	-	2	1	1	1	2
	100.0	-	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6

### 13. 市の障害者施策について

#### (1) 市の障害者施策についての満足度

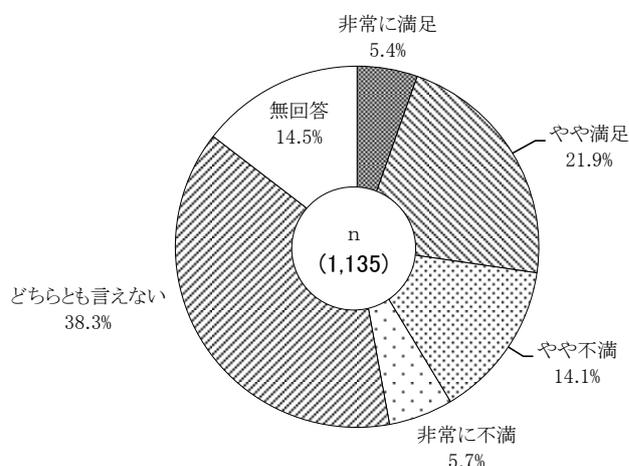
問 77 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

全体では、「非常に満足」が5.4%、「やや満足」が21.9%となっています。

一方、「やや不満」は14.1%、「非常に不満」は5.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「やや不満」が、身体障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	1135	61	249	160	65	435	165
	100.0	5.4	21.9	14.1	5.7	38.3	14.5
身体障害	772	43	170	91	47	286	135
	100.0	5.6	22.0	11.8	6.1	37.0	17.5
知的障害	226	11	58	47	12	81	17
	100.0	4.9	25.7	20.8	5.3	35.8	7.5
精神障害	231	11	44	43	15	99	19
	100.0	4.8	19.0	18.6	6.5	42.9	8.2
難病	224	14	52	35	12	81	30
	100.0	6.3	23.2	15.6	5.4	36.2	13.4
無回答	7	-	1	-	1	3	2
	100.0	-	14.3	-	14.3	42.9	28.6

## 14. 自由意見

問 78 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

全部で 281 件の意見がありました。

	分類	件数	%
1	福祉サービス	81	28.8
2	医療・健康	9	3.2
3	生活環境	35	12.5
4	雇用・労働	7	2.5
5	将来について	22	7.8
6	経済事情・経済的支援	14	5.0
7	行政・制度	64	22.8
8	その他	49	17.4
計		281	100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 福祉サービス

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
短期入所の施設がすくないと思う。いざと言う時に使えない。2～3ヶ月前に予約しないとつかえない。車イスでつかえる所があまりない。	身体障害 知的障害	20代	男性	本人
居住系サービスの施設に、将来必要になった時にすぐに入居、入所出来るようにしてほしいと思います。	身体障害	70代	男性	家族
病院がやや遠いのでいつもタクシーを利用していますが、障害者手帳は1割引なのでなんとか半額位になれば良いと思っています。	身体障害	70代	女性	本人
病院に行くのにモノレールやバスでかよっても途中で歩く事になるのでそれが大変なのでタクシー券みたいなものももらえるならたすかかと思っています。	身体障害 精神障害 自立支援医療	70代	男性	不明
もっと障害福祉サービスにこれからも力を入れてほしいと思います。これからもこの様な意向調査をアンケートにより実施していただき、障害について悩んでいる多くの人のために早急に対応してほしい。	身体障害	80代	男性	本人
高齢老人介護に重点してお金をあてているため、本当の障害者(精神、身体、知的)に対しては、援助が足りない。あまりにもバランスが悪く本当の福祉サービスの形が成り立っていない。	精神障害 自立支援医療	40代	男性	不明
精神的な病気は外からわからないので、辛い時が多々ある。今は無理だが、いつか働けるようになりたい。そんな時に役立つ情報、教育を受けたい。	自立支援医療	50代	女性	本人
持家のため一人暮らしをして居ります。長男は八千代市に住み同居してませんので福祉タクシー、自動車燃料券、車いす等毎週介護に自費で通ってきます(土・日曜)。福祉タクシー手続分かりませんので、自費でタクシーで病院(月～金)へ通院、買物等出費大変です。平成20年身障3級認定され、現在歩行困難で体力も落ちヘルパーさんも食事、洗濯、掃除機以外、雑用はお願いできず、お願い出来る範囲を(自費で併せて)少し広げて頂けたらと存じますが、それが精神安定に繋がりたいです。	身体障害	80代	女性	本人

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
千葉市は成人向けの短期入所の受け入れる施設が非常に少ない為、緊急時に利用したい時に満員で受け入れが出来ない状態がずっと続いている。いつになったら、この問題に着手して頂けるのでしょうか？介助者は高齢化になり、問題解決が急務である。	知的障害	10代	男性	家族
障害福祉支援、ありがとうございます。お願いがあります。「心身障害者(児)医療費助成受給券」の医療機関への提示制度をやめて、以前に戻していただきたいのです。給付のための手数料は差し引くことになっても希望したいです。今後ともよろしく願います。追記 自動車燃料券でのガソリンですが、掛け売りとはいえ、現金購入にくらべてこんなに割高になるのかなと思っています。	身体障害	80代	男性	本人
自動車燃料券はありがたいが、スタンドをさがすのが大変(利用できていた所がなくなったり、取扱いをやめたりして、現在は1カ所しかわからない。市に確認してもよくわからないようだ)使いきっている人は少ないんじゃないかと思う。悪用という事もあるだろうが、多くのスタンドを利用できるようなプリペイドカード等にしてくれるとたすかる。	身体障害	50代	男性	不明
居宅介護サービスの時間数にできるかぎり制限を付けないでほしい。毎日お風呂に入りたいし、急きよトイレを頼みたいときに時間数を気にしないとイケないのは辛い。	身体障害	20代	男性	本人

## 2. 医療・健康

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
リハビリ(筋力向上など)で生活に支障を少なくする様、市の福祉施設に通っていたが、中途半端な内容で、施設の都合で休止が多く短期で退所になり、継続的なケアを希望する。また、介護保険の活用か、医療費の助成(医療行為)か、線引きがわかりづらい。	身体障害	60代	男性	本人
医療費が高いため、通院等外出時(特に車中で)、母親のみでは介助が困難な時が多い中、通院等しています。公共機関の利用はむずかしいため、訪問看護師さんの同行を希望します。ぜひ、市の方での費用の援助をお願いしたいです。	身体障害	20代	男性	家族
毎月の医療費が経済的負担になっています。医療費補助の拡大をして欲しい。	身体障害	40代	男性	本人

## 3. 生活環境

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
“障害者に対しての気配りがなすすぎる。”と父の介護をしていた時に感じました。車イスで電車に乗ったときにわざと頭をグイグイ押ししたり、聞こえるように「ジャマなんだよな～」と言ってきたり、障害者の人達が生活しやすい環境ではないと感じました。もっと障害者の人達の声を聞いて改善すべき点だと思います。	自立支援医療	30代	女性	本人
障害者で低所得(非課税)世帯に市営住宅を沢山作って下さい。お願い致します！！	精神障害 自立支援医療	60代	女性	本人
私は身体障害者ですが、電車の優先席で若い人が下を向いてスマホであそんでいて、まあ席をゆずってくれる気はないのであきらめています。それと駅などのエスカレーターは関西では右側に立つのに関東ですと左側です。左マヒの私はいつも遠いエレベーターまであるきます。只一人右側に立っていて後ろで舌うちされた事もあります。	身体障害	70代	男性	本人
駅前や施設の周辺で点字ブロックが自転車や店に並ぶ人達でふさがれている事がある。何とかできないか。	身体障害	60代	女性	本人
公共の施設のトイレをもっと使いやすくなった方が良いと思います。トイレが心配で外出しない人も多いです。	自立支援医療	20代	女性	本人
障害者スポーツの種類を限定して(車いすラグビー、車いすバスケットボール)支援するのはいかがなものでしょうか。他にも競技はあるのに、なかなか目を向けてもらえないのは残念です。せっかくパラリンピックで障害者のスポーツに目が向けられてきたのに…というところですね。利用できる施設の拡充を期待します。	身体障害	60代	男性	本人
道路を故意に道幅を狭くしています。今のままでは救急車、消防車も通りません。幅はせまく、ジャリ道です。今後、通所やデイケアも使えません。なんとかしてください。お願いします。	身体障害	40代	男性	本人

## 4. 雇用・労働

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
自立支援しか受けられない程度の障害を持つ者が働ける所が少なく、非常に困っている。また、緑区には企業が少なく、金銭的によゆうがない者にとって、長時間の移動や朝が苦手な者にとって、就労が非常に難しく感じられる。とにかく、就労するにもなかなか就労しにくいと感じることが多い。就労した後の自分をイメージできない事も1つの要因であるのではないかと考えられる。	自立支援医療	20代	女性	不明

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
企業側の障害者に対する理解や対策が不十分な気がします。前職では、大きな負担をかかえながら普通の人と同じ仕事内容を求められ、辞めたあとトラウマになって残り、今でも人にものを教えてもらうとものすごくきんちょうします。企業で働く人たち(健常者)に、少しでも障害者の気持ちやおかれている状況を理解してほしいです。	精神障害	30代	女性	本人
企業で働く事はもう無理とあきらめています。精神障害があり、人にみられると不安になり、勝手に家に帰ってきてしまう行動は直りません。その為、就労はできていません。本人に働きたいという思いがあっても、できない現実のカベは大きいです。親なき後の生活が一番心配です。安心して暮らせていける保障があれば…本気になって考えてほしいです。	知的障害	30代	男性	家族

## 5. 将来について

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
将来親なき後一人で生活出来ないのが不安を感じている。親の健康に十分気を配り乍ら、介護が出来る限り努めるつもりで毎日明るく前向きに障害者からも力をもらってお互いに頑張っている。	身体障害 知的障害	50代	女性	家族
親は自分が死んだあとの子どもの幸せな生活を望むのみです。子どもの財産・幸せに生きる権利が守られる社会を望みます。	知的障害 自立支援医療	20代	女性	家族
腰、ひざが悪く歩く事が苦痛ですが、これ以上悪くならない様に通所リハビリをしています。年齢と共に不安になります。	身体障害	80代	女性	不明
自立支援医療を受けている3才の息子を介護していますが、将来私達夫婦の亡き後が心配です。	知的障害 精神障害	40代	男性	家族
在宅酸素、車いす利用の生活ですが、現在デイサービスを週2回利用、機械入浴をしています。私も介助者の妻も80才と79才で老々生活です。妻が何とか元気で生活全般を見てくれていて余り先の事は考えてない。	身体障害	80代	男性	不明
自分の体が自分の考える様な動きが出来なくなった時、援助、支援が必ず受けられることをお願いします。	身体障害	70代	男性	本人

## 6. 経済事情・経済的支援

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
とにかく将来お金の面でこまるのではないかと心配です。今の家は20数年前となりの家のもらい火で火事にあい、父が退職金を出して建てたもので家の中の家電やガス器具のお金に自分の年金も利用しているもので。	精神障害 自立支援医療	40代	男性	本人
障害者手当が減ってしまい、更に症状が変わらないのにも関わらず、障害者年金がなくなりました。生活は厳しく家族の収入のみに頼っている状態です。何か状況を良くして頂くと嬉しいです。	身体障害	20代	男性	本人
助成が年々なくなったり、減額されたりで先々不安です。	身体障害	60代	男性	本人
経済的支援制度の充実をお願いしたい。	身体障害	90代	女性	家族
何でもお金がかかるので、経済的負担がとても心配です。サービスの利用を我慢してしまい、症状が悪化することも心配です。家族の中でも理解されないこともあったり、又、相談したくても(病気のために)気力が落ちてしまい、なかなかできなかつたりします。	精神障害 自立支援医療	50代	女性	不明
年金受給者の負担が多い。低額者への配慮が特に必要。今の社会環境では無理に長生きしたくない。低額者は早く死ねとしか思えない。先々に不安だらけで日々暮らして居る。	身体障害	70代	男性	本人

## 7. 行政・制度

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
生活介護施設に通所している19才の息子がおります。施設の方々(スタッフ)は、細心の注意を払い、懸命に毎日利用者さんたちの支援に追われています。本当によく面倒を見ていただき、おかげさまで息子は毎日楽しく通っていますが、支援計画や計画相談、その他様々な行事を企画したり、利用者さんの日常的な直接の支援以外のことも多く、ぎりぎりの所でやっているように思えて、相談をもちかけるのもためらうほどです。相談事業所の予約は数ヵ月先と聞きます。新人さんが入っても3ヵ月もたつと、ポロポロと辞めていく人もいます。やはりこれだけ世の中のニーズが多様化しているのですから一人一人違う障害者はなおのこと、人が増えてくれることを願います。ただし、人だけでなく“内容のある”人が増えてほしいです。	知的障害	10代	男性	家族

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
役所の担当者ですが、常に上から目線で話す。困って相談に伺っているのに規則ばかりで話しが進むどころか一向に前向きにならず、やなことばかり。現実的に困っているのに冷やかな物言い。結局何も良くなりません！※良い担当者はなかなかいません。	身体障害	70代	女性	不明
6年前に身障手帳の交付を受けた際に等級に見合ったサービス等の説明を受け冊子を頂いたが、それ以来申請書の提出通知が年2回文書でくるだけで、全く市からの働きかけがない。人手が足りないことは十分承知していますが(昔、似た仕事をしていたので)偉そうに福祉施策とまでは言いませんが、せめてサービス状況等参考となる情報を得る手段が欲しい。今回のアンケート調査は、どこまで回答すべきなのか苦慮しました。(答えるべきなのかどうか、特に問63以降の回答欄Bが答えるべき対象なのかよくわからなかった)専門用語の説明はあるものの何を聞きたいのかとまどった。(特に問61、62)障害の種類・程度は個々異なり生活環境も異なることから、相談体制の周知をお願いしたい。	身体障害	60代	男性	本人
「福祉案内しおり」や「ちば市民便利帳」にはFAX番号記載が乏しいです。政令都市のわりに中身は上記の通り、障がい者に対する対応は不十分だと1番感じます。筆談が苦痛な聴覚障がい者は沢山おります。市職員の対応によって、サービスの利用はする気になるか、なれないかの分かれ目になると思います。	身体障害 自立支援医療	40代	女性	本人
現在、産休・育児休業に入っています。エンゼルヘルパーや保育園などの手続きで困ったことがあります。①連絡先は電話番号のみでした。耳が聞こえないので、電話対応ができかねます。ファックスかメールアドレスを書いてあれば有り難いです。②エンゼルヘルパーは耳が聞こえない人でも大丈夫なのかわかりかねます。エンゼルヘルパーを利用する前に、耳が聞こえなくても大丈夫かと確認する手間が発生します。資料に「手話が筆談対応は可能」の情報を書いてあれば、有り難いです。	身体障害	30代	女性	本人
障害と言っても、目に見えるもの、見えないものがあります。私は内部なので、はた目にはわかりません。自分からそれを言うことはないの、知らない人の方が周りには多いです。それで困った事はありませんが、経済情勢や予算の上で、充実の反対の方向に行くのは困ります。色々な人が安心してらせる市である事が、これからの市の生(行)き方であって欲しいと思います。	身体障害	62代	女性	本人

## 8. その他

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
手帳をいただいたことを、あらためて自覚しました。自分のことにとらわれすぎて、社会との関わりを閉ざす生活スタイルになっています。少しずつですが、周りに目が行くようになりました。『何か出来ることあるかな』と考え出すチャンスになりました。どなたもが、その人なりに幸せに生きられますよう、良い千葉市を作ってくださいませ。ありがとうございました。	身体障害	60代	女性	本人
二人家族で暮しています。息子も精神障害2級です。私は、甲状腺低下症とうつ病、網膜色素変性症で、人にも会いたくない、一人で家にいたいのですが、息子の行動に左右されます。どうしても食事の仕度が出来なくて、毎日夕食は揚げ物などや弁当ですましています。このままではいけないと思いつつ、どうして良いかわかりません。病院通いばかりで、何の為に生きているのか考えることがよくあります。障害者が二人での生活は思った以上に苦しいことがあります。現在看護師さんに週3回入ってもらっていますが、それも苦痛になってきてます。	身体障害 自立支援医療	70代	女性	本人
家族と生活しています。介助、移動、同行など家族が助けてくれていましたが、自立を考えています。障害福祉についてもっと勉強したいと思います。	身体障害	40代	女性	本人
現在は不自由なく自立した生活ができていますので困ってはいません。が、娘家族が転勤で千葉を離れると少し不安はでてくると思います。安全第一で生活していきたいと思えます。水色タクシー券のことは知りませんでした。今の世の中、障害をもっているも勇気をだして外出していかないと、毎日の生活がスムーズにいけなくなります。気持ちを強くもっていかないと生きていけません。	身体障害	60代	女性	本人

